

資料編 1 調査票及び単純集計結果

調布市民福祉ニーズ調査 調布市民の福祉意識と地域生活に関する調査

調布市の地域福祉を進めるうえでの大切なアンケートです。
あなたのご意見がこれからの調布の福祉施策に生かされます。

調査についてのごお願い

市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

この調査は、子どもから高齢者まで、障害のある人もない人も、誰もが安心して自立した日常生活を送ることができている環境づくりを目指した平成30年度からの「調布市地域福祉計画」を策定するため、皆様のご意見やご要望を幅広くお聞きし、より身近な福祉施策を推進するために実施するものです。

ご回答いただきました内容は、すべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

平成28年10月 調布市長 長友 貴樹

裏面の「記入についてのごお願い」をよくお読みの上、ご記入をお願いします。

調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。

ご記入が終わりまりましたら、調査票を同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

10月24日(月)までに郵便ポストに投函してください。

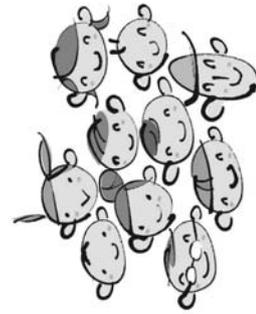
調査についてご質問などがありましたら、下記までお問い合わせください。

平成28年9月1日現在、調布市にお住まいの18歳から64歳までの市民の皆様の中から、2,000人を無作為に抽出しました。

問合せ先

調布市 福祉健康部 福祉総務課

電話：042-481-7101



記入についてのごお願い

1. 封筒のあて名ご本人について、ご記入をお願いいたします。
調査票の設問中の「あなた」とは、封筒のあて名の方を指します。なお、ご本人が回答困難な場合、入院中などの場合は、ご家族や周りの方がお手伝いいただくか、あて名のご本人の意見を聞いたうえで代わりにご記入ください。
2. 濃い鉛筆又は黒のボールペンで記入してください。
3. お答えいただく際は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。
4. □の場合は回答内容を記入してください。
5. ○の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。
6. 「その他」に○印をつけられた方は、〔 〕内に具体的な答えを記入してください。

調査でいただいたご意見が、
こんな事業につながりました。

平成25年に実施した前回の調査では、
以下のような課題が明らかになりました。

【課題】

○地域のつながりを構築する支援が必要

○災害時に地域の支援力を生かす仕組みが必要

重点施策1

「地域におけるトータルケアの推進」

地域福祉コーディネーター事業
地域の課題やニーズを発見し、受け止め、地域の資源（情報・人・場所等）をつなぎ、地域で生活を支える人のネットワークの中心になる人材として、地域福祉コーディネーターを平成25年度から配置しました。（平成27年度からは、市内4地域に配置）

重点施策2

「地域が一体となった災害対策の推進」

災害時要援護者避難支援

プランの推進

災害時に一人で避難することが難しい高齢者や障害のある方を災害から守ることができるよう、地域における日ごろからの見守りなど、地域による支え合いを構築する事業です。（協定を締結した地域組織は、平成27年度まで20団体です）

調布市地域福祉計画（平成24年度～平成29年度）

あなた(あて名のご本人)のことをおたずねします

※ここでいう「あて名」とは調査票をお送りしている方のことです。
 ※以下の質問については平成28年10月1日現在の状況をもとに回答してください。

問1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

また、平成28年10月1日現在の年齢をご記入ください。

(N=731)

1. 男性 40.2%	2. 女性 59.4%	満〔 〕歳	※数字を記入
無回答 0.4%		平均 44.5歳	

問2 お住まいの地域はどこですか。記入例を参考に、【町名】、【丁目】をご記入ください。

(N=731)

町名(例：小島町)〔 〕〔 〕	〔 〕丁目
第一小学校区	6.8%
第二小学校区	3.3%
第三小学校区	6.6%
八雲台小学校区	5.2%
富士見台小学校区	4.2%
滝坂小学校区	7.4%
深大寺小学校区	3.7%
上ノ原小学校区	7.1%
石原小学校区	4.0%
若葉小学校区	5.6%
緑ヶ丘小学校区	3.3%
染地小学校区	2.7%
北ノ台小学校区	5.3%
多摩川小学校区	5.1%
杉森小学校区	3.1%
飛田給小学校区	2.5%
粕野小学校区	4.7%
国領小学校区	4.8%
布田小学校区	4.1%
調和小学校区	5.9%
無回答	4.7%

問2-1 お住まいの近くにある、遊樂所などになっている公立小学校はどれですか。(1つに○)

(N=731)

1. 第一小学校	5.7%	12. 染地小学校	1.5%
2. 第二小学校	3.3%	13. 北ノ台小学校	5.6%
3. 第三小学校	4.9%	14. 多摩川小学校	4.1%
4. 八雲台小学校	5.5%	15. 杉森小学校	3.3%
5. 富士見台小学校	3.8%	16. 飛田給小学校	2.6%
6. 滝坂小学校	4.4%	17. 粕野小学校	3.4%
7. 深大寺小学校	3.1%	18. 国領小学校	4.4%
8. 上ノ原小学校	6.8%	19. 布田小学校	4.4%
9. 石原小学校	4.1%	20. 調和小学校	5.2%
10. 若葉小学校	6.2%	21. 分からない	12.4%
11. 緑ヶ丘小学校	2.6%	無回答	2.6%

問3 あなたのご職業は次のうちどれですか。(1つに○)

(N=731)

1. 正規の社員・職員・役員	43.4%	4. 専業主婦・主夫	13.5%
2. 非正規の社員・職員 (嘱託、パート、アルバイト、契約、派遣)	23.8%	5. 学生	5.5%
3. 自営業(家業手伝いを含む)	6.4%	6. 無職	5.6%
7. その他(具体的に)		無回答	1.2%
			6.5%

問4 現在、あなたの世帯の家族構成は、次のうちどれですか。(1つに○)

(N=731)

1. ひとり暮らし	12.6%	5. ひとり親と子ども	2.5%
2. 夫婦のみ	20.0%	(一番下の子どもが18歳未満)	
3. 両親と子ども	45.3%	6. 三世帯同居	3.1%
4. ひとり親と子ども	5.1%	7. その他(具体的に)	10.1%
(一番下の子どもが18歳以上)		無回答	1.4%

↳ 問4-1へ

問4-1 問4で2~6(同居がいる世帯)と答えた方におたずねします。現在、あなた自身、もしくは同居のご家族に次のような方はいますか。(いくつでも○)

(n=553)

1. 乳児(1歳未満)	4.3%	5. 65歳以上の方	15.4%
2. 乳児を除く小学校入学期の幼児	17.4%	6. 身体・知的・精神などの障害のある方	5.1%
3. 小学生	14.6%	7. 介護・介助を必要とする方	2.0%
4. 中学生・高校生	15.2%	8. いずれもない	38.3%
		無回答	3.6%

問5 あなたのお住まいの近く(おおむね徒歩30分以内)には、ちょっとした手助けが必要

なときに、助け合ったりする親族や友人・知人がいますか。(1つに○)

(N=731)

1. 近くに気軽に頼める人がいる	24.1%
2. 気軽ではないが、いざという時には頼める人が近くにいる	24.9%
3. 近くにはいないが、頼める人がいる	16.4%
4. 特に頼める人はいない	33.8%
無回答	0.8%

問6 あなたは調布市に何年お住まいですか。(1つに○)

(N=731)

1. 1年未満	5.7%	5. 10年以上20年未満	25.9%
2. 1年以上3年未満	9.4%	6. 20年以上30年未満	15.7%
3. 3年以上5年未満	7.8%	7. 30年以上	19.0%
4. 5年以上10年未満	15.9%	無回答	0.5%

問7 あなたのお住まいは、次のどれですか。(1つに○)
(N=731)

1. 持ち家の一戸建て	36.5%	5. 公営住宅(市営・郡営住宅など)	3.4%
2. 持ち家の集合住宅	25.6%	6. 社宅・公務員住宅など	2.9%
3. 民間賃貸の一戸建て	1.8%	7. その他〔具体的に: 〕	1.9%
4. 民間賃貸の集合住宅	27.5%	無回答	0.4%

近所づきあいとお住まいの地域についておたずねします

問8 あなたは、日ごろどのような近所づきあいをしていますか。(1つに○)
(N=731)

1. 家を行き来するなど、親しく近所づきあいをしている	7.4%
2. 立ち話をする程度のつきあいをしている	22.7%
3. あいさつをする程度のつきあいをしている	50.5%
4. 近所づきあいをしていない	19.2%
無回答	0.3%

問8-1 問8で「4. 近所づきあいをしていない」と答えた方におたずねします。
近所づきあいをしていない主な理由は何ですか。(いくつでも○)

(n=140)	1. 仕事や学業、家事・育児などで忙しく時間が無いから	38.6%	5. 気の合う人、話の合う人が近くにいないから	7.9%
	2. 引越してきて間もないから	16.4%	6. あまりかわりももちたくないから	18.6%
	3. 普段つきあう機会がないから	67.1%	7. その他〔具体的に: 〕	5.7%
	4. 同世代の人が近くにいないから	9.3%	無回答	0.0%

問9 あなたのお住まいの地域には、自治会がありますか。(1つに○)
(N=731)

1. ある	50.3%	2. ない	8.2%	3. 分からない	40.4%	無回答	1.1%
-------	-------	-------	------	----------	-------	-----	------

問9-1 あなたは自治会に加入していますか。(1つに○)
(n=368)

1. 加入している	74.2%	2. 加入していない	21.5%	3. 分からない	4.3%	無回答	0.0%
-----------	-------	------------	-------	----------	------	-----	------

問9-2 加入していない理由は何ですか。(いくつでも○)
(n=79)

1. メリットを感じないから	21.5%	5. 興味が無いから	11.4%
2. 時間がないから	27.8%	6. 地域にかかわりたくないから	1.3%
3. きっかけがないから	26.6%	7. 役割を果たせないから	21.5%
4. 人づきあいが面倒だから	11.4%	8. その他〔具体的に: 〕	21.5%
無回答		無回答	2.5%

問10 あなたは現在、お住まいの地域の暮らしやすさについて、どのように感じていますか。
(1)~(9)について、
それぞれ1つに○をつけてください。

(N=731)	とてもいい	まあいい	まあ悪い	とても悪い	無回答
(1) 隣近所などとのつきあい	6.2%	63.6%	20.2%	6.8%	3.1%
(2) 町内会・地区協議会の活動	2.5%	53.2%	25.6%	11.8%	7.0%
(3) 地域の交流	3.0%	52.1%	28.7%	9.7%	6.4%
(4) サークルやボランティアの活動	2.2%	47.3%	32.4%	10.5%	7.5%
(5) 地域の防災対策	3.0%	49.4%	32.7%	8.3%	6.6%
(6) 相談できる体制	3.0%	40.2%	38.0%	11.9%	6.8%
(7) 買い物などの利便さ	27.1%	47.5%	16.6%	8.1%	0.8%
(8) 道路や交通機関などの使いやすさ	20.4%	49.1%	20.4%	8.9%	1.2%
(9) 公的な手続きの利便さ	6.7%	51.8%	30.9%	8.3%	2.2%

日ごろのお悩みと相談についておたずねします

問11 あなたは、身近な地域の中で不安や課題と感じていることはありますか。(いくつでも○)
(N=731)

1. 子育て、子どもの教育のこと	22.4%	8. 近所づきあい、友だちづきあいのこと	9.7%
2. 健康のこと	28.6%	9. 防犯、地域の安全のこと	31.2%
3. 介護のこと	20.0%	10. 災害時のこと	43.0%
4. 老後の生活のこと	37.2%	11. 気軽に相談できる人(機関)が少ないこと	9.7%
5. 住まいや住宅のこと	23.0%	12. その他〔具体的に: 〕	3.4%
6. 仕事のこと	20.7%	13. 特になし	12.9%
7. 経済的なこと	29.5%	無回答	1.5%

問12 あなたは、過去1年間の間に、経済的な理由で次のような経験がありましたか。

(1)~(6)について、
それぞれ1つに○をつけてください。

(N=731)

(1) あなたや家族が必要とする食料が買えないことがあった(嗜好品を除く)	あった	なかった	分からない	無回答
(2) あなたや家族が必要とする衣料品が買えないことがあった(高価な衣服や貴金属を除く)	3.8%	94.1%	0.8%	1.2%
(3) 電気料金、ガス料金、電話代等の未払いがあった	3.3%	95.2%	0.3%	1.2%
(4) 家賃を滞納したことがあった	1.5%	96.7%	0.3%	1.5%
(5) 借金の返済を滞納したことがあった	3.4%	94.4%	0.8%	1.4%
(6) あなたや家族が病気やけがの治療のために病院や診療所を受診したほうがよいと思ったのに、実際には受診できなかった	5.1%	92.7%	1.0%	1.2%

問 13 あなたが、日常生活の中で困ったとき、主に相談できる人・機関は次のうちどれですか。(いくつでも)

(N=731)

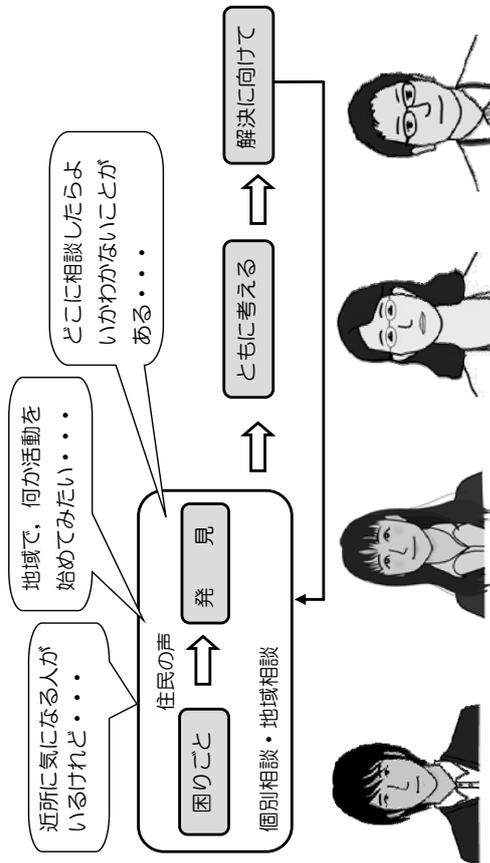
1. 同居の家族	72.2%	9. 市役所	8.8%
2. 別居の家族や親戚	62.1%	10. 社会福祉協議会	0.8%
3. 自治会や近所の人	2.9%	11. 地域包括支援センター	1.1%
4. 友人・知人	61.8%	12. ちよび若者サポートステーション	0.1%
5. 民生委員・児童委員	0.5%	13. 子ども家庭支援センター*2	2.5%
6. 地域福祉コーディネーター*1	0.4%	14. 調布ライフサポート*2	0.1%
7. ケアマネジャー・ヘルパーなどの事業者	1.2%	15. その他〔具体的に：〕	3.6%
8. かかりつけ医や保健師など医療関係者	10.4%	16. 身近に相談できる人・機関はない	2.1%
		無回答	0.8%

※1 地域福祉コーディネーター（コミュニケーション・ソーシャルワーカー＝CSW）とは？

制度の狭間で苦しんでいる方や既存の公的な福祉サービスだけでは十分な対応ができない方などに対し、地域福祉を育むことにより、福祉の生活課題の解決に向けた取組を行っています。

主な役割としては、地域の福祉課題やニーズを発見し、受け止め、地域組織や関係機関と協力しながら、地域における支え合いの仕組みづくりや地域での生活を支えるネットワークづくりを行います。

平成 25 年 4 月より、調布市社会福祉協議会の職員が地域福祉コーディネーターとして活動しており、平成 28 年 10 月現在、市内の東西南北 4 地域に配置されています。



東部：坂本CSW 西部：宍戸CSW 南部：川原CSW 北部：前田CSW

※2 調布ライフサポートについては、次ページをご覧ください。

※2 調布ライフサポートとは？（平成 27 年度からの新規事業です。）

★ 生活は苦しいけれど誰にも相談できない

★ 離職で家賃が払えない

★ 就職活動の仕方がわからない など

現在、このような悩みを抱えている人はいませんか？

ひとりで悩まず「調布ライフサポート」にご相談ください

支援員が一人ひとりの悩みに寄り添って、

どうしたら良いか、一緒に考えていきます。

問合せ先：042-481-7693（事前予約制）



問 14 ①あなたは次のような手助けをしてほしいと思いますか。【手助けをしてほしいか】

②また、高齢者や障害のある方、子育てなどで困っている近所のご家庭などに対して、

あなたは次のような手助けをしたことがありますか。【手助けをしたことがあるか】

③また、次のような手助けを今後したいと思いますか。【今後手助けをしたいか】

(1)～(8)について、

①～③のそれぞれ1つに

○をつけてください。

(N=731)

	【手助けをしてほしいか】			【手助けをしたことがあるか】			【今後手助けをしたいか】			
	思っただけのこと	してほしいこと	思っただけのこと	したことがある	したことがない	無回答	したいと思う	したいと思わない	分からない	無回答
(1) 安否確認の声かけ	30.0%	29.5%	34.9%	10.8%	83.4%	5.7%	49.4%	9.0%	35.6%	6.0%
(2) ちよっとした買い物やゴミ出し	13.4%	58.4%	22.8%	9.8%	85.0%	5.2%	32.8%	23.7%	37.2%	6.3%
(3) 食事や掃除・洗濯の手伝い	14.8%	59.9%	19.8%	6.2%	88.4%	5.5%	20.9%	35.0%	37.9%	6.2%
(4) 通院の送迎や外出の手助け	18.3%	49.1%	27.1%	7.9%	86.5%	5.6%	25.0%	26.7%	41.7%	6.6%
(5) 子どもの預かり	25.6%	37.1%	30.5%	15.6%	78.8%	5.6%	24.2%	30.0%	39.3%	6.6%
(6) 話し相手や相談相手	19.3%	44.0%	31.2%	15.9%	78.4%	5.7%	34.6%	19.0%	39.7%	6.7%
(7) 災害時避難の手助けの準備	40.8%	25.6%	27.9%	3.4%	91.1%	5.5%	49.5%	9.7%	34.3%	6.4%
(8) 具合がよくないときに、病院等に連絡する	32.6%	32.3%	30.0%	6.2%	88.4%	5.5%	51.4%	10.4%	32.3%	5.9%

地域福祉活動等の取組についておたずねします

問 15 調布市では、さまざまな地域活動・ボランティア活動が行われています。

① 次のような地域活動・ボランティア活動について、あなたは興味・関心がありますか。

【興味の有無】

② 現在、次のような地域活動・ボランティア活動にあなたは取り組んでいますか。

【取組状況】

	① 【興味の有無】		② 【取組状況】	
	興味がある	興味はない	取り組んでいる	取り組んでいない
(1) 子育て世帯・青少年を支援する活動、子ども会やPTAの活動	34.9%	61.1%	10.3%	86.0%
(2) 高齢者を支援する活動	43.0%	52.7%	3.4%	93.0%
(3) 障害のある人を支援する活動	42.3%	53.6%	2.7%	93.3%
(4) お祭りや運動会などのレクリエーション活動、地域の伝統や文化を伝える活動	44.2%	51.6%	9.8%	86.5%
(5) 交通安全や犯罪防止など地域の安全を守る活動	45.8%	49.9%	4.4%	91.5%
(6) 防災訓練や災害時に救援・支援をする活動	58.3%	37.5%	4.9%	91.5%
(7) 地域の環境美化、環境保全・自然保護などの活動	50.6%	44.6%	3.6%	92.5%
(8) 自治会・地区協議会・老人クラブなどの活動	22.4%	73.3%	6.0%	90.0%

問 16 あなたは、今後、地域活動・ボランティア活動等に取り組んでいきたいと考えていますか。(1つに○)

(N=731)

1. 積極的に、取り組んでいきたい	1.1%	↑
2. できるだけ、取り組んでいきたい	9.2%	↑
3. 機会があれば、取り組んでもよい	43.0%	
4. 取り組みたいが、できない	20.5%	↑
5. あまり取り組みたくくない	19.6%	
無回答	6.7%	

問 16-1 問 16 で4または5と答えた方におたずねします。

地域活動・ボランティア活動等に取り組まない理由は何ですか。(いくつでも○)

(n=293)

1. 興味のある活動がないから	8.2%	7. きっかけがないから	18.1%
2. 活動に関する情報がないから	13.3%	8. 人づきあいが面倒だから	19.8%
3. 経済的負担が大きいため	11.6%	9. 興味がなから	16.0%
4. 介護・育児で忙しいから	14.0%	10. 地域にかわりたくないから	4.4%
5. メリットを感じないから	4.1%	11. その他(具体的に：)	9.2%
6. 時間がないから	66.9%	無回答	1.0%

問 17 どのような条件であれば、地域活動・ボランティア活動等に参加・活動しやすと思いますか。(いくつでも○)

(N=731)

1. 子どもの世話や介護を代わりに	9.4%
2. 活動内容や団体に関する情報を紹介してくれる	23.3%
3. 友人等と一緒に参加できること	20.9%
4. 時間や期間にあまりしばられない	62.7%
5. 身近なところに行きやすい場所があること	47.6%
6. 適切な指導者やリーダーがいること	26.7%
7. 活動に参加することでメリットがある(報酬等)	17.4%
8. その他(具体的に：)	12.9%
9. その他(具体的に：)	4.4%
10. 分からない	7.0%
11. 条件によらず、参加したくない	4.4%
無回答	10.9%

問 18 調布市では、次のような福祉・ボランティアの養成講座を開催しています。

① あなたは、次のような養成講座をご存知でしたか。【認知状況】

② あなたは、今後どのような養成講座に参加したいと思いますか。【今後の利用意向】

	① 【認知状況】		② 【今後の利用意向】	
	知っていた	知らなかった	参加したい	参加したくない
(1) これからボランティアをはじめたい人のガイダンス(ボランティアに興味のある初心者の方、地域とのつながりを求めている方へ、活動の紹介等を行います)	9.0%	89.1%	13.3%	29.0%
(2) 認知症サポーター養成講座(認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を見守る応援者を養成する講座です)	13.5%	84.3%	12.6%	31.7%
(3) 見守りサポーター「みまもりさん」養成講座(高齢者などの見守りに役立つ知識を身に付けるための講座です)	9.4%	88.5%	12.3%	30.5%
			54.0%	3.7%
			51.7%	4.0%
			53.6%	3.6%

問 19 これまであなたが身近な活動拠点として利用している施設は、次のうちどこですか。
(いくつでも○)

(N=731)	
1. 文化会館たづくり	40.9%
2. 地域福祉センター	15.2%
3. 総合福祉センター	1.6%
4. 市民活動支援センター	4.1%
5. ふれあいの家	3.8%
6. 公民館	39.9%
7. 図書館	1.6%
8. 小学校・中学校	
9. 民間の施設(具体的に:)	
10. 個人宅	
11. その他(具体的に:)	
12. 特になし	
無回答	

問 20 あなたが身近な活動拠点に求める機能は、どのようなものですか。(3つまで○)
(N=731)

1. 困ったことを何でも気軽に相談できる総合相談窓口	35.6%
2. 団体活動等で借りられる集会所等の部屋	15.2%
3. 好きなきに自由に勉強や休憩等に使えるフリースペース	37.8%
4. いつでも誰かがいておしゃべり等ができるたまり場	7.4%
5. 掲示板や情報誌の発行など、地域の情報の集約・発信	18.7%
6. コピー機やメールボックス、ロッカーの貸し出しなど、市民活動のサポート	13.3%
7. 展示スペース等の市民活動の発表の場	5.3%
8. その他(具体的に:)	3.7%
9. 特になし	15.7%
10. 分からない	11.5%
無回答	2.1%

住民参加の地域づくりについておたずねします

問 21 あなたがお住まいの地域には、地域のつながり(住民同士の助け合い・支え合いなど)はあると感じますか。(1つに○)

(N=731)	
1. とても感じる	6.4%
2. 少し感じる	37.5%
3. あまり感じない	39.5%
4. 感じない	15.2%
無回答	1.4%

問 22 あなたは暮らしの中で、地域のつながり(住民同士の助け合い・支え合いなど)は必要だと思いますか。(1つに○)

(N=731)	
1. とても必要だと思う	19.8%
2. どちらかといえば、必要だと思う	69.2%
3. どちらかといえば、必要ないと思う	7.5%
4. 必要ないと思う	2.2%
無回答	1.2%

問 23 地域で住民の協力関係を築くためにはどのようなことが必要だと思いますか。
(3つまで○)

(N=731)	
1. 自ら進んで日ごろから住民相互のつながりをもつように心がけること	42.1%
2. 自治会が中心となって交流活動を進めること	13.8%
3. ボランティア団体やNPO※の活動を活発にすること	7.8%
4. 地域の人が気軽に集まる場所や地域活動の拠点となる場を作ること	32.3%
5. 地域の企業や団体などに地域活動への参加を呼びかけること	10.1%
6. 地域活動に関する具体的な情報や紹介を拡げる	32.0%
7. 地域活動を担う、リーダーとなる人材を育成すること	14.0%
8. 行政や社会福祉協議会が地域活動への支援やコーディネートをする	11.2%
9. その他(具体的に:)	3.4%
10. 分からない	17.2%
無回答	2.3%

※NPO: 営利を目的とせず公益的な市民活動を行う民間団体

問 24 あなたが、地域で支え合っていると思うことは、次のうちどのようなことですか。
(3つまで○)

(N=731)	
1. 電球交換や古い物支援など、日常のちょっとした困りごとへの支援	22.7%
2. いつでも気軽に立ち寄ってお話やお茶を楽しめる、地域の居場所作り	19.6%
3. 避難訓練や防災マップの作成、自主防災組織等の防災・災害対策	38.2%
4. バトルールや登下校時の子どもの見守りなどの防犯・安全対策	45.8%
5. 地域住民同士の訪問・見守り活動	12.2%
6. 悩み事の相談や共有ができる場づくり	14.8%
7. 地域の清掃や環境保護活動など、地域の環境の整備	25.2%
8. 地域の歴史・文化や伝統を伝える活動	10.3%
9. その他(具体的に:)	1.5%
10. 特になし	13.0%
無回答	3.1%

災害時についてのお考えをおたずねします

問 25 あなたは、災害時についての不安や心配ごとがありますか。(いくつでも○)
(N=731)

1. 老朽化などお住まい(家屋)のこと	25.2%
2. 家具や家電の転倒対策が不十分なこと	36.4%
3. 食糧や日用品の備蓄が不十分なこと	57.2%
4. 避難所がはつきり分らないこと	17.4%
5. ご自身の歩行に不安があること	2.2%
6. 同居のご家族の歩行に不安があること	8.8%
7. その他(具体的に:)	11.6%
8. 特に不安や心配ごとはない	13.4%
無回答	1.9%

地域社会のあり方についておたずねします

問 26 災害が起きたときに向けて、地域での取組が求められています。

①あなたが普段から地域のためにしていることはありますか。【取組状況】

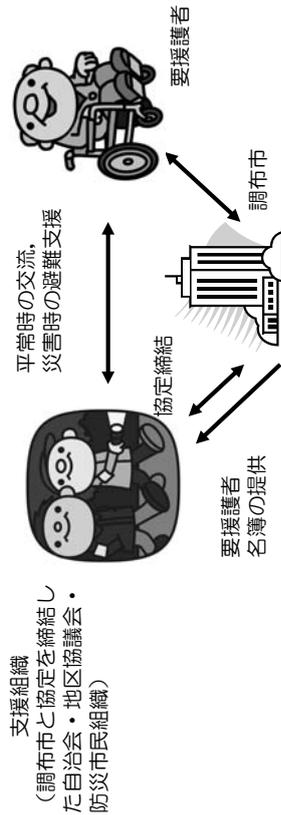
②今後できることはありますか。【今後の意向】

(1)～(10)について、①と②のそれぞれ1つに○をつけてください。

	①【取組状況】		②【今後の意向】				
	している	していない	無回答	できる	できない	分からない	無回答
(N=731)							
(1) 近隣同士の声かけや安否確認	13.5%	82.6%	3.8%	40.9%	8.8%	45.6%	4.8%
(2) 自治会などの地域の集まりへの参加	12.9%	83.4%	3.7%	22.3%	20.2%	52.5%	4.9%
(3) 自主防災組織への参加	5.1%	91.0%	4.0%	17.5%	20.9%	56.2%	5.3%
(4) 地域の防災訓練への参加	8.8%	87.3%	4.0%	30.0%	15.5%	49.1%	5.5%
(5) 地域の防災マップや防災マップの確認 (避難場所の確認や、地域の危険な場所の把握等)	39.5%	56.2%	4.2%	62.7%	5.5%	26.0%	5.9%
(6) 防災講習会や学習会への参加	5.1%	91.0%	4.0%	25.6%	17.6%	50.8%	6.0%
(7) ボランティア活動やちょっとした日常の助け合い	7.4%	88.6%	4.0%	31.2%	12.9%	50.2%	5.7%
(8) 家庭内での災害への備え(水や食料の備蓄、家具の転倒防止、家族での連絡手段の確認等)	47.3%	48.7%	4.0%	70.5%	4.2%	19.8%	5.5%
(9) 災害時の情報入手手段の確認	27.9%	67.7%	4.4%	59.6%	4.4%	30.8%	5.2%
(10) その他【具体的に：】	0.1%	38.0%	61.8%	2.3%	36%	31.1%	63.1%

市では、災害時の共助の取組として、「災害時要援護者避難支援プラン」を推進しています。

災害時要援護者ご本人の同意を得たうえで「要援護者名簿」を調布市が作成し、調布市と協定を締結した支援組織に提供。要援護者名簿を活用し、地域の組織と要援護者を平時からの交流を通じて、災害時の避難支援体制を整えていくものです。



問 27 あなたは、次のような考え方についてどう思いますか。

(1)～(8)について、それぞれ1つに○をつけてください。

(N=731)

	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
(1) 障害のある人となない人が、ともに生きるため、役所や事業所は、社会の中にあるバリアを取り除くべきである	30.1%	55.8%	7.7%	2.3%	4.1%
(2) ホームレスの問題は、本人だけでなく、社会全体の問題だ	14.8%	43.8%	30.9%	7.0%	3.6%
(3) 生活保護を受けている人に対する偏見や差別がある	6.7%	35.0%	44.0%	10.3%	4.0%
(4) ひきこもり*やニート*は、本人だけでなく、社会全体の問題だ	10.0%	36.9%	39.1%	9.7%	4.2%
(5) 虐待を防ぐために、地域でのつながりが重要である	27.6%	57.6%	9.0%	1.9%	3.8%
(6) DV**被害を防ぐために、地域でのつながりが重要である	19.3%	52.0%	21.1%	3.3%	4.4%
(7) ひとり親家庭の自立を支援するために、地域でのつながりが重要である	19.2%	58.8%	15.2%	2.9%	4.0%
(8) 認知症の人やその家族を地域全体で支えていくべきである	21.6%	62.2%	11.2%	1.4%	3.6%

※「ひきこもり」

さまざまな要因が重なって社会的な参加の場面がせばまり、就労や就学などの自宅以外の生活の場が長期にわたって失われている状態のこと

※「ニート」

若者のうち、学校や仕事に行かず、求職活動や職業訓練をしていない者

※「DV」(ドメスティック・バイオレンス)

配偶者や恋人など親密な関係にある(またはあった)者から振られる暴力。身体的な暴力だけでなく、精神的、経済的、性的な暴力など、あらゆる暴力を含む

問 28 あなたを含め、地域において支援が必要であるにもかかわらず、福祉サービスの利用に結びついていない人がいますか。(1つに○)

(N=731)

- 1. いる 4.0%
- 2. いない 21.6%
- 3. 分からない 69.2%
- 無回答 5.2%

問 28-1 福祉サービスの利用に結びついていない人は、どのような人ですか。また、どのようなことでお困りですか。下の欄に具体的に記入ください。

問 29 「すべての人々が年齢や障害の有無によって分け隔てられることなく、互いの人格と個性を尊重しあいがら共生する社会(共生社会)を目指す」という考え方について、調布市では市民に理解され、浸透していると思いますか。(1つに○)

(N=731)

- 1. 理解され、浸透している 0.8%
- 2. どちらかといえば、理解され、浸透している 15.6%
- 3. どちらかといえば、理解されておらず、浸透していない 29.8%
- 4. 理解されておらず、浸透していない 13.0%
- 5. 分からない 37.9%
- 無回答 2.9%

福祉のまちづくりについておたずねします

問 30 現在、調布市の建築物や公共交通機関、情報案内、公園や道路などについて、障害のある人や妊婦、子どもづれ、高齢者、外国人等が利用しやすいように整備されていると思いますか。

(1)～(11)について、それぞれ1つに○をつけてください。

(N=731)

	整備されている	やや整備されている	あまり整備されていない	整備されていない	整備の必要を感じない	無回答	
建築物	5.2%	43.8%	36.0%	10.5%	0.4%	4.1%	
道路・交通機関等	(1) 車いすの方やだれもが安全に通れる建物の出入口や通路(段差をなくす、幅を広げる)	11.6%	57.7%	21.8%	4.2%	4.1%	
	(2) 公共施設や病院等のスロープ、エレベーターやエスカレーター	10.5%	48.2%	30.8%	6.0%	4.4%	
情報案内など	(3) 車いすの方や乳幼児を連れてきた方などだれもが使いやすいトイレ	2.6%	21.1%	46.4%	25.7%	0.4%	
	(4) 歩きやすいように、障害物(商品や看板、設置自転車、電柱等)が取り除かれ、段差や凹凸が少なく十分に幅のある歩道や道路	5.5%	38.4%	39.7%	10.8%	0.4%	5.2%
全体	(5) 点字ブロックや視覚障害者用の信号機	8.2%	46.6%	32.1%	7.0%	5.6%	
	(6) 車いすやベビーカーで乗降しやすい超低床バスやリフト付バス	10.3%	39.1%	35.2%	8.1%	1.2%	6.2%
全体	(7) 障害者用の駐車場	4.0%	26.0%	51.4%	10.9%	0.7%	7.0%
	(8) 大きな文字、絵、複数の言語を用いた誰もがわかりやすい案内標示	1.8%	15.6%	52.0%	20.9%	1.4%	8.3%
全体	(9) 手話のできる職員が配置されていたり、音声ガイドがある施設	2.2%	12.2%	51.2%	24.5%	1.6%	8.3%
	(10) 補助犬と同伴での入室が配慮された店・レストランなど	2.3%	18.1%	51.3%	19.6%	1.0%	7.8%
全体	(11) (1)～(10)や公園、道路などを含むまち全体のユニバーサルデザイン*						

※ユニバーサルデザイン

道路・住宅・製品などを設計製造する場合に、障害のある人用という区分けをなくし、誰でも使えるものを作るという考え方

問 31 近所やまちで障害のある方、高齢者、妊婦や乳幼児を連れてきた方等にお手伝いをしたことがありますか。(いくつでも○)

(N=731)

1. 階段の上り下りやバス、乗りの降りに手を貸した	28.2%	3. 乗りの物で席を譲った	77.7%
2. 車いすやベビーカーのお手伝いをした	31.6%	4. 話しかけたり、声をかけたりした	26.3%
5. その他(具体的に)	3.1%	6. 何もしたことがない	10.5%
無回答	3.4%		

認知症や介護についておたずねします

問 32 あなたは認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。最も近いと思うものを
お答えください。(1つに○)
(N=731)

- | | |
|--|--------------|
| 1. 認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、
今まで暮らしてきた地域で、今までどおりの自立的に生活できる | 3.7% |
| 2. 認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、
今まで暮らしてきた地域で生活していける | 32.6% |
| 3. 認知症になると、身の回りのことができなくなり、
介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる | 44.2% |
| 4. 認知症になると、暴言、暴力など周りの人に迷惑をかけてしまうので、
今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる | 7.5% |
| 5. 認知症になると、症状が進行してゆき、何もできなくなってしまう
無回答 | 7.5%
4.5% |

問 33 調布市の認知症施策でこれから必要だと思われることは次のどれですか。(いくつでも○)
(N=731)

- | | |
|---|--------------|
| 1. 市民に認知症への正しい知識と理解をもってもらうための啓発・情報提供 | 38.6% |
| 2. 認知症のことを相談できる窓口・体制の充実 | 54.7% |
| 3. できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり | 62.1% |
| 4. 家族の身体的・精神的負担を減らす取組 | 73.3% |
| 5. 家族の仕事と介護の両立支援を含めた、経済的負担を減らす取組 | 62.2% |
| 6. 認知症の人の地域で見守る体制の充実 | 32.3% |
| 7. 日常生活の中で必要となる財産管理などへの支援の充実 | 20.7% |
| 8. 悪質商法や詐欺的な勧誘による被害を防止するための取組 | 36.5% |
| 9. 認知症の人の利用できる介護施設の充実 | 56.4% |
| 10. その他〔具体的に：
〕 | 2.2%
0.7% |
| 11. 特になし
無回答 | 0.7%
2.2% |

問 34 介護者支援策として、あなたが必要だと思うことは次のどれですか。(いくつでも○)
(N=731)

- | | |
|---------------------------------|--------------|
| 1. 介護者に対する定期的な情報提供 | 43.5% |
| 2. 介護者が気軽に休むことができる機会づくり | 58.5% |
| 3. リフレッシュのための日帰り旅行などの機会提供 | 19.8% |
| 4. 電話や訪問による相談サービス | 41.9% |
| 5. 本人や介護者が集まって話せる場づくり | 38.0% |
| 6. 家族会や介護者の自助グループ | 24.4% |
| 7. 在宅介護者への手当 | 44.7% |
| 8. 介護休業取得者のいる企業への支援制度 | 29.3% |
| 9. 介護者が仕事と介護の両立ができる支援制度、再就職支援施策 | 55.4% |
| 10. 介護者の経験を活かした介護問題への発言の場づくり | 18.2% |
| 11. その他〔具体的に：
〕 | 2.1%
1.9% |
| 12. 特になし
無回答 | 1.9%
2.3% |

障害のある人の地域生活についておたずねします

問 35 平成 28 年 4 月から、「障害者差別解消法(障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律)」が施行されました。

あなたは、「障害者差別解消法」について、どの程度知っていましたか。(1つに○)
(N=731)

- | | |
|-------------------------|---------------|
| 1. 内容も含めて知っている | 9.7% |
| 2. 法律各程度は知っているが、内容は知らない | 28.9% |
| 3. 全く知らない
無回答 | 58.8%
2.6% |

※障害者差別解消法

この法律では、障害のある人に対して、正当な理由なく、障害のない人たちと違う扱いをすること(不当な差別的取扱い)を禁止しています。

また、障害のある人が困っている時、その人の障害にあった必要な工夫ややり方を伝えられた場合、負担が重すぎない範囲で対応すること(合理的配慮)が求められます。(役所は対応が義務づけられています)

※この法律は役所や企業・店舗等に対して差別を禁止するもので、一人ひとりの行動や考えを罰するものではありません。

問 36 あなたは、調布市が障害のある人に配布している「ヘルプカード」について知っていますか。(1つに○)
(N=731)

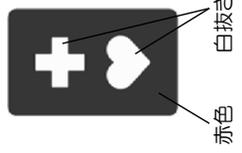


- | | |
|------------------------|---------------|
| 1. 内容も含めて知っている | 13.5% |
| 2. 名前程度は知っているが、内容は知らない | 17.2% |
| 3. 全く知らない
無回答 | 66.8%
2.5% |

※「ヘルプカード」

ヘルプカードは、障害のある方が緊急連絡先、医療情報、手伝ってほしい内容などを記載し、普段から身に付けておくことで、緊急時や災害時、日常の困ったときに、周囲の配慮や手助けをお願いしやすいものです。障害福祉課の窓口で配布しています。これとは別に、障害のある方に限らず、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々のために東京都が作成した「ヘルプマーク」もあります。

ヘルプマーク



調布市の保健福祉施策についておたずねします

問 37 あなたは、調布市の保健福祉施策(サービス)に関する情報を、どこから入手していますか。(いくつでも)

(N=731)

- | | |
|---|-------|
| 1. 家族、知人からの口コミ | 15.5% |
| 2. 相談窓口(市役所、行政機関、行政事務所など) | 7.3% |
| 3. 広報紙などの印刷物
(市報ちょうふ、暮らしの便利帳、市議会だより、ふくしの窓(社会福祉協議会の会報)など) | 63.2% |
| 4. 地域の掲示板のポスター、回覧板 | 5.9% |
| 5. テレビ(ケーブルテレビを含む)・ラジオ | 2.7% |
| 6. インターネットサイト(パソコン) | 10.3% |
| 7. インターネットサイト(携帯電話、スマートフォン、タブレット端末) | 8.5% |
| 8. その他(具体的に:) | 1.2% |
| 9. 特にない・情報は入手していない | 24.6% |
| 無回答 | 2.5% |

問 38 調布市において、今後、特に力を入れていくべきと思う保健福祉施策(サービス)は何か。(3つまで)

(N=731)

- | | | | |
|-------------------------|-------|--------------------|-------|
| 1. 少子化対策や子育て支援施策 | 49.0% | 7. 生活困窮者自立支援施策 | 12.7% |
| 2. 障害者(児)支援施策 | 22.4% | 8. 子どもの貧困対策 | 24.1% |
| 3. 高齢者の介護や生活支援施策 | 50.5% | 9. 高齢や障害者に適したまわくゆき | 27.6% |
| 4. 市民の健康づくり施策 | 18.6% | 10. その他(具体的に:) | 3.7% |
| 5. 市民の生きがいや社会参加の支援・支援施設 | 10.7% | 無回答 | 3.8% |
| 6. ボランティア活動の振興・支援施策 | 9.3% | | |

問 39 調布市の保健福祉施策(サービス)をより充実していくために、あなたが重要と思う取組はどれですか。(3つまで)

(N=731)

- | | |
|---------------------------------------|-------|
| 1. 相談や情報提供体制の充実 | 43.4% |
| 2. 利用者の立場や権利を保護・擁護する制度の充実 | 22.8% |
| 3. 在宅サービス(ホームヘルプサービス、デイサービスなど)の質と量の確保 | 50.3% |
| 4. 入所施設サービスの質と量の確保 | 40.1% |
| 5. ボランティア団体やNPOなどの育成・活動支援 | 11.1% |
| 6. 市民相互の助け合い・支え合い活動の活性化 | 15.6% |
| 7. 民間活力の導入による福祉サービスの確保と活性化 | 19.2% |
| 8. 市民・関連団体・行政の連携と協働の推進 | 12.0% |
| 9. 市民への福祉意識の啓発 | 10.9% |
| 10. その他(具体的に:) | 2.9% |
| 無回答 | 4.0% |

問 40 調布市の医療をよりよくするために何が必要だと思いますか。(いくつでも)

(N=731)

- | | |
|-------------------------|-------|
| 1. 地域の中で完結できる医療体制 | 45.0% |
| 2. 在宅医療の普及 | 28.2% |
| 3. 救急医療の充実 | 48.8% |
| 4. かかりつけ医の普及 | 39.3% |
| 5. 専門医療の充実(具体的に:) | 8.5% |
| 6. 医療情報の提供(具体的に:) | 7.8% |
| 7. 医療に関する市民教育(具体的に:) | 4.8% |
| 8. 健康に関する自己管理能力(自律性)の向上 | 23.9% |
| 9. その他(具体的に:) | 4.1% |
| 10. 特にない | 4.8% |
| 無回答 | 3.0% |

問 41 最後に、地域づくりに必要なことや調布市の地域福祉施策についてのご要望・ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

たくさんの質問にお答えいただき、誠にありがとうございました。

ご案内:住民懇談会のお知らせ

平成28年11月14日～17日(夜間)

会場:総合福祉センターほか

平成28年12月10, 11日(昼間)

会場:総合福祉センターほか

調布のこれからの地域福祉について、お話しませんか。

詳しくは、下記HPをご覧ください。

<http://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1472715178107/index.html>

調布市民福祉ニーズ調査 高齢者の生きがいと地域生活に関する調査

調布市の高齢者福祉を進めるうえでの大切なアンケートです。
あなたのご意見がこれからの調布の高齢者福祉施策に生かされます。

調査についてのお願い

市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

この調査は、高齢になっても誰もが安心して住み続けられる地域と、誰もが生きがいを持って暮らせる社会の創出を目指す、「第7期調布市高齢者総合計画」を策定するため、皆様のご意見やご要望を幅広くお聴きし、より身近な福祉施策を推進するために実施するものです。

ご回答いただきました内容は、すべて統計的に処理し、調査目的の以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

平成28年10月 調布市長 長友 貴樹

裏面の「記入についてのお願い」をよくお読みの上、ご記入をお願いします。

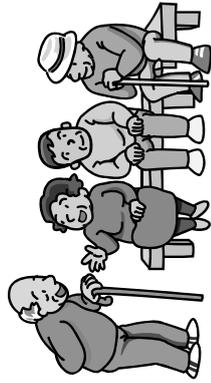
調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。

ご記入が終わりましたら、調査票を同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

10月24日(月)までに郵便ポストに投函してください。

調査についてご質問などがありましたら、
下記までお問い合わせください。

平成28年9月1日現在、調布市にお住まいの
65歳以上の市民の皆様の中から、2,000人を
無作為に抽出しました。



問合せ先

調布市 福祉健康部 高齢者支援室
電話：042-481-7149

記入についてのお願い

1. 封筒のあて名ご本人について、ご記入をお願いいたします。
調査票の設問中の「あなた」とは、封筒のあて名の方を指します。なお、ご本人が回答困難な場合、入院中などの場合は、ご家族や周りの方がお手伝いいただくか、あて名のご本人の意見を聞いたうえで代わりにご記入ください。
2. 濃い鉛筆又は黒のボールペンで記入してください。
3. お答えいただく際は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。
□の場合は回答内容等を記入してください。
4. ○の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。
5. 「その他」に○印をつけられた方は、〔 〕内に具体的な答えを記入してください。

この調査の結果は、市の高齢者福祉に関する計画や施策に反映されます。

過去の調査から施策の充実につながった例

- これまでの調査から、地域のつながりを感じる程度が年々減少しており、地域の関係性が希薄化していることから、第6期高齢者総合計画では「地域における支え合いの仕組みづくり」が盛り込まれました。
- 災害時支援の必要性が確認され、災害時要援護者の支援体制整備につながりました。

あなた(あて名のご本人)のことをおたずねします

※ここでいう「あなた」とは調査票をお送りしている方のことです。
※以下の質問については平成28年10月1日現在の状況をもとに回答してください。

問1 この調査に回答していただく方はどなたですか。(1つに〇)

(N=1,339)

1. 本人(代筆可)	93.1%	2. 家族	4.4%
3. その他	0.3%	無回答	2.2%

問2 あなたの性別をお答えください。(1つに〇)
また、平成28年10月1日現在の年齢をご記入ください。

(N=1,339)

1. 男性	42.4%	2. 女性	55.5%	満〔 〕歳	※数字を記入
無回答	2.1%	平均	75.5歳		

問3 あなたは、現在どこで生活していますか。(1つに〇)

(N=1,339)

1. 自宅(持ち家)で生活している	72.4%
2. 自宅(賃貸)で生活している	21.7%
3. 病院に入院中	0.6%
4. 施設に入所している(特別養護老人ホーム・有料老人ホーム等)	1.6%
5. その他(具体的に：)	2.3%
無回答	1.3%

問4 現在、あなたの世帯の家族構成は、次のうちどれですか。(1つに〇)

(N=1,339)

1. ひとり暮らし	21.4%
2. 夫婦のみ(配偶者は65歳以上)	41.1%
3. 夫婦のみ(配偶者は65歳未満)	3.0%
4. 上記(1～3)以外で世帯全員が65歳以上	4.1%
5. 上記(1～4)以外	28.0%
無回答	2.5%

問5 お住まいの地域はどこですか。記入例を参考に[町名],[丁目]をご記入ください。
(N=1,339)

町名(例：小島町)	〔 〕	〔 〕	〕	丁目
緑ヶ丘小学校区	4.6%	八雲台小学校区	〔 〕	4.3%
若葉小学校区	5.4%	国領小学校区	〔 〕	5.5%
調和小学校区	5.9%	布田小学校区	〔 〕	2.8%
滝坂小学校区	4.2%	杉森小学校区	〔 〕	3.2%
石原小学校区	3.9%	第二小学校区	〔 〕	3.2%
第三小学校区	6.9%	染地小学校区	〔 〕	6.4%
飛田給小学校区	3.6%	上ノ原小学校区	〔 〕	6.6%
第一小学校区	4.9%	深大寺小学校区	〔 〕	4.2%
富士見台小学校区	4.6%	北ノ台小学校区	〔 〕	5.5%
多摩川小学校区	2.7%	柏野小学校区	〔 〕	3.2%
		無回答	〔 〕	8.5%

問5-1 お住まいの近くにある、避難所などになっている公立小学校はどれですか。(1つに〇)

(N=1,339)

1. 第一小学校	3.8%	12. 染地小学校	4.1%
2. 第二小学校	3.0%	13. 北ノ台小学校	5.3%
3. 第三小学校	5.4%	14. 多摩川小学校	2.9%
4. 八雲台小学校	4.8%	15. 杉森小学校	5.0%
5. 富士見台小学校	4.9%	16. 飛田給小学校	4.1%
6. 滝坂小学校	2.2%	17. 柏野小学校	3.0%
7. 深大寺小学校	4.4%	18. 国領小学校	6.3%
8. 上ノ原小学校	7.1%	19. 布田小学校	3.4%
9. 石原小学校	4.2%	20. 調和小学校	5.5%
10. 若葉小学校	6.4%	21. 分からない	5.2%
11. 緑ヶ丘小学校	4.7%	無回答	4.2%

問6 あなたは現在、介護を受けていますか。(いくつでも〇)

(N=1,339)

1. 家族や親族から介護を受けている	→	問6-1へ	5.7%
2. 介護保険制度を利用して介護を受けている	→	問6-1へ	7.8%
3. ボランティアから介護を受けている	→	問6-1へ	0.1%
4. その他の人から介護を受けている(具体的に：)	→	問6-1へ	1.0%
5. 介護を受けていない	→	問6-2へ	82.2%
無回答	→	問6-2へ	5.8%

問 6-1 問6で1と答えた方におたずねします。主な介護者はどなたですか。(1つに○)
(n=76)

1. 配偶者	32.9%	5. 兄弟・姉妹	0.0%
2. 娘	26.3%	6. 親	1.3%
3. 息子	9.2%	7. その他〔具体的に：〕	10.5%
4. 娘・息子の配偶者	10.5%	無回答	9.2%

問 6-2 問6で5と答えた方におたずねします。
あなたは、介護が必要になったとき、どこで生活したいと考えていますか。(1つに○)
(n=1,101)

1. 自宅で家族などの介護を受けながら生活したい	16.7%
2. 自宅で在宅サービス（通い・訪問を含む）を受けながら生活したい	33.9%
3. 特別養護老人ホームや有料ホームなどの施設に入所したい	15.3%
4. その他〔具体的に：〕	2.7%
5. 自宅で生活したいが、人の世話になりたくない	15.9%
6. 分からない	11.8%
無回答	3.7%

近所づきあいについておたずねします

問 7 あなたは、日ごろどのような近所づきあいをしていますか。(1つに○)
(N=1,339)

1. 家を行き来するなど、親しく近所づきあいをしている	14.2%
2. 立ち話をする程度のつきあいをしている	40.6%
3. あいさつをする程度のつきあいをしている	33.8%
4. 近所づきあいをしていない	9.3%
無回答	2.2%

問 7-1 近所づきあいをしていない主な理由は何ですか。(いくつでも○)
(n=124)

1. 仕事や家事などで忙しく時間が無いから	17.7%
2. 引越してきて間もないから	6.5%
3. 普段つきあう機会が無いから	46.0%
4. 同世代の人が近くにいないから	4.0%
5. 気の合う人・話の合う人が近くにいないから	16.9%
6. あまりかかわりをもたないから	28.2%
7. その他〔具体的に：〕	21.0%
無回答	1.6%

日ごろのお悩みと相談についておたずねします

問 8 あなたは、地域での暮らしの中で、不安や課題と感ずることがありますか。身近に感ずる不安や課題をお答ください。(いくつでも○)
(N=1,339)

1. 健康のこと	62.2%
2. 介護のこと	31.7%
3. 老後の生活のこと	39.1%
4. 住まいや住宅のこと	13.7%
5. 仕事のこと	4.1%
6. 近所づきあい、友だちづきあいのこと	4.1%
7. 防犯、地域の安全のこと	15.5%
8. 孤立死のこと	7.2%
9. 災害時のこと	32.4%
10. 気軽に相談できる人（機関）が少ないこと	9.1%
11. 葬儀、墓のこと	11.7%
12. その他〔具体的に：〕	3.1%
13. 持たない	12.8%
無回答	2.4%

問 9 あなたは、過去1年間の間に、経済的な理由で次のような経験がありましたか。
(1)～(6)について、
それぞれ1つに○をつけてください。
(N=1,339)

	あつた	なかつた	分からない	無回答
(1) あなたや家族が必要とする食料が買えないことがあった (嗜好品を除く)	1.6%	89.4%	0.7%	8.3%
(2) あなたや家族が必要とする衣料が買えないことがあった (高価な衣服や貴金属を除く)	2.0%	88.3%	0.7%	8.9%
(3) 電気料金、ガス料金、電話代等の未払いがあった	2.8%	89.1%	0.2%	7.8%
(4) 家賃を滞納したことがあった	1.5%	81.9%	0.4%	16.1%
(5) 借金の返済を滞納したことがあった	1.9%	85.4%	1.0%	11.7%
(6) あなたや家族が病氣やけがの治療のために病院や診療所を受診したほうがよいと思ったのに、実際には受診できなかった	2.6%	86.3%	1.3%	9.9%

問10 あなたが、日常生活の中で困ったとき、主に相談できる人・機関は次のうちどれですか。
(いくつでも○)

(N=1,339)

1. 同居の家族	64.2%	9. 市役所	12.6%
2. 別居の家族や親戚	53.2%	10. 社会福祉協議会	3.6%
3. 自治会や近所の人	6.6%	11. 地域包括支援センター	8.9%
4. 友人・知人	30.0%	12. 調布ライフサポート※2	0.7%
5. 民生委員・児童委員	2.3%	13. その他〔具体的に：〕	2.3%
6. 地域福祉コーディネーター※1	1.6%	14. 身近に相談できる人・機関はない	1.9%
7. ケアマネジャー・ヘルパーなどの事業者	8.1%		2.8%
8. かかりつけ医や保健師など医療関係者	20.5%	無回答	

※1 地域福祉コーディネーター（コミュニティソーシャルワーカー＝CSW）とは？

制度の狭間で苦しんでいる方や既存の公的な福祉サービスだけでは十分な対応ができない方などに対し、地域福祉を育むことにより、福祉の生活課題の解決に向けた取組を行っています。

主な役割としては、地域の福祉課題やニーズを発見し、受け止め、地域組織や関係機関と協力しながら、地域における支え合いの仕組みづくりや地域での生活を支えるネットワークづくりを行います。

平成25年4月より、調布市社会福祉協議会の職員が地域福祉コーディネーターとして活動しており、平成28年10月現在、市内の東西南北4地域に配置されています。



東部：坂本CSW



西部：穴戸CSW



南部：川原CSW



北部：前田CSW

※2 調布ライフサポートとは？（平成27年度からの新規事業）

★ 生活は苦しいけれど誰にも相談できない

★ 離職で家賃が払えない

★ 就職活動の仕方がわからない など

現在、このような悩みを抱えている人はいませんか？

ひとりで悩まず「調布ライフサポート」にご相談ください

支援員が一人ひとりの悩みに寄り添って、どうしたら良いか、一緒に考えていきます。

問合せ先：042-481-7693（事前予約制）



地域活動やボランティア活動等についておたずねします

問11 調布市では、さまざまな地域活動・ボランティア活動が行われています。

① 次のような地域活動・ボランティア活動について、あなたは興味・関心がありますか。

【興味の有無】

② 現在、次のような地域活動・ボランティア活動にあなたは取り組んでいますか。

【取組状況】

	① 【興味の有無】		② 【取組状況】	
	興味がある	興味はない	取り組んでいる	取り組んでいない
(1) 子育て世帯・青少年を支援する活動 子ども会やPTAの活動	20.3%	50.0%	2.4%	68.9%
(2) 高齢者を支援する活動	39.6%	34.4%	5.8%	66.5%
(3) 障害のある人を支援する活動	30.6%	38.6%	2.8%	67.4%
(4) お祭りや運動会などのレクリエーション活動、 地域の伝統や文化を伝える活動	28.0%	42.8%	8.6%	63.9%
(5) 交通安全や犯罪防止など地域の安全を守る活動	34.1%	36.5%	4.3%	67.4%
(6) 防災訓練や災害時に救援・支援をする活動	38.7%	32.0%	5.8%	65.9%
(7) 地域の環境美化、環境保全・自然保護などの活動	42.2%	30.3%	5.9%	66.7%
(8) 自治会・地区協議会・老人クラブなどの活動	33.1%	41.3%	15.2%	58.6%

問12 あなたは、今後、地域活動・ボランティア活動等に取り組んでいきたいと考えています

か。(1つに○)

(N=1,339)

1. 積極的に、取り組んでいきたい
 2. できるだけ、取り組んでいきたい
 3. 機会があれば、取り組んでもよい
 4. 取り組みたいが、できない
 5. あまり取り組みたくない
- 無回答

↑ 問13へ

↑ 問12-1へ

1.6%
7.9%
26.8%
26.8%
22.8%
14.0%

就労状況, 就労意向についておたずねします

問18 あなたは現在, どのような仕事をしていますか。(1つに○)
(N=1,339)

- | | |
|---------------------------------------|-------|
| 1. 正規の社員・職員 | 2.8% |
| 2. 非正規の社員・職員 (嘱託, パート, アルバイト, 契約, 派遣) | 11.4% |
| 3. 自営業 (家業手伝いを含む) | 9.0% |
| 4. シルバー人材センター・有償ボランティア | 2.3% |
| 5. 仕事はしていない | 69.6% |
| 無回答 | 4.9% |

問19 あなたは今後, どのような仕事をしたい(続けたい)ですか。(1つに○)
(N=1,339)

- | | |
|---------------------------------------|-------|
| 1. 正規の社員・職員 | 2.2% |
| 2. 非正規の社員・職員 (嘱託, パート, アルバイト, 契約, 派遣) | 10.8% |
| 3. 自営業 (家業手伝いを含む) | 7.7% |
| 4. シルバー人材センター・有償ボランティア | 9.8% |
| 5. 仕事をする必要がない・したくない | 49.9% |
| 無回答 | 19.7% |

問19-1 仕事をしたい理由は何ですか。(いくつでも○)
(n=407)

- | | |
|--------------------|-------|
| 1. 生活費をまかなうため | 44.7% |
| 2. 健康によいから | 56.3% |
| 3. 働くことに生きがいを感じるから | 43.7% |
| 4. 社会的に現役でいたいから | 36.9% |
| 5. 家においても退屈だから | 18.9% |
| 6. 技術や経験を活かしたいから | 24.8% |
| 7. 地域に貢献したいから | 16.7% |
| 8. その他 [具体的に:] | 2.2% |
| 無回答 | 2.2% |

健康・医療についておたずねします

問20 あなたの健康状態についてお答えください。(1つに○)
(N=1,339)

- | | |
|--------------------------|-------|
| 1. 大変健康である | 7.7% |
| 2. おおむね健康で普通に生活している | 59.4% |
| 3. 健康に不安がある | 22.3% |
| 4. 病気や障害があつて, 日常生活が困難である | 8.0% |
| 無回答 | 2.6% |

問20-1 以下のうち, 当てはまるものすべてに○をつけてください。(いくつでも○)
(n=298)

- | | |
|----------------------------|-------|
| 1. 転倒することが多くなった | 20.1% |
| 2. 固いものが食べにくくなった | 30.2% |
| 3. お茶や汁物でむせるようになった | 17.4% |
| 4. 周りの人から「もの忘れが多くなった」と言われる | 21.1% |
| 5. 外出することが難しくなった | 29.5% |
| 6. 入浴が難しくなった | 12.4% |
| 7. その他 [具体的に:] | 27.2% |
| 8. 当てはまるものはない | 16.8% |
| 無回答 | 1.3% |

問21 あなたには, 「かかりつけ医」, 「かかりつけ歯科医」, 「かかりつけ薬局」*はありますか。

(1)~(4)について, それぞれ1つに○をつけてください。

	いる	いない	無回答
(1) かかりつけ医 (診療所・医院)	67.1%	17.6%	15.3%
(2) かかりつけ医 (病院)	50.5%	24.4%	25.1%
(3) かかりつけ歯科医	69.6%	14.5%	15.9%
(4) かかりつけ薬局	58.6%	22.6%	18.8%

*「かかりつけ医」, 「かかりつけ歯科医」, 「かかりつけ薬局」

ここでは, あなたの生活の状況などを理解して, 健康や病気のことを日ごろから, 気軽に相談できるような身近な医師, 歯科医師, 薬局をさします。

問22 調布市の医療をよりよくするために何が必要だと思いますか。(いくつでも〇)
(N=1,339)

1. 地域の中で完結できる医療体制	33.8%
2. 在宅医療の普及	35.5%
3. 救急医療の充実	31.4%
4. かかりつけ医の普及	27.6%
5. 専門医療の充実〔具体的に：〕	7.6%
6. 医療情報の提供〔具体的に：〕	4.7%
7. 医療に関する市民教育〔具体的に：〕	2.2%
8. 健康に関する自己管理能力（自律性）の向上	24.8%
9. その他〔具体的に：〕	3.5%
10. 特になし	13.7%
無回答	8.6%

運動・介護予防についておたずねします

問23 あなたは、日ごろ体操や散歩など、何かしら運動をしていますか。また、どのくらいの頻度で運動をしていますか。

(1)~(5)について、
それぞれ1つに〇をつけてください。

	【頻度】					無回答	
	週5日以上	週3~4日程度	週1~2日程度	1か月に2~3日程度	1か月に1日以下		
(1) 自宅で体操やストレッチをする	18.7%	13.9%	15.5%	4.9%	1.6%	20.3%	24.9%
(2) 30分程度の散歩やウォーキングをする	20.7%	18.4%	16.1%	6.9%	2.3%	14.7%	20.9%
(3) 体操教室等に通っている	1.3%	2.5%	8.7%	1.9%	0.4%	51.0%	34.1%
(4) スポーツをする〔具体的に：〕	1.9%	3.7%	7.2%	3.6%	2.4%	45.0%	36.4%
(5) その他〔具体的に：〕	3.9%	4.0%	4.0%	1.6%	0.8%	26.4%	59.3%

(N=1,339)

問24 調布市では、健康管理や介護予防のためにさまざまな健康づくり事業を行っています。どのような健康づくり事業に参加したいですか。

(1) あなたは将来に向けて、どのような種類の健康づくりの事業に参加してみたいですか。(いくつでも〇)
(N=1,339)

1. 交流（趣味、レクリエーション）	26.7%
2. 骨折予防などの寝たきり予防、生活機能の維持・向上	28.2%
3. 運動・スポーツ活動	22.8%
4. 筋力トレーニング	25.2%
5. 生活習慣病の予防	25.8%
6. 認知症の予防、ケア	33.5%
7. 歯科・口腔のケア	12.2%
8. 栄養や食事の指導	18.3%
9. その他〔具体的に：〕	1.9%
10. 特になし	21.9%
無回答	5.5%

(2) どのような形式の健康づくりの事業に参加してみたいですか。(いくつでも〇)
(N=1,339)

1. 講演会などの話を聞く形式の事業	10.8%
2. 実際に体を動かす実践形式の事業	24.9%
3. 1と2を組み合わせた形式の事業	31.3%
4. その他〔具体的に：〕	1.7%
5. 持たない	32.8%
無回答	9.7%

介護者支援についておたずねします

問25 あなたは介護（遠距離介護を含む）をしていますか。また、していましたか。(1つに〇)
(N=1,339)

1. 介護している	10.0%	3. 介護していない	64.0%
2. 介護を終えた	19.0%	無回答	7.0%

→ 問25-1 それはどなたですか。(いくつでも〇)
(n=338)

1. 実の祖父母	2.8%	5. 配偶者の父母	25.5%
2. 実の父母	49.5%	6. 兄弟・姉妹	5.4%
3. 配偶者	30.2%	7. 娘・息子	1.5%
4. 配偶者の祖父母	1.5%	8. その他〔具体的に：〕	5.4%
		無回答	0.8%

問26 介護者支援策として、あなたが必要だと思うことは次のどれですか。(いくつでも○)
(N=1,339)

1. 介護者に対する定期的な情報提供	29.1%
2. 介護者が気軽に休息がとれる機会づくり	37.7%
3. リフレッシュのための日帰り旅行などの機会提供	15.2%
4. 電話や訪問による相談サービス	26.4%
5. 本人や介護者が集まって話せる場づくり	19.1%
6. 家族会や介護者の自助グループ	6.9%
7. 在宅介護者への手当	23.9%
8. 介護休業取得者のいる企業への支援制度	6.7%
9. 介護者が仕事と介護の両立ができる支援制度、再就職支援施策	22.8%
10. 介護者の経験を活かした介護問題への発言の場づくり	8.5%
11. その他〔具体的に：〕	1.6%
12. 特にない	18.3%
無回答	11.5%

認知症についておたずねします

問27 あなたは認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。最も近いと思うものをお答えください。(1つに○)
(N=1,339)

1. 認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活できる	12.8%
2. 認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける	36.2%
3. 認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる	24.9%
4. 認知症になると、暴言、暴力など周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる	4.0%
5. 認知症になると、症状が進行してゆき、何もできなくなってしまう	10.3%
無回答	11.9%

問28 もし、あなたが認知症になったら、どのように暮らしたいと思いますか。最も近いと思うものをお答えください。(1つに○)
(N=1,339)

1. 認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活していきたい	15.8%
2. 認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい	41.2%
3. 認知症になると、身の回りのことができなくなってしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい	16.1%
4. 認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい	15.9%
5. 認知症になったら、誰にも迷惑をかけないよう、ひとりで暮らしていきたい	2.0%
無回答	9.0%

問29 調布市の認知症施策でこれから必要だと思うことは次のどれですか。(いくつでも○)
(N=1,339)

1. 市民に認知症への正しい知識と理解をもってもらうための啓発・情報提供	30.3%
2. 認知症のことを相談できる窓口・体制の充実	45.8%
3. できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり	48.8%
4. 家族の身体的・精神的負担を減らす取組	44.7%
5. 家族の仕事と介護の両立支援を含めた、経済的負担を減らす取組	25.5%
6. 認知症の人の地域で見守る体制の充実	26.7%
7. 日常生活の中で必要となる財産管理などへの支援の充実	12.2%
8. 悪質商法や詐欺的な勧誘による被害を防止するための取組	19.6%
9. 認知症の人が利用できる介護施設の充実	52.6%
10. その他〔具体的に：〕	1.7%
11. 特にない	4.4%
無回答	6.6%

災害時の対応についておたずねします

問30 あなたは、災害や火災などの緊急時に、一人で避難することができますか。(1つに○)
(N=1,339)

1. 一人で判断し、避難できる	74.1%
2. 一人で判断できるが、避難はできない	11.8%
3. 一人では判断できないし、避難もできない	6.2%
無回答	7.9%

問30-1 災害や火災など緊急時に避難する際に、手助けを頼める人はいいますか。(1つに○)
(n=241)

1. いる	56.8%	3. 分らない	16.2%
2. いない	25.7%	無回答	1.2%

問31 災害が起きたときに向けて、地域での取組が求められています。
 ①あなたが普段から地域のためにしていることはありますか。【取組状況】
 ②今後できることはありますか。【今後の意向】

	①【取組状況】		②【今後の意向】	
	している	していない	できる	できない
(1) 近隣同士の声かけや安否確認	30.1%	53.2%	43.8%	22.0%
(2) 自治会などの地域の集まりへの参加	27.8%	55.6%	32.4%	22.3%
(3) 自主防災組織への参加	11.4%	68.5%	21.1%	24.0%
(4) 地域の防災訓練への参加	16.4%	64.5%	28.1%	24.0%
(5) 地域の防災マップや防災マップの確認 (避難場所の確認や、地域の危険な場所の把握等)	48.8%	32.5%	50.5%	24.1%
(6) 防災講習会や学習会への参加	8.7%	72.1%	25.9%	23.9%
(7) ボランティア活動やちょっとした日常の助け合い	11.7%	68.3%	28.3%	24.2%
(8) 家庭内での災害への備え(水や食料の備蓄、家具の転倒防止、家族での連絡手段の確認等)	57.2%	27.9%	58.5%	23.5%
(9) 災害時の情報入手手段の確認	29.8%	50.5%	40.8%	24.3%
(10) その他(具体的に:)	0.9%	20.3%	2.5%	78.9%

(N=1,339)

(1)～(10)について、①と②のそれぞれ1つに○をつけてください。

福祉のまちづくりについておたずねします

問32 現在、調布市の建築物や公共交通機関、情報案内、公園や道路などについて、障害のある人や妊婦、子どもづれ、高齢者、外国人等が利用しやすいように整備されていると思いますか。

(1)～(11)について、それぞれ1つに○をつけてください。

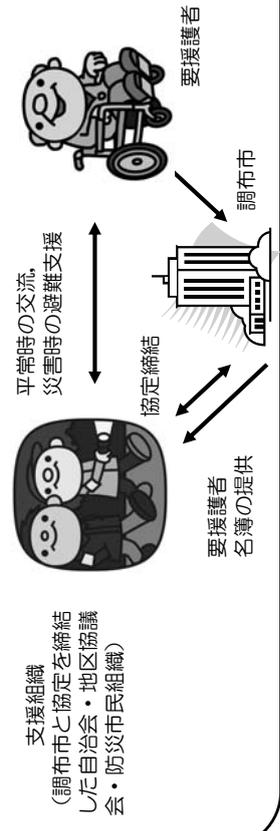
	整備されている					無回答
	整備されている	やや整備されている	あまり整備されていない	整備されていない	整備の必要を感じない	
(1) 車いすの方やたれどもが安全に通れる建物の出入口や通路(段差をなくす、幅を広げる)	5.4%	29.9%	35.1%	10.4%	1.3%	17.9%
(2) 公共施設や病院等のスロープ、エレベーターやエスカレーター	13.6%	41.5%	19.6%	5.4%	1.3%	18.6%
(3) 車いすの方や乳幼児を連れた方などたれどもが使いやすいトイレ	8.3%	33.5%	27.6%	9.2%	1.3%	20.1%
(4) 歩きやすいように、障害物(商品や看板、放置自転車、電柱等)が取り除かれ、段差や凹凸が少なく十分に幅のある歩道や道路	3.0%	18.5%	39.8%	22.0%	1.3%	15.4%
(5) 点字ブロックや視覚障害者用の信号機	6.0%	29.6%	30.2%	11.2%	1.7%	21.2%
(6) 車いすやベビーカーで乗降しやすい超低床バスやリフト付バス	7.5%	35.3%	25.5%	9.6%	1.6%	20.5%
(7) 障害者用の駐車場	7.1%	25.5%	28.5%	11.8%	2.3%	24.7%
(8) 大きな文字、絵、複数の言語を用いた誰かがわかりやすい案内標示	3.5%	17.4%	41.2%	14.4%	2.4%	21.1%
(9) 手話のできる職員が配置されていたり、音声ガイドがある施設	1.1%	7.6%	39.7%	21.1%	3.0%	27.5%
(10) 補助犬と同伴での入室が配慮された店・レストランなど	1.4%	5.8%	36.4%	24.5%	4.2%	27.7%
(11) (1)～(10)や公園、道路などを含むまち全体のユニバーサルデザイン**	1.3%	11.0%	41.4%	17.8%	2.8%	25.7%

(N=1,339)

※ユニバーサルデザイン

道路・住宅・製品などを設計製造する場合に、障害のある人用という区分けをなくし、だれでも使えるものを作るという考え方

市では、災害時の共助の取組として、「災害時要援護者避難支援プラン」を推進しています。
 災害時要援護者ご本人の同意を得たうえで「要援護者名簿」を調布市が作成し、調布市と協定を締結した支援組織に提供。要援護者名簿を活用し、地域の組織と要援護者を平時からの交流を通して、災害時の避難支援体制を整えていくものです。



地域社会のあり方についておたずねします

問33 あなたを含め、地域において支援が必要であるにもかかわらず、福祉サービスの利用に結びついていない人がいますか。(1つに○)

(N=1,339)

1. いる	4.3%	3. 分からない	76.5%
2. いない	10.3%	無回答	8.9%

問33-1 福祉サービスの利用に結びついていない人は、どのような人ですか。また、どのようなことでお困りですか。下の欄に具体的に記入ください。

問34 平成 28 年4月から、「障害者差別解消法(障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律)」が施行されました。

あなたは、「障害者差別解消法」について、どの程度知っていましたか。(1つに○)

(N=1,339)

1. 内容も含めて知っている	5.3%	3. 全く知らない	47.1%
2. 法律名程度は知っているが、内容は知らない	39.8%	無回答	7.8%

※障害者差別解消法

この法律では、障害のある人に対して、正当な理由なく、障害のない人たちと違う扱いをすること(不当な差別的取扱い)を禁止しています。

また、障害のある人が困っている時、その人の障害にあった必要な工夫ややり方を伝えられた場合、負担が重すぎない範囲で対応すること(合理的配慮)が求められます。

(役所は対応が義務づけられています)

※この法律は役所や企業・店舗等に対して差別を禁止するもので、一人ひとりの行動や考えを罰するものではありません。

問35 「すべての人々が年齢や障害の有無によって分け隔てられなくなり、互いの人格と個性を尊重しあいながら共生する社会(共生社会)を目指す」という考え方について、調布市では市民に理解され、浸透していると思いますか。(1つに○)

(N=1,339)

1. 理解され、浸透している	1.9%
2. どちらかといえば、理解され、浸透している	18.4%
3. どちらかといえば、理解されておらず、浸透していない	26.1%
4. 理解されておらず、浸透していない	9.1%
5. 分からない	36.8%
無回答	7.7%

調布市の高齢者保健福祉施策についておたずねします

問36 高齢者の権利や生活を守るための制度や相談窓口等として以下のようなものがありますが、あなたが知っているものはありますか。

(1)~(9)について、それぞれ1つに○をつけてください。

(N=1,339)

	知っている	知らなかった	無回答
(1) 成年後見制度	63.6%	26.1%	10.4%
日常生活自立支援事業 (2) (旧名称：地域福祉権利擁護事業)	30.4%	57.1%	12.5%
見守りネットワーク (3) (みまもと)	41.3%	46.8%	11.9%
(4) 高齢者虐待防止法	34.1%	53.9%	12.0%
(5) 多摩南部成年後見センター	7.5%	78.9%	13.5%
(6) 調布市消費生活相談室	55.8%	32.5%	11.7%
(7) 地域包括支援センター	55.6%	33.2%	11.2%
(8) 「くらしの案内～シルバーク編～」	28.2%	59.9%	11.9%
(9) 「認知症ガイドブック調布市で安心して暮らすために」(認知症ケアパス)	11.9%	76.3%	11.8%

問37 調布市の高齢者保健福祉施策(サービス)全般について、市が力を入れるべきことは次のうちどれだと思いますか。(5つまで)
(N=1,339)

1. 趣味や生きがいづくり, 社会参加への支援	26.9%
2. 働く機会や場所づくり	15.2%
3. 介護が必要にならないための健康づくりなどの支援	43.5%
4. 自立生活のための家事(炊事・洗濯・掃除など)についての指導	9.1%
5. 介護保険サービスの充実 (ホームヘルプサービス, テイサービス, ショートステイなど)	42.0%
6. 介護保険以外の保健福祉サービスの充実 (配食サービス, 紙おむつの給付など)	26.0%
7. ボランティアや地域活動の充実	9.3%
8. ひとり暮らしなどの高齢者に対する見守りや支え合う地域づくりへの支援	44.7%
9. 低所得者等への経済的支援	22.0%
10. 既存住宅の改修支援	10.8%
11. 安価な賃貸住宅の供給	15.9%
12. 賃貸住宅入居の仲立ち	5.4%
13. 段差などがなく利用しやすい公共施設・交通機関の整備	25.4%
14. 特別養護老人ホームなどの入所施設の整備	41.6%
15. 社会保険制度改革への不安を解消するよくな施策への取組	16.6%
16. 介護者に対する支援	30.8%
17. その他(具体的に:)	1.2%
18. 分からない 無回答	3.8%
	5.9%

問38 高齢者がいきいきとした生活を送ることができると期待している地域社会を実現するための取組などについて、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

——たくさんさんの質問にお答えいただき、誠にありがとうございました——

ご案内:住民懇談会のお知らせ

平成28年11月14日～17日(夜間) 会場:総合福祉センターほか

平成28年12月10, 11日(昼間) 会場:総合福祉センターほか

調布のこれからの地域福祉について、お話しませんか。

詳しくは、下記HPをご覧ください。

<http://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1472715178107/index.html>

ちやうふしみんふくし
調布市民福祉ニーズ調査
 しょうがい
障害のある方の地域生活に関する調査

しょうがい
調布市の障害者福祉を進めるうえでの大切なアンケートです。
あなたのご意見がこれからの調布の福祉施策に生かされます。

ちやうさ
調査についてのお願

しみん みな
 市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申しあげます。

この調査は、今後の障害者福祉施策等のあり方を検討し、「調布市障害者総合計画」を改定するため、皆様のご意見やご要望を広くお聴きし、より身近な福祉施策を推進するために実施するものです。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

平成28年10月 調布市長 友貴 樹

裏面の「記入についてのお願」をよくお読みのうえ、ご記入をお願いします。

調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。
 ご記入が終わりましたら、調査票を同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

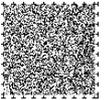
10月24日(月)までに郵便ポストに投函してください。

調査についてご質問などがありましたら、下記までお問い合わせください。また、お一人で回答が難しい場合は、ご相談ください。

平成28年9月1日現在、調布市にお住まいの身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方や難病のある方で、18歳以上の方の中から、1,800人を無作為に抽出しました。



質問や相談はこちらまでどうぞ↓
 調布市 福祉健康部 障害福祉課
 電話：042-481-7094



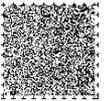
きこゆう
記入についてのお願

1. 封筒のあて名ご本人について、ご記入をお願いいたします。調査票の設問中の「あなた」とは、封筒のあて名の方を指します。なお、ご本人が回答困難な場合、入院中などの場合は、ご家族や周りの方がお手伝いいただくか、あて名のご本人の意見を聞いたうえで代わりにご記入ください。
2. 濃い鉛筆又は黒のボールペンで記入してください。
3. お答えをいただく際は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。
4. [] の場合は回答内容等を記入してください。
5. 「その他」に○印をつけられた方は、[] 内に具体的な答えを記入してください。

この調査の結果は、市の障害者福祉に関する計画や施策に反映されます。

過去の調査から施策の充実につなげた例

- 相談支援や就労支援のニーズが大きくなり、相談支援事業所や就労支援センターの支援体制の充実につなげた。
- グループホームでの生活を希望している障害者が多くなり、市におけるグループホーム整備支援の拡大につなげた。
- 就学以降の障害児の居場所づくりのニーズが明らかになり、放課後等デイサービス事業所の拡大につなげた。
- 災害時支援の必要性が確認され、災害時要援護者の支援体制整備につなげた。



あなた(あて名のご本人)のことをおたずねします

※平成28年10月1日現在の状況をもとに回答してください。

問1 この調査に回答していただく方はどなたですか。(1つに〇)

身体(64歳以下)	身体(65歳以上)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1. 本人(代筆可)	91.1%	82.9%	3. その他
2. 家族	7.2%	13.4%	無回答
			無回答

問2 あなたの性別をお答えください。(1つに〇)
また、平成28年10月1日現在の年齢をご記入ください。

身体(64歳以下)	身体(65歳以上)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1. 男性	57.6%	44.7%	満〔 〕歳
2. 女性	41.9%	55.0%	※数字を記入
無回答	0.4%	0.3%	平均51.5歳
			平均77.6歳

問3 現在、あなたがいつしよに暮らしているご家族は、どなたですか。(いくつでも〇)

身体(64歳以下)	身体(65歳以上)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1. ひとり暮らし(グループホーム等で暮らしている場合を含む)	22.0%	22.0%	23.9%
2. 配偶者(夫または妻)	45.3%	45.3%	54.3%
3. 父親	13.1%	13.1%	0.0%
4. 母親	24.2%	24.2%	1.6%
5. 子ども(子どもの配偶者を含む)	31.8%	31.8%	32.6%
6. 孫(孫の配偶者を含む)	1.7%	1.7%	6.5%
7. 兄弟姉妹	7.6%	7.6%	1.6%
8. 祖父母	0.4%	0.4%	0.0%
9. その他(具体的に：)	3.4%	3.4%	4.0%
無回答	0.4%	0.4%	1.2%

問4 お住まいの地域はどこですか。
※にゆまにれい きんこう まいごめい ちよふめ
記入例を参考に〔町名〕、〔丁目〕をご記入ください。

町名(例：小島町)〔 〕〔 〕〔 〕丁目

身体(64歳以下)(N=236) 身体(65歳以上)(N=322)

	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
第一小学校区	5.5%	5.9%	染地小学校区	3.8%
第二小学校区	3.0%	1.9%	北ノ台小学校区	5.1%
第三小学校区	7.6%	6.8%	多摩川小学校区	3.4%
八雲台小学校区	5.9%	5.6%	杉森小学校区	3.0%
富士見台小学校区	5.5%	5.0%	飛田給小学校区	5.5%
滝坂小学校区	4.7%	4.0%	柏野小学校区	2.1%
深大寺小学校区	4.7%	5.9%	国領小学校区	9.3%
上ノ原小学校区	7.2%	5.6%	布田小学校区	3.0%
石原小学校区	5.5%	3.1%	調和小学区	5.5%
若葉小学校区	2.1%	4.3%	無回答	3.4%
緑ヶ丘小学校区	4.2%	4.3%		4.7%

問 4-1 お住まいの近くにある、避難所などになっている公立小学校はどれですか。(1つに〇)

身体(64歳以下)(N=236) 身体(65歳以上)(N=322)

	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1. 第一小学校	3.8%	4.3%	12. 染地小学校	2.5%
2. 第二小学校	3.4%	2.8%	13. 北ノ台小学校	5.5%
3. 第三小学校	5.5%	5.3%	14. 多摩川小学校	3.4%
4. 八雲台小学校	5.9%	5.6%	15. 杉森小学校	3.0%
5. 富士見台小学校	4.7%	5.6%	16. 飛田給小学校	6.4%
6. 滝坂小学校	4.2%	1.9%	17. 柏野小学校	2.5%
7. 深大寺小学校	2.1%	4.3%	18. 国領小学校	9.3%
8. 上ノ原小学校	6.8%	7.5%	19. 布田小学校	3.0%
9. 石原小学校	5.1%	3.7%	20. 調和小学校	2.1%
10. 若葉小学校	2.5%	5.3%	21. 分からない	14.0%
11. 緑ヶ丘小学校	2.1%	4.3%	無回答	2.1%

お住まいや居住意向についておたずねします

問5 あなたのお住まいは、次のどれですか。(1つに○)

	身体 (64歳以下) (N=236)	身体 (65歳以上) (N=322)
1. 持ち家の一戸建て	33.1%	44.1%
2. 持ち家の集合住宅 (アパート・マンションなど)	21.2%	15.2%
3. 民間賃貸の一戸建て	0.8%	1.9%
4. 民間賃貸の集合住宅 (アパート・マンションなど)	27.5%	13.7%
5. 公営住宅 (市営・都営住宅など)	13.1%	17.7%
6. 社・公務員住宅など	0.8%	0.0%
7. グループホーム	0.0%	0.3%
8. その他 (具体的に:)	2.5%	4.3%
無回答	0.8%	2.8%

問6 あなたは、今後も調布市に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

	身体 (64歳以下) (N=236)	身体 (65歳以上) (N=322)
1. 今後も住み続けたいと思う	61.9%	75.2%
2. できるだけ住み続けたいと思う	32.6%	19.3%
3. あまり住み続けたいと思わない	3.4%	1.2%
4. 住み続けたいと思わない	1.3%	1.6%
無回答	0.8%	2.8%

問6-1 問6で答えた理由を下の欄にご記入ください。

問7 あなたは今後、どのような住まいで生活したいと思いますか。(1つに○)

	身体 (64歳以下) (N=236)	身体 (65歳以上) (N=322)
1. 親や兄弟などの家族と一緒に一戸建て、アパート、マンション	28.0%	25.2%
2. 一人暮らし、または自分の配偶者と一緒に一戸建て、アパート、マンション	43.2%	39.1%
3. グループホーム	3.0%	1.6%
4. 入所施設	2.1%	6.5%
5. その他 (具体的に:)	3.4%	7.8%
6. 分からない	17.4%	13.7%
無回答	3.0%	6.2%

障害の状況や日常生活についておたずねします

問8 あなたがご持ちの手帳または受けている診断名などについて、あてはまるものすべてに○をしてください。また、手帳の等級と診断名をご記入ください。

身体(64歳以下)(N=236) 身体(65歳以上)(N=322)

手帳の種類	または 診断名など	手帳の等級	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1. 身体障害者手帳を持っている	() 級	() 度	99.2%	95.0%
2. 愛の手帳を持っている	() 度		0.4%	0.6%
3. 精神障害者保健福祉手帳を持っている	() 級		0.0%	0.3%
4. 発達障害の診断を受けている			0.0%	0.0%
5. 高次脳機能障害の診断を受けている			1.3%	2.2%
6. 難病の診断を受けている			3.0%	1.2%
7. 認知症疾患の診断を受けている			0.0%	1.6%
8. 日常的に医療的ケア (医師や看護師の処置) *が必要である			1.3%	4.7%
無回答			0.8%	4.0%

*たんの吸引、経管栄養 (胃ろうなど)、導尿、人工呼吸器、酸素療法など、医師や看護師の管理・処置が必要な生活援助行為

身体障害者手帳 身体 (64歳以下) (n=234) 身体 (65歳以上) (n=306)

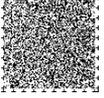
	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1級	33.3%	25.5%
2級	18.4%	11.8%
3級	10.3%	16.7%
4級	23.5%	30.1%

愛の手帳 身体 (64歳以下) (n=1) 身体 (65歳以上) (n=2)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1度	0.0%	50.0%
2度	100.0%	0.0%
3度	0.0%	0.0%

精神障害者保健福祉手帳 身体 (64歳以下) (n=0) 身体 (65歳以上) (n=1)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
1級	0.0%	100.0%
2級	0.0%	0.0%

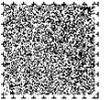


問 8-1 問8で「1. 身体障害者手帳を持っている」と答えた方におたずねします。障害の部位はどれですか。(いくつでも○)
また、○をしたものうち、主な障害を1つだけ選び◎をしてください。

	障害の部位		主な障害	
	64歳以下	65歳以上	64歳以下	65歳以上
身体(64歳以下)(n=234)				
身体(65歳以上)(n=306)				
1. 視覚	4.7%	5.6%	3.4%	3.3%
2. 聴覚	12.4%	8.2%	12.0%	6.9%
3. 平衡機能	2.6%	1.3%	0.9%	0.0%
4. 音声・言語・そしゃく	4.3%	2.6%	0.4%	1.0%
5. 肢体不自由	54.7%	42.8%	49.1%	38.2%
6. 内部(心臓、じん臓、肝臓、呼吸器機能、ぼうこう・直腸、小腸機能)	24.4%	35.9%	22.6%	29.1%
7. その他(具体的に：)	9.0%	16.0%	5.6%	9.8%
無回答	0.0%	2.3%	6.0%	11.8%

問9 あなたは、ご自分の健康や医療などについて困っていることや不安なことはありますか。(いくつでも○)

	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
身体(64歳以下)(N=236)		
身体(65歳以上)(N=322)		
1. 障害の重度化や病気の進行	36.9%	34.2%
2. 服薬の管理	3.0%	6.8%
3. 生活習慣病などの予防	11.4%	8.1%
4. 健康診断を受けられない	2.5%	2.2%
5. 相談する場所がない	6.4%	1.6%
6. 地域に受診できる医療機関がない	3.0%	1.2%
7. 通院がたいへん	16.1%	19.9%
8. 医師とのコミュニケーション	9.3%	4.0%
9. その他(具体的に：)	8.1%	13.4%
10. 特になし	36.9%	34.2%
無回答	2.5%	8.7%



問10 あなたは現在、家族、ヘルパーなどによる支援を受けていますか。(1)～(8)について、それぞれ1つに○をつけてください。

	主に家族の支援を受けている	主に家族以外(ヘルパー、相談機関などの)支援を受けている	支援がほしいが、受けていない	無回答
身体(64歳以下)(N=236)				
身体(65歳以上)(N=322)				
(1) 食事・着替え・入浴・排泄など	74.2%	5.9%	1.3%	5.5%
(2) 掃除、洗濯などの家事	53.4%	8.4%	3.1%	22.7%
(3) 外出、交通機関の利用など	61.0%	7.2%	1.7%	6.4%
(4) 医療機関の受診	41.6%	6.5%	5.0%	19.9%
(5) コミュニケーション、人間関係の悩みなどの相談	70.3%	5.5%	3.4%	6.8%
(6) 服薬の管理	41.6%	5.9%	3.4%	22.7%
(7) お金の管理	64.4%	5.1%	2.5%	5.9%
(8) 市役所、銀行などでの手続き	40.7%	6.2%	3.1%	22.0%
	69.5%	1.7%	5.9%	8.5%
	49.7%	4.3%	3.7%	26.1%
	83.5%	1.7%	0.4%	5.9%
	56.2%	3.4%	1.6%	23.6%
	78.4%	0.0%	1.7%	5.9%
	51.2%	1.2%	0.9%	23.3%
	67.4%	3.0%	2.1%	5.9%
	45.3%	1.6%	1.9%	22.4%

問 10-1 問10で「支援がほしいが、受けていない」と答えた方におたずねします。支援を受けていない理由は何ですか。(いくつでも○)

	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
身体(64歳以下)(n=27)		
身体(65歳以上)(n=36)		
1. 支援してくれる人が身近にいない	40.7%	25.7%
2. 適切なサービスがあれば利用したいが、見つからない	51.9%	42.9%
3. 周囲が必要ないと考えている	0.0%	5.7%
4. その他(具体的に：)	22.2%	28.6%
無回答	14.8%	8.6%

問11 あなたを主に介護や支援をしているご家族はどなたですか。あて名の本人からみ
た続柄で回答してください。(1つに○)
また、○をつけた方の性別にも○をつけて、年齢をご記入ください。

身体(64歳以下)(N=236)	身体(65歳以上)(N=322)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1. 配偶者		28.0%	37.6%
2. 親		17.4%	0.3%
3. 子ども(子どもの配偶者を含む)		4.2%	26.7%
4. 孫(孫の配偶者を含む)		0.0%	0.0%
5. 兄弟姉妹		4.2%	2.2%
6. 祖父母		0.4%	0.0%
7. その他の親族		0.4%	1.2%
8. いない		33.5%	16.5%
無回答		11.9%	15.5%

→問11-1 あなたを主に介護や支援をしているご家族は、介護にあたってどのよう不安
や困りごとがありますか。(いくつでも○)

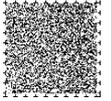
身体(64歳以下)(N=129)	身体(65歳以上)(N=219)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1. 障害や病気がよくなるかわからない		13.2%	6.4%
2. 適切な介護・支援の方法がわからない		7.0%	7.8%
3. 自分の時間が持てない(余暇・外出・休養など)		14.7%	18.3%
4. 仕事につけない		3.9%	6.8%
5. 身体的な負担が大きい		13.2%	21.5%
6. 精神的な負担が大きい		15.5%	22.8%
7. 経済的な負担が大きい		20.9%	20.1%
8. 他にも介護・支援が必要な家族がいる		8.5%	5.5%
9. 相談できる場所がない		4.7%	3.7%
10. 介護・支援をする家族自身の高齢化		24.0%	29.2%
11. 介護・支援をする家族自身も病気や障害がある		12.4%	18.3%
12. 何かあったときに本人の介護・支援を頼める人(場所)がない		21.7%	18.3%
13. その他(具体的に:))		4.7%	9.1%
14. 特になし		34.1%	26.5%
無回答		3.1%	5.0%

問12 あなたは、地域での暮らしの中で、不安や課題、心配に感じることがありますか。
身近に感じる不安や課題をお答えください。(いくつでも○)

身体(64歳以下)(N=236)	身体(65歳以上)(N=322)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1. 子育て、子どもの教育のこと		5.9%	0.6%
2. 健康のこと		38.1%	46.3%
3. 自分以外の家族の介護のこと		20.8%	13.7%
4. 将来・老後の生活のこと		53.4%	42.2%
5. 住まいや住宅のこと		21.2%	16.5%
6. 仕事のこと		20.3%	4.0%
7. お金のこと		34.7%	28.6%
8. 近所つきあい、友だちつきあいのこと		6.8%	3.4%
9. 防犯、地域の安全のこと		10.2%	8.1%
10. 災害時のこと		34.3%	34.5%
11. 気軽に相談できる人(機関)が少ないこと		9.7%	9.9%
12. 医療(治療・リハビリなど)に関すること		19.1%	11.5%
13. 福祉サービスのこと		15.3%	11.2%
14. 恋愛、性、結婚に関すること		8.9%	0.9%
15. その他(具体的に:))		0.8%	1.2%
16. 特になし		15.3%	16.8%
無回答		2.5%	6.5%

問13 あなたは、過去1年間の間に、お金がないという理由で次のような経験がありま
したか。(1)~(6)について、それぞれ1つに○をつけてください。

身体(64歳以下)(N=236)	身体(65歳以上)(N=322)	あった	なかった	わからない	無回答
(1) あなたや家族が必要とする食料物が買えないことがあった (瀬やたばこを除く)もの		6.8%	85.2%	0.8%	7.2%
(2) あなたや家族が必要とする衣類が買えないことがあった (高価な衣類や貴金属を除く)		4.0%	73.9%	2.5%	19.6%
(3) 電気料金、ガス料金、電話代等を払えないことがあった		5.5%	86.0%	1.3%	7.2%
(4) 家賃を払えないことがあった		4.0%	73.3%	2.2%	20.5%
(5) 借金を返せないことがあった		5.9%	86.4%	0.8%	6.8%
(6) 病状やけがをしたので病室に行きたかったが、行けなかった		3.1%	75.2%	1.6%	20.2%
		3.8%	86.9%	0.4%	8.9%
		2.2%	70.5%	1.9%	25.5%
		4.2%	87.3%	0.8%	7.6%
		4.3%	71.4%	1.9%	22.4%
		3.0%	88.0%	1.3%	6.8%
		3.1%	73.0%	1.6%	22.4%



問15 で5, 6と答えた方におたずねします。

問 15-4 仕事をしたい理由は次のどれですか。(いくつでも○)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
身体(64歳以下)(n=97) 身体(65歳以上)(n=211)		
1. 就学 中 のため	4.1%	0.0%
2. 高齢のため	12.4%	73.0%
3. 重い障害のため	30.9%	16.1%
4. 病気のため(入院を含む)	32.0%	19.0%
5. 希望する職種・条件の仕事が得られないため	17.5%	0.9%
6. 通勤が難しいため	12.4%	2.4%
7. 就労に向けて準備中(訓練中)のため	4.1%	0.0%
8. 働く必要がないため	10.3%	14.2%
9. 現在仕事を探しているため	18.6%	0.0%
10. その他(具体的に:)	12.4%	8.1%
無回答	2.1%	4.3%

すべての方におたずねします。

問16 仕事をするために、あなたが必要と思うことは何ですか。(いくつでも○)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
身体(64歳以下)(N=236) 身体(65歳以上)(N=322)		
1. 就労に結びつく技術や知識の習得	34.7%	13.4%
2. 心身の健康状態の維持・向上	58.1%	32.3%
3. 自分自身の意欲	47.0%	28.3%
4. 障害特性にあった多様な仕事、就労形態の整備	31.8%	7.8%
5. 受け入れ先の施設面での整備	17.4%	4.0%
6. 上司や同僚の理解と協力	39.0%	8.4%
7. 通勤手段の確保	23.3%	7.8%
8. 就労活動に必要な情報の提供	15.7%	3.1%
9. 就労(継続)のためのカウンセリングや相談	13.6%	2.8%
10. 職場適応援助者(ジョブコーチ)※1など就労を支援する援助者の配置	13.1%	2.8%
11. 試用雇用(トライアル雇用)※2の実施	11.0%	3.4%
12. 障害者雇用の定員の拡大	19.1%	5.6%
13. 給与や働き方・雇用形態などの働く環境の改善	28.4%	6.8%
14. その他(具体的に:)	5.5%	4.3%
15. 特になし	10.6%	27.3%
無回答	3.8%	23.9%

※1「職場適応援助者(ジョブコーチ)」

障害のある方が職場に早く慣れて定着できるように、一定期間会社に出向くなどして、障害のある方、会社のどちらにも助言・指導を行う専門の支援者。

※2「試用雇用(トライアル雇用)」

会社で障害のある方を短期間(3か月)試みに雇用した場合、会社に対し奨励金が支給される。試用期間中に会社と障害のある方お互いに適性を判断し、同意すれば常用雇用(社員)に移行する。

問17 あなたは、今後どのような仕事をしたいですか。現在働いている場合は、これらも同じ仕事を続けたい場合も含まれます。(1つに○)

	身体 (64歳以下)	身体 (65歳以上)
身体(64歳以下)(N=236) 身体(65歳以上)(N=322)		
1. 正規の社員・職員として仕事をする	34.3%	3.1%
2. 非正規の社員・職員(嘱託、パート、アルバイト、契約、派遣)として仕事をする	23.3%	6.8%
3. 自営業(家業手伝いを含む)で仕事をする	7.6%	6.2%
4. 障害者施設(作業所など)で仕事をする	5.9%	0.6%
5. その他(具体的に:)	7.6%	6.8%
6. 仕事をしたいと思わない	11.9%	43.8%
無回答	9.3%	32.6%

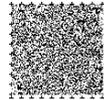
問18 仕事や普段通っている施設以外に、あなたは普段の生活の中で以下のような活動を行う、または活動に参加する機会がありますか。

(1)~(5)について、それぞれ1つに○をつけてください。

身体(64歳以下)(N=236)

身体(65歳以上)(N=322)

	十分にある	構えはあるが、十分ではない	構えはないが、ほしと思う	必要を感じていない	無回答
(1) 一人で、またはヘルパーを利用して好きなお出かけ(家族と出かける(普段の通勤・通所・通院は除く))	38.6%	13.1%	9.7%	30.5%	8.1%
(2) 家族と出かける(普段の通勤・通所・通院は除く)	12.7%	7.5%	11.2%	29.5%	39.1%
(3) 家族と出かける(普段の通勤・通所・通院は除く)	42.8%	20.8%	7.6%	19.9%	8.9%
(4) 家族と出かける(普段の通勤・通所・通院は除く)	21.7%	17.4%	7.5%	16.5%	37.0%



問20 次のような地域活動・ボランティア活動などについて、あなたがやっている活動はありますか。(いくつでも○)

身体(64歳以下)(N=236)	身体(65歳以上)(N=322)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
子育て中の親を支援する活動		0.4%	0.6%
子ども会・PTA活動		1.3%	0.9%
ひとり暮らし高齢者などの見守り支援活動		1.3%	1.2%
介護が必要な高齢者を支援する活動		1.3%	0.0%
障害のある人や難病のある人を支援する活動		4.2%	0.9%
地域のおまつりや季節の行事などの活動		3.4%	3.7%
スポーツやレクリエーションなどの活動		6.4%	4.7%
習い事・生涯学習などの活動		6.8%	7.1%
交通安全や犯罪防止などの活動		0.8%	1.6%
防災訓練などの活動		1.7%	2.2%
自治会・地区協議会・老人クラブなどの活動		7.2%	7.5%
環境保全・自然保護などの活動		0.0%	0.6%
その他(具体的に)		2.1%	6.2%
14. どれもやっていない		70.8%	64.3%
無回答		6.4%	12.7%

災害時の対応についておたずねします

問21 あなたにとって、地震などの災害が発生したときに、災害発生から避難所に行くまでの間に必要と思われる支援は何ですか。(いくつでも○)

身体(64歳以下)(N=236)	身体(65歳以上)(N=322)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
災害の詳しい情報や避難指示などを知らせてくれること		58.5%	52.2%
地域の人からの安否確認などの声かけ		29.7%	32.6%
避難所までの案内、誘導や移動の支援		47.9%	50.9%
その他(具体的に)		5.1%	4.0%
5. 特になし		14.8%	13.0%
6. 分からない		4.2%	6.2%
無回答		4.2%	7.1%

十分にある	機会はあるが、十分ではない	機会はないが、ほしいと思う	必要を感じていない	無回答
(3) 友人との交流	44.1%	23.7%	9.3%	7.6%
(4) スポーツ活動・運動など体を動かすこと	25.8%	18.0%	9.3%	31.1%
(5) スポーツ・運動以外の趣味・サークルなどの活動	26.3%	15.3%	25.0%	24.2%
	14.6%	13.7%	12.4%	23.6%
	24.2%	15.7%	24.2%	27.1%
	13.0%	9.3%	15.8%	25.2%
				36.6%

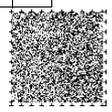
地域のつながりについておたずねします

問19 あなたは、日ごろどのような近所づきあいをしていますか。(1つに○)

身体(64歳以下)(N=236)	身体(65歳以上)(N=322)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1. 家を行き来するなど、親しく近所づきあいをしている		7.2%	10.2%
2. 立ち話をするくらいづきあいをしている		23.7%	33.9%
3. あいさつをするくらいづきあいをしている		47.5%	33.2%
4. 近所づきあいをしていない		20.3%	15.8%
無回答		1.3%	6.8%

問19-1 問19で「4. 近所づきあいをしていない」と答えた方におたずねします。近所づきあいをしていない主な理由は何か。(いくつでも○)

身体(64歳以下)(n=48)	身体(65歳以上)(n=51)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1. 仕事や学業、家事・育児などで忙しく時間がないから		31.3%	5.9%
2. 引越してきて間もないから		8.3%	11.8%
3. 普段づきあう機会がないから		56.3%	51.0%
4. 同世代の人が近くにいないから		12.5%	7.8%
5. 気の合う人・話の合う人が近くにいないから		22.9%	7.8%
6. あまりかわりをもちたくないから		25.0%	25.5%
7. その他(具体的に)		14.6%	33.3%
無回答		0.0%	0.0%



問22 あなたにとっても、地震などの災害が発生したときに、避難所において必要と思われる支援は何ですか。(いくつでも)

身体(64歳以下)(N=236)	身体(65歳以上)(N=322)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1. 段差がない、使いやすいトイレなどの施設のバリアフリー	45.3%	45.3%	56.2%
2. 文字や音声など複数の情報伝達手段があること	26.3%	26.3%	27.0%
3. 手話などのコミュニケーション手段の確保	12.3%	12.3%	4.3%
4. 個室、間仕切り(パーティション)などでの対応が可能であること	47.0%	47.0%	46.3%
5. 相談窓口や介助スタッフがいること	35.6%	35.6%	36.6%
6. アレルギー対応食や介護食、離乳食などの確保	8.9%	8.9%	5.9%
7. 医療や医薬品の確保	53.4%	53.4%	51.9%
8. 配給などに並ぶことができない場合の支援	40.7%	40.7%	44.1%
9. 他の避難者の障害への理解	41.9%	41.9%	25.5%
10. その他(具体的に:)	3.4%	3.4%	3.7%
11. 特になし	6.8%	6.8%	6.5%
12. 分からない	5.1%	5.1%	5.9%
無回答	3.8%	3.8%	7.1%

福祉のまちづくり・地域社会に対する考え方について
おたずねします

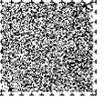
問23 現在、調布市の建築物や公共交通機関、情報案内、公園や道路などについて、障害のある人や妊婦、子ども連れ、高齢者、外国人等が利用しやすいように整備されていると思いますか。

(1)~(11)について、それぞれ1つに○をつけてください。

身体(64歳以下)(n=322) 身体(65歳以上)(N=322)

	整備されている	やや整備されている	整備されていない	整備がされていない	無回答
(1) 車いすの方やだれもが安全に通れる建物の出入口や通路(段差をなくす、幅を広げる)	11.0%	33.5%	36.9%	9.7%	8.1%
(2) 公共施設や病院等のスロープ、エレベーターやエスカレーター	5.9%	26.1%	28.9%	7.1%	29.8%
(3) 車いすの方や乳幼児を運れた方などだれもが使いやすいトイレ	23.3%	42.4%	22.9%	2.5%	8.1%
(4) 歩きやすいように、障害物(商品や看板、放置自転車、電柱等)が取り除かれ、段差や凹凸が少なく十分に幅のある歩道や道路	15.8%	37.9%	16.1%	3.7%	24.8%
(5) 点字ブロックや視覚障害者用の信号機	14.8%	40.7%	28.8%	6.8%	8.5%
(6) 車いすやベビーカーで兼降しやすい超低音床バスやリフトバス	7.5%	32.0%	21.1%	8.1%	30.1%
(7) 障害者用の駐車場	5.5%	19.1%	44.9%	23.3%	6.8%
(8) 大きな文字、絵、複数の言語を用いた誰もがわかりやすい案内表示	4.0%	20.8%	28.6%	19.9%	25.2%
(9) 手話のできる職員が配置されていたり、音声ガイドがある施設	8.1%	32.6%	37.7%	10.2%	9.7%
(10) 補助犬と同様での入室が配慮された店・レストランなど	7.5%	28.0%	21.7%	5.3%	34.8%
(11) (1)~(10)や公園、道路などを含むまち全体のユニバーサルデザイン*	11.9%	33.9%	33.1%	10.6%	8.9%
建物	6.5%	28.6%	19.9%	8.1%	35.7%
道路・交通機関等	8.1%	31.4%	35.2%	13.1%	8.9%
情報案内等	7.5%	23.9%	26.4%	7.1%	33.9%
建物	4.2%	19.5%	50.0%	12.7%	10.2%
道路・交通機関等	3.4%	20.8%	31.4%	10.9%	31.4%
情報案内等	2.5%	16.1%	45.8%	17.4%	14.0%
建物	1.9%	11.2%	32.3%	10.2%	40.1%
道路・交通機関等	3.4%	10.6%	47.0%	20.8%	14.8%
情報案内等	0.9%	8.1%	31.7%	15.8%	39.4%
建物	2.1%	19.1%	46.2%	20.8%	9.3%
道路・交通機関等	1.2%	18.6%	31.4%	11.5%	34.5%
情報案内等	1.2%	18.6%	31.4%	11.5%	34.5%

*ユニバーサルデザイン
道路・住宅・製品などを設計製造する場合に、障害のある人用という区分けをなくし、だれでもが使えるものを作るという考え方



問24 平成28年4月から、「障害者差別解消法(障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律)」が施行されました。あなたは、「障害者差別解消法」について、どのくらい知っていましたか。(1つに○)

身体(64歳以下)(N=236)	身体(65歳以上)(N=322)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1. 内容も含めて知っている		16.5%	5.9%
2. 法律名くらいは知っているが、内容は知らない		38.6%	37.9%
3. 全く知らない		40.3%	47.8%
無回答		4.7%	8.4%

※障害者差別解消法

この法律では、障害のある人に対して、正当な理由なく、障害のない人たちと違う扱いをすること(不当な差別的取扱い)を禁止しています。
また、障害のある人が困っている時、その人の障害にあった必要な工夫ややり方を伝えられた場合、負担が重すぎない範囲で対応すること(合理的配慮)が求められます。(役所は対応が義務づけられています)

問25 あなたは、障害を理由に差別を受けて嫌な思いをしたり、偏見を感じたりすることがありますか。(1つに○)

身体(64歳以下)(N=236)	身体(65歳以上)(N=322)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1. よくある		4.2%	1.2%
2. ときどきある		13.1%	3.7%
3. あまりない		40.3%	35.7%
4. 全くない		25.8%	38.2%
5. 分からない		10.2%	10.6%
無回答		6.4%	10.6%

問26 あなたが、役所、会社、お店などで困っている時にしてほしい支援や配慮(合理的配慮)、またはこれまでに心に残っている支援や配慮があればお書きください。

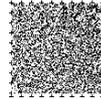
問27 「すべての人々が年齢や障害の有無によって分け隔てられることなく、互いの人格と個性を尊重しながら共生する社会(共生社会)を目指す」という考えについて、調布市では市民に理解され、浸透していると思いますか。(1つに○)

身体(64歳以下)(N=236)	身体(65歳以上)(N=322)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1. 理解され、浸透している		2.1%	5.3%
2. どちらかといえば、理解され、浸透している		26.3%	30.4%
3. どちらかといえば、理解されておらず、浸透していない		30.5%	17.1%
4. 理解されておらず、浸透していない		8.9%	6.2%
5. 分からない		26.3%	32.3%
無回答		5.9%	8.7%

調布市の障害者福祉サービスについておたずねします

問28 あなたは、調布市の障害者福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。(いくつでも○)

身体(64歳以下)(N=236)	身体(65歳以上)(N=322)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1. 市役所の窓口		33.5%	30.4%
2. 病院の職員・掲示板		8.9%	12.7%
3. 作業所、施設等の職員・掲示板		6.8%	1.9%
4. 相談機関(ちよふだぞう、ドルチェ、希望ヶ丘、このころの健康支援センター)の窓口		5.5%	3.1%
5. 社会福祉協議会の窓口		5.5%	6.8%
6. 学校		0.4%	0.3%
7. 友人から聞く		5.5%	7.5%
8. 市報ちよふ		40.3%	50.6%
9. 市のホームページ		18.6%	4.7%
10. 市の刊行物(暮らしの便利帳、障害者のしおりなど)		17.8%	20.8%
11. 障害当事者団体の会合・会報など		5.5%	4.0%
12. その他(具体的に:)		3.8%	3.4%
13. 特になし・情報は入手していない		21.6%	15.2%
無回答		3.8%	6.2%



問29 あなたは、調布市が配布しているヘルプカード※を持っていますか。(1つに○)

身体(64歳以下)(N=236)	身体(65歳以上)
1. 持っている、いつも持ち歩いている	11.9%
2. 持っているが、持ち歩いていない	31.4%
3. 持っていないが、ほしいと思う	19.5%
4. 持っていないし、必要ない	33.1%
無回答	4.2%
	9.3%

※「ヘルプカード」

ヘルプカードは、障害のある方が緊急連絡先、医療情報、手伝ってほしい内容などを記載し、普段から身に付けておくことで、緊急時や災害時、日常の困ったときに、周囲の配慮や手助けをお願いしやすくなるものです。

障害福祉課の窓口で配布しています。

これとは別に、障害のある方に限らず、外県から分りなくとも援助や配慮を必要としている方々のために東京都が作成した「ヘルプマーク」もあります。

あなたの支援が必要です。

ヘルプカード

調布市

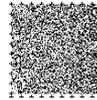
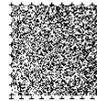


ヘルプマーク

問30 あなたは、次の調布市の相談窓口を知っていますか。

(1)～(6)について、それぞれ1つに○をつけてください。

身体(64歳以下)(N=236)	身体(65歳以上)(N=322)	知っている	知らない	無回答
身体(64歳以下)(N=236) 身体(65歳以上)(N=322)				
(1) ドルヂェ (小島町2-47-1) 電話:042-490-6675 FAX:042-444-6606 主に身体障害、高次脳機能障害のある方の相談窓口です。調布市総合福祉センター内に設置されています。				
(2) ちよふだそう (布田2-29-1) 電話:042-487-4655 FAX:042-487-7899 主に知的障害のある方の相談窓口です。移動支援事業や就労支援も行っています。				
(3) 希望ヶ丘 (菊野台1-24-41) 電話:042-443-9232 FAX:042-481-0766 主に精神障害のある方の相談窓口です。夕食やオートマパスの提供なども行っています。				
(4) こころの健康支援センター (布田5-46-1) 電話:042-490-8166 FAX:042-490-8167 主に精神障害、発達障害のある方の相談窓口です。デイ事業や就労支援も行っています。				
(5) 難病相談窓口 (市役所2階 障害福祉課) 電話:042-481-7089 FAX:042-481-4288 専門の相談員が難病にかかったことでの不安や悩み事全般に対する相談を受け、情報を提供する窓口です。毎週木曜日に開設しています(予約制)。				
(6) 障害者虐待防止センター (市役所2階 障害福祉課) 電話:042-481-7094 FAX:042-481-4288 障害者の虐待に関する相談・通報を受ける窓口です。相談や通報を受けた場合の事実確認や一時保護、障害者や養護者の支援、虐待防止への取組などを行っています。				



問31 次にあげる障害者福祉に関する取組のうち、あなたが今後調布市で特に充実させてほしいものはどれですか。(5つまで)

身体(64歳以下)(N=236)	身体(65歳以上)(N=322)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1. ホームヘルプなど在宅生活を支援するサービス	27.6%	18.2%	27.6%
2. 通所施設(作業所)など日中の活動場所の整備	2.8%	7.6%	2.8%
3. 企業などで働くための支援(就労支援)	4.0%	24.6%	4.0%
4. 仕事以外の趣味や余暇活動・スポーツ活動などの支援や場所の整備	13.0%	16.1%	13.0%
5. ガイドヘルパー、コミュニケーション支援など社会参加の支援	3.4%	7.2%	3.4%
6. グループホームなど地域における住まいの場の整備	8.7%	10.6%	8.7%
7. 介護者の病気など、緊急時における一時預かり、シヨートステイ	26.7%	16.9%	26.7%
8. 福祉サービスの利用や手続きを支援するサービス	20.8%	25.4%	20.8%
9. 困ったことを気軽に相談できる窓口	35.1%	29.7%	35.1%
10. 訪問診療、訪問看護などの地域での医療サービス	23.9%	16.1%	23.9%
11. 障害に合わせた多様な情報提供の充実	14.0%	27.5%	14.0%
12. 公共施設や道路、交通機関などのバリアフリー	22.4%	33.9%	22.4%
13. 災害時の支援体制の整備	29.5%	34.3%	29.5%
14. 障害のある当事者、家族同士の情報交換、交流の機会	2.2%	8.5%	2.2%
15. 障害理解の促進や差別の解消	4.0%	14.4%	4.0%
16. ボランティア活動などの地域活動の促進	6.5%	6.8%	6.5%
17. 福祉サービスに関わる専門的な人材の育成	12.1%	16.5%	12.1%
18. 手当や医療費の助成などの経済的な支援	30.1%	31.8%	30.1%
19. その他(具体的に:)	5.0%	2.1%	5.0%
無回答	17.1%	8.1%	17.1%

問32 調布市の障害者福祉サービスについて、あなたはそのどのように感じますか。(1つに〇)

身体(64歳以下)(N=236)	身体(65歳以上)(N=322)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1. とても充実している	4.0%	2.1%	4.0%
2. 充実している	46.9%	50.8%	46.9%
3. あまり充実していない	24.2%	30.9%	24.2%
4. 充実していない	3.7%	4.2%	3.7%
無回答	21.1%	11.9%	21.1%

問33 調布市の医療をよりよくするために、あなたは何が必要だと思いますか。(いくつでも〇)

身体(64歳以下)(N=236)	身体(65歳以上)(N=322)	身体(64歳以下)	身体(65歳以上)
1. 地域の中で完結できる医療体制	39.4%	39.8%	39.4%
2. 在宅医療の普及	34.8%	28.8%	34.8%
3. 救急医療の充実	37.0%	37.7%	37.0%
4. かかりつけ医の普及	29.5%	32.2%	29.5%
5. 専門医療の充実(具体的に:)	7.1%	14.0%	7.1%
6. 医療情報の提供(具体的に:)	4.7%	11.4%	4.7%
7. 医療に関する市民教育(具体的に:)	0.9%	3.8%	0.9%
8. 健康に関する自己管理能力(自律性)の向上	22.0%	24.2%	22.0%
9. その他(具体的に:)	2.8%	3.4%	2.8%
10. 特になし	9.9%	12.7%	9.9%
無回答	12.4%	3.8%	12.4%

問34 ご意見・ご要望がありましたら、なんでもご自由にご記入ください。

皆さんの質問にお答えいただき、誠にありがとうございました

ご案内: 住民懇談会のお知らせ

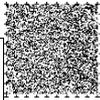
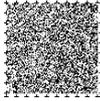
平成28年11月14日(夜間) 会場: 総合福祉センターほか

平成28年12月10日、11日(昼間) 会場: 総合福祉センターほか

調布のこれからの地域福祉について、お話しませんか。

詳しくは、下記HPをご覧ください。

<http://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1472715178107/index.html>



ちようふし ちようふし ちようふし
調布市民福祉ニーズ調査
 しょうがい ちいせいかつ ちようさ
障害のある方の地域生活に関する調査

しょうがいしんせいのあつちようさ
調布市の障害者福祉を進めるうえでの大切なアンケートです。
あなたのご意見がこれからの調布の福祉施策に生かされます。

ちようさ
調査についてのお願

しみん みな ひ しせいはつてん りかり
 市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申しあげます。

ちようさ こんご しょうがいしんせいのあつちようさ
 この調査は、今後の障害者福祉施策等のあり方を検討し、「調布市障害者総合計画」を改定するため、皆様のご意見やご要望を広くお聴きし、より身近な福祉施策を推進するために実施するものです。

かいどう しょうり ちようさ
 ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

あいはい なが がつ ちようさ
 平成28年10月 調布市長 長友貴樹

りめん きにゆう ねが
裏面の「記入についてのお願」をよくお読みのうえ、ご記入をお願いします。

ちようさ しょうり しょうり しょうり
 調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。
 ご記入が終わりましたら、調査票を同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

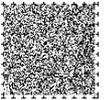
10月24日（月）までに郵便ポストに投函してください。

ちようさ しょうり しょうり しょうり
 調査についてご質問などがありましたら、下記までお問い合わせください。また、お一人で回答が難しい場合は、ご相談ください。

ちようさ しょうり しょうり しょうり
 平成28年9月1日現在、調布市にお住まいの身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方や難病のある方で、18歳以上の方の中から、1,800人を無作為に抽出しました。



しょうり しょうり
質問や相談はこちらまでどうぞ↓
 調布市 福祉健康部 障害福祉課
 電話：042-481-7094



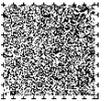
きにゆう ねが
記入についてのお願

1. 封筒のあて名ご本人について、ご記入をお願いいたします。調査票の設問中の「あなた」とは、封筒のあて名の方を指します。なお、ご本人が回答困難な場合、入院中などの場合は、ご家族や周りの方がお手伝いいただくか、あて名のご本人の意見を聞いたうえで代わりにご記入ください。
2. 濃い鉛筆又は黒のボールペンで記入してください。
3. お答えをいただく際は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。
4. [] の場合は回答内容等を記入してください。
5. 「その他」に○印をつけられた方は、[] 内に具体的な答えを記入してください。

ちようさ しょうり しょうり しょうり
 この調査の結果は、市の障害者福祉に関する計画や施策に反映されます。

ちようさ しょうり しょうり
過去の調査から施策の充実につながった例

- 相談支援や就労支援のニーズが大きくなり、相談支援事業所や就労支援センターの支援体制の充実につながった。
- グループホームでの生活を希望している障害者が多くなり、市におけるグループホーム整備支援の拡大につながった。
- 就学以降の障害児の居場所づくりのニーズが明らかになり、放課後等デイサービス事業所の拡大につながった。
- 災害時支援の必要性が確認され、災害時要援護者の支援体制整備につながった。



あなた(あて名のご本人)のことをおたずねします

※平成28年10月1日現在の状況をもとに回答してください。

問1 この調査に回答していただく方はどなたですか。(1つに○)

知的(N=179) 精神(N=149) 難病(N=200)

	知的	精神	難病	知的	精神	難病	
1. 本人(代筆可)	40.8%	93.3%	88.5%	3. その他	1.1%	0.0%	0.5%
2. 家族	55.3%	4.7%	9.5%	無回答	2.8%	2.0%	1.5%

問2 あなたの性別をお答えください。(1つに○)
また、平成28年10月1日現在の年齢をご記入ください。

知的(N=179) 精神(N=149) 難病(N=200) 知的(n=169) 精神(n=142) 難病(n=191)

	知的	精神	難病	知的	精神	難病
1. 男性	64.2%	51.0%	37.0%	満()歳		
2. 女性	34.1%	46.3%	62.0%	平均35.4歳	平均45.9歳	平均62.3歳
無回答	1.7%	2.7%	1.0%	※数字を記入		

問3 現在、あなたがいつよに暮らしているご家族は、どなたですか。(いくつでも○)

知的(N=179) 精神(N=149) 難病(N=200)

	知的	精神	難病	知的	精神	難病
1. ひとり暮らし(グループホーム等で暮らしている場合を含む)	10.6%	37.6%	20.5%			
2. 配偶者(夫または妻)	0.0%	18.8%	62.0%			
3. 父親	59.8%	25.5%	4.0%			
4. 母親	79.9%	33.6%	6.0%			
5. 子ども(子どもの配偶者を含む)	0.6%	10.7%	31.5%			
6. 孫(孫の配偶者を含む)	0.0%	0.7%	3.5%			
7. 兄弟姉妹	30.7%	13.4%	3.0%			
8. 祖父母	5.0%	1.3%	0.0%			
9. その他(具体的に:)	4.5%	3.4%	3.0%			
無回答	1.1%	1.3%	1.0%			

問4 お住まいの地域はどこですか。
お住まいの市区町村を(町名)〔丁目〕を記入してください。

町名(例:小島町)〔 〕 () 丁目

知的(N=179) 精神(N=149) 難病(N=200)

	知的	精神	難病	知的	精神	難病
1. 第一小学校区	7.3%	4.7%	4.5%	12. 染地小学校区	6.7%	6.5%
2. 第二小学校区	3.9%	2.0%	3.0%	13. 北ノ台小学校区	3.4%	6.0%
3. 第三小学校区	7.8%	6.7%	7.0%	14. 多摩川小学校区	1.1%	4.5%
4. 八雲台小学校区	4.5%	5.4%	4.5%	15. 杉森小学校区	6.7%	2.0%
5. 富士見台小学校区	3.4%	6.0%	4.0%	16. 飛田給小学校区	3.9%	3.0%
6. 滝坂小学校区	6.1%	9.4%	4.5%	17. 柏野小学校区	2.2%	2.5%
7. 深大寺小学校区	5.6%	4.0%	3.0%	18. 国領小学校区	7.3%	9.5%
8. 上ノ原小学校区	7.8%	4.0%	7.5%	19. 布田小学校区	1.1%	2.5%
9. 石原小学校区	4.5%	1.3%	4.0%	20. 調和小学区	1.7%	10.5%
10. 若葉小学校区	5.6%	8.1%	5.0%	無回答	6.1%	6.7%
11. 緑ヶ丘小学校区	3.4%	3.4%	2.0%			4.0%

問4-1 お住まいの近くに、避難所などになっている公立小学校はどれですか。(1つに○)

知的(N=179) 精神(N=149) 難病(N=200)

	知的	精神	難病	知的	精神	難病
1. 第一小学校	5.6%	4.0%	2.5%	12. 染地小学校	3.4%	4.0%
2. 第二小学校	3.4%	3.4%	2.5%	13. 北ノ台小学校	2.8%	6.0%
3. 第三小学校	5.6%	3.4%	6.5%	14. 多摩川小学校	2.2%	3.5%
4. 八雲台小学校	6.1%	3.4%	5.0%	15. 杉森小学校	8.9%	4.0%
5. 富士見台小学校	3.9%	2.0%	4.5%	16. 飛田給小学校	1.7%	3.0%
6. 滝坂小学校	2.8%	6.0%	0.5%	17. 柏野小学校	3.4%	4.0%
7. 深大寺小学校	3.9%	2.0%	2.5%	18. 国領小学校	6.7%	4.0%
8. 上ノ原小学校	8.4%	6.7%	8.5%	19. 布田小学校	1.7%	3.0%
9. 石原小学校	5.6%	0.7%	4.0%	20. 調和小学区	1.7%	8.5%
10. 若葉小学校	6.7%	8.7%	4.5%	21. 分からない	5.6%	9.0%
11. 緑ヶ丘小学校	3.4%	2.0%	2.0%	無回答	6.7%	4.5%

す きまじゅういこう
お住まいや居住意向についておたずねします

問5 あなたのお住まいは、次のどれですか。(1つに○)

知的(N=179)	精神(N=149)	難病(N=200)	知的	精神	難病
1. 持ち家の一戸建て			38.5%	24.8%	39.0%
2. 持ち家の集合住宅 (アパート・マンションなど)			16.8%	13.4%	23.0%
3. 民間賃貸の一戸建て			1.1%	0.7%	2.0%
4. 民間賃貸の集合住宅 (アパート・マンションなど)			15.1%	43.0%	19.0%
5. 公営住宅 (市営・都営住宅など)			16.2%	10.1%	12.5%
6. 社宅・公務員住宅など			0.6%	0.0%	0.5%
7. グループホーム			3.9%	1.3%	0.5%
8. その他 (具体的に:)			3.9%	4.7%	1.5%
無回答			3.9%	2.0%	2.0%

問6 あなたは、今後も調布市に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

知的(N=179)	精神(N=149)	難病(N=200)	知的	精神	難病
1. 今後も住み続けたいと思う			73.7%	65.1%	68.0%
2. できるだけ住み続けたいと思う			18.4%	24.8%	24.0%
3. あまり住み続けたいと思わない			1.7%	4.7%	4.0%
4. 住み続けたいと思わない			0.6%	2.7%	0.5%
無回答			5.6%	2.7%	3.5%

問 6-1 問6で答えた理由を下の欄にご記入ください。

問7 あなたは今後、どのような住まいで生活したいと思いますか。(1つに○)

知的(N=179)	精神(N=149)	難病(N=200)	知的	精神	難病
1. 親や兄弟などの家族と一緒に一戸建て、アパート、マンション			37.4%	24.2%	20.5%
2. 一人暮らし、または自分の配偶者と一緒に一戸建て、アパート、マンション			14.5%	49.0%	52.0%
3. グループホーム			19.0%	34%	1.0%
4. 入所施設			7.8%	2.0%	4.0%
5. その他 (具体的に:)			3.4%	6.0%	3.5%
6. 分からない			11.7%	12.1%	14.5%
無回答			6.1%	3.4%	4.5%

しょうがい じょうきょう にちじょうせいかつ
障害の状況や日常生活についておたずねします

問8 あなたがご持ちの手帳または受けている診断名などについて、あてはまるものすべてに○をしてください。また、手帳の等級と診断名をご記入ください。

知的(N=179) 精神(N=149) 難病(N=200)

手帳の種類	または 診断名など	手帳の等級	知的	精神	難病
1. 身体障害者手帳	または 診断名 () 級	() 級	18.4%	8.7%	26.0%
2. 愛の手帳	持っている	() 度	93.9%	3.4%	0.5%
3. 精神障害者保健福祉手帳	持っている	() 級	0.0%	88.6%	1.0%
4. 発達障害の診断を受けている			7.8%	6.0%	0.0%
5. 高次脳機能障害の診断を受けている			0.0%	2.0%	1.0%
6. 難病の診断を受けている			0.6%	0.7%	80.0%
7. 認知症疾患の診断を受けている			0.0%	0.7%	2.0%
8. 日常的に医療的ケア (医師や看護士の処置) *が必要である			2.2%	0.7%	3.0%
無回答			3.9%	3.4%	7.5%

*たんの吸引、経管栄養 (胃ろうなど)、導尿、人工呼吸器、酸素療法など、医師や看護師の管理・処置が必要な生活援助行為

身体障害者手帳 知的 (n=33) 精神 (n=13) 難病 (n=52)

知的	精神	難病	知的	精神	難病		
1級	39.4%	0.0%	23.1%	5級	6.1%	7.7%	3.8%
2級	27.3%	53.8%	19.2%	6級	3.0%	7.7%	1.9%
3級	12.1%	15.4%	28.8%	無回答	3.0%	7.7%	5.8%
4級	9.1%	7.7%	17.3%				

愛の手帳 知的 (n=168) 精神 (n=5) 難病 (n=1)

知的	精神	難病	知的	精神	難病		
1度	6.5%	0.0%	0.0%	4度	46.4%	40.0%	0.0%
2度	25.6%	40.0%	100.0%	無回答	3.0%	20.0%	0.0%
3度	18.5%	0.0%	0.0%				

精神障害者保健福祉手帳 知的 (n=0) 精神 (n=132) 難病 (n=2)

知的	精神	難病	知的	精神	難病		
1級	0.0%	3.8%	0.0%	3級	0.0%	34.1%	0.0%
2級	0.0%	55.3%	100.0%	無回答	0.0%	6.8%	0.0%

問 8-1 <



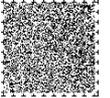
問 8-1 問8で「1. 身体障害者手帳を持っている」と答えた方におたずねします。
障害の部位はどれですか。(いくつでも)

また、○をしたものうち、主な障害を1つだけ選り◎をしてください。

知的(n=33) 精神(n=13) 難病(n=52)	障害の部位				主な障害	
	知的	精神	難病	知的	精神	難病
1. 視覚	6.1%	15.4%	15.4%	0.0%	7.7%	13.5%
2. 聴覚	12.1%	15.4%	3.8%	9.1%	0.0%	1.9%
3. 平衡機能	9.1%	7.7%	1.9%	6.1%	0.0%	0.0%
4. 音声・言語・そしゃく	18.2%	23.1%	1.9%	0.0%	15.4%	0.0%
5. 肢体不自由	57.6%	30.8%	48.1%	45.5%	23.1%	48.1%
6. 内部(心臓、じん臓、肝臓、呼吸器機能、ぼうこう・直腸、小腸臓)	12.1%	7.7%	23.1%	6.1%	7.7%	19.2%
7. その他(具体的に：)	27.3%	30.8%	9.6%	12.1%	23.1%	5.8%
無回答	6.1%	15.4%	5.8%	2.12%	23.1%	11.5%

問9 あなたは、ご自分の健康や医療などについて困っていることや不安なことはありませんか。(いくつでも)

知的(N=179) 精神(N=149) 難病(N=200)	知的	精神	難病
1. 障害の重度化や病気の進行	17.3%	26.2%	48.0%
2. 服薬の管理	17.9%	12.8%	7.5%
3. 生活習慣病などの予防	21.2%	21.5%	12.0%
4. 健康診断を受けられない	5.0%	4.7%	1.5%
5. 相談する場所がない	4.5%	10.1%	0.5%
6. 地域に受診できる医療機関がない	7.8%	4.0%	3.0%
7. 通院がたいへん	17.9%	20.8%	24.0%
8. 医師とのコミュニケーション	16.8%	12.8%	6.5%
9. その他(具体的に：)	12.3%	16.1%	11.0%
10. 特になし	33.0%	26.8%	23.0%
無回答	10.6%	4.7%	9.5%



問10 あなたは現在、家族、ヘルパーなどによる支援を受けていますか。(1)～(8)について、それぞれ1つに○をつけてください。

(1)～(8)について、それぞれ1つに○をつけてください。

知的(N=179) 精神(N=149) 難病(N=200)	主に家族の支援を受けている	主に家族以外(ヘルパー、相談機関などの)支援を受けている	支援がほしいが、受けていない	無回答
(1) 食事・着替え・入浴・排泄など	39.1%	38.5%	1.7%	14.0%
(2) 掃除、洗濯などの家事	70.5%	14.1%	2.0%	7.4%
(3) 外出、交通機関の利用など	67.5%	10.5%	2.0%	15.5%
(4) 補聴、洗濯などの家事	14.5%	63.1%	1.1%	14.5%
(5) 補聴、洗濯などの家事	52.3%	30.9%	4.0%	4.7%
(6) 補聴、洗濯などの家事	58.5%	18.0%	3.5%	14.0%
(7) 補聴、洗濯などの家事	34.6%	40.2%	2.2%	15.6%
(8) 補聴、洗濯などの家事	67.1%	17.4%	1.3%	8.7%
(9) 補聴、洗濯などの家事	57.5%	21.0%	3.0%	15.0%
(10) 補聴、洗濯などの家事	21.8%	59.2%	1.7%	12.3%
(11) 補聴、洗濯などの家事	69.1%	18.1%	2.0%	7.4%
(12) 補聴、洗濯などの家事	58.0%	22.0%	2.5%	14.5%
(13) 補聴、洗濯などの家事	19.0%	48.6%	3.4%	19.6%
(14) 補聴、洗濯などの家事	38.3%	14.8%	12.8%	8.7%
(15) 補聴、洗濯などの家事	63.5%	13.0%	3.0%	17.0%
(16) 補聴、洗濯などの家事	27.9%	50.3%	1.7%	16.2%
(17) 補聴、洗濯などの家事	65.8%	14.8%	2.7%	8.1%
(18) 補聴、洗濯などの家事	72.0%	8.5%	2.0%	14.0%
(19) 補聴、洗濯などの家事	13.4%	68.7%	5.0%	11.2%
(20) 補聴、洗濯などの家事	60.4%	23.5%	4.0%	6.7%
(21) 補聴、洗濯などの家事	72.0%	12.0%	1.5%	14.5%
(22) 補聴、洗濯などの家事	8.9%	77.1%	1.1%	10.6%
(23) 補聴、洗濯などの家事	57.7%	26.2%	4.0%	6.0%
(24) 補聴、洗濯などの家事	61.5%	21.5%	2.5%	14.5%

問 10-1 問10で「支援がほしいが、受けていない」と答えた方におたずねします。支援を受けていない理由はどのようなことですか。(いくつでも)

知的(n=11) 精神(n=32) 難病(n=13)	知的	精神	難病
1. 支援してくれる人が身近にいない	45.5%	37.5%	23.1%
2. 適切なサービスがあれば利用したいが、見つからない	36.4%	53.1%	38.5%
3. 周囲が必要ないと考えている	27.3%	15.6%	23.1%
4. その他(具体的に：)	18.2%	15.6%	38.5%
無回答	0.0%	12.5%	7.7%

問11 あなたを主に介護や支援をしているご家族はどなたですか。あて名のご本人からみ
た続柄で回答してください。(1つにO)

また、Oをつけた方の性別にもOをつけて、年齢をご記入ください。

知的(N=179) 精神(N=149) 難病(N=200)	知的	精神	難病
1. 配偶者	0.0%	10.7%	38.5%
2. 親	76.0%	40.9%	4.5%
3. 子ども(子どもの配偶者を含む)	0.6%	1.3%	12.0%
4. 孫(孫の配偶者を含む)	0.0%	0.0%	0.0%
5. 兄弟姉妹	4.5%	4.7%	1.0%
6. 租父母	0.6%	0.7%	0.0%
7. その他の親族	0.6%	0.7%	0.5%
8. いない	8.4%	30.9%	28.0%
無回答	9.5%	10.1%	15.5%

問11-1 あなたを主に介護や支援をしているご家族は、介護にあたってどのような不安や困りごとがありますか。(いくつでもO)

知的(n=147) 精神(n=88) 難病(n=113)	知的	精神	難病
1. 障害や病気のことがよくわからない	3.4%	22.7%	6.2%
2. 適切な介護・支援の方法がわからない	4.8%	20.5%	3.5%
3. 自分の時間が持てない(余暇・外出・休養など)	25.9%	18.2%	16.8%
4. 仕事につけない	7.5%	17.0%	2.7%
5. 身体的な負担が大きい	23.8%	22.7%	13.3%
6. 精神的な負担が大きい	33.3%	44.3%	22.1%
7. 経済的な負担が大きい	12.2%	42.0%	15.0%
8. 他にも介護・支援が必要な家族がいる	19.0%	13.6%	3.5%
9. 相談できる場所がない	2.7%	14.8%	2.7%
10. 介護・支援をする家族自身の高齢化	54.4%	38.6%	24.8%
11. 介護・支援をする家族自身も病気や障害がある	15.6%	20.5%	13.3%
12. 何かあったときに本人の介護・支援を頼める人(場所)がない	35.4%	25.0%	13.3%
13. その他(具体的に:)	12.9%	5.7%	0.9%
14. 特になし	14.3%	13.6%	38.1%
無回答	5.4%	4.5%	7.1%

問12 あなたは、地域での暮らしの中で、不安や課題、心配に感じることがありますか。
身近に感じる不安や課題をお答えください。(いくつでもO)

知的(N=179) 精神(N=149) 難病(N=200)	知的	精神	難病
1. 子育て、子どもの教育のこと	1.1%	8.7%	7.5%
2. 健康のこと	34.6%	56.4%	46.5%
3. 自分以外の家族の介護のこと	11.7%	28.2%	21.0%
4. 将来・老後の生活のこと	60.9%	70.5%	47.0%
5. 住まいや住宅のこと	24.6%	42.3%	17.0%
6. 仕事のこと	20.7%	48.3%	15.0%
7. お金のこと	32.4%	60.4%	35.0%
8. 近所づきあい、友だちづきあいのこと	11.7%	33.6%	6.5%
9. 防犯、地域の安全のこと	12.3%	19.5%	12.5%
10. 災害時のこと	45.3%	32.9%	34.5%
11. 気軽に相談できる人(機関)が少ないこと	12.8%	24.8%	9.0%
12. 医療(治療・リハビリなど)に關すること	14.0%	17.4%	20.0%
13. 福祉サービスのこと	15.1%	15.4%	14.0%
14. 恋愛、性、結婚に關すること	7.8%	30.9%	3.5%
15. その他(具体的に:)	5.6%	4.7%	2.5%
16. 特になし	9.5%	6.7%	13.5%
無回答	6.7%	0.7%	4.0%

問13 あなたは、過去1年間の間に、お金がないという理由で次のような経験がありますか。(1)~(6)について、それぞれ1つにOをつけてください。

	知的(N=179) 精神(N=149) 難病(N=200)		知的(N=179) 精神(N=149) 難病(N=200)	
	あった	なかった	あった	なかった
(1) あなたや家族が必要とする食料が買えないことがあった (薄やたばこを除く) もの	知的 2.8% 精神 11.4% 難病 3.0%	79.9% 73.2% 86.0%	知的 2.8% 精神 11.4% 難病 3.0%	79.9% 73.2% 86.0%
(2) あなたや家族が必要とする衣服が買えないことがあった (高価な衣服や貴金属を除く)	知的 1.7% 精神 14.8% 難病 3.5%	81.0% 71.1% 84.5%	知的 1.7% 精神 14.8% 難病 3.5%	81.0% 71.1% 84.5%
(3) 電気料金、ガス料金、電話料等を払えないことがあった	知的 8.1% 精神 3.0% 難病 0.6%	80.5% 86.5% 82.2%	知的 8.1% 精神 3.0% 難病 0.6%	80.5% 86.5% 82.2%
(4) 家賃を払えないことがあった	知的 6.7% 精神 2.5% 難病 2.8%	82.6% 85.5% 78.2%	知的 6.7% 精神 2.5% 難病 2.8%	82.6% 85.5% 78.2%
(5) 借金を返せないことがあった	知的 11.4% 精神 3.5% 難病 0.6%	77.9% 83.5% 80.4%	知的 11.4% 精神 3.5% 難病 0.6%	77.9% 83.5% 80.4%
(6) 薪やけがをしたので薪場に行きたかったが、行けなかった	知的 10.1% 精神 2.5% 難病 0.6%	79.2% 86.5% 81.0%	知的 10.1% 精神 2.5% 難病 0.6%	79.2% 86.5% 81.0%

問14 あなたは、悩みや困ったことがある場合、主にどなたに相談しますか。(いくつでも○)

知的(N=179) 精神(N=149) 難病(N=200)	知的	精神	難病
1. 一緒に住んでいる家族・親族	74.9%	44.3%	65.5%
2. 離れて住んでいる家族・親族	11.2%	24.2%	39.0%
3. 学校の先生	2.2%	0.0%	0.5%
4. 友人・知人	14.5%	28.2%	26.0%
5. 相談支援機関(ちようふだぞう、ドルチエ、希望ヶ丘、 こころの健康支援センター)の職員	32.4%	30.9%	2.5%
6. サービス等利用計画の作成、モニタリングなどを 行う相談支援専門員	7.3%	10.1%	2.5%
7. 障害者施設(作業所など)の職員、ヘルパー	30.7%	20.1%	1.0%
8. 介護保険のケアマネジャー	1.1%	3.4%	12.0%
9. 市役所の職員	12.8%	17.4%	6.5%
10. 保健所の職員	0.0%	1.3%	1.5%
11. 民生委員・児童委員	1.1%	0.0%	0.5%
12. 医療機関(医師、看護師、ケースワーカー、訪問看護)の職員	13.4%	51.0%	15.5%
13. その他(具体的に：)	3.9%	8.7%	3.0%
14. 相談する人がいない	0.6%	8.1%	1.5%
15. 相談の必要はない	1.7%	0.7%	5.0%
無回答	5.0%	0.7%	2.0%

就労等についておたずねします

問15 あなたは、現在、給料や工賃を伴う仕事をしていますか。(1つに○)

知的(N=179) 精神(N=149) 難病(N=200)	知的	精神	難病
1. 正規の社員・職員として仕事をしている	7.3%	3.4%	17.5%
2. 非正規の社員・職員(嘱託、パート、アルバイト、 契約、派遣)として仕事をしている	22.9%	18.1%	18.0%
3. 自営業(家業手伝いを含む)で仕事をしている	1.1%	1.3%	4.0%
4. 障害者施設(作業所など)で仕事をしている ⇒ 問16へ	43.6%	19.5%	0.5%
5. 仕事をしていないが現在はしていない ⇒ 問15-4へ	7.8%	46.3%	42.5%
6. 今まで仕事をしたことがない ⇒ 問15-4へ	8.4%	7.4%	7.5%
無回答	8.9%	4.0%	10.0%

問15-1~3へ

問15-1 仕事をすることで不安がありますか。(いくつでも○)

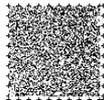
知的(N=56) 精神(N=34) 難病(N=79)	知的	精神	難病
1. 収入が少ない	25.0%	73.5%	31.6%
2. 仕事の内容があわない	1.8%	14.7%	3.8%
3. 仕事内容がきつい	10.7%	5.9%	19.0%
4. 人間関係がうまくいかない	10.7%	32.4%	3.8%
5. トイレなどの設備が十分でない	1.8%	0.0%	2.5%
6. 通勤がたいへん	5.4%	20.6%	12.7%
7. 雇用が不安定	7.1%	23.5%	10.1%
8. 相談できる人がいない	8.9%	8.8%	5.1%
9. その他(具体的に：)	5.4%	8.8%	8.9%
10. 特になし	42.9%	11.8%	34.2%
無回答	7.1%	0.0%	5.1%

問15-2 あなたは、勤務先に自分の障害、病気などについて伝えていきますか。(1つに○)

知的(N=56) 精神(N=34) 難病(N=79)	知的	精神	難病
1. 伝えている	82.1%	82.4%	74.7%
2. 伝えていない	12.5%	11.8%	20.3%
無回答	5.4%	5.9%	5.1%

問15-3 あなたは、障害者の就労を支援する「障害者就労支援センター」(ちようふだぞう)の健康支援センター(就労支援室ライズ)を知っていますか。(1つに○)

知的(N=56) 精神(N=34) 難病(N=79)	知的	精神	難病
1. 知っていて、支援を受けている	60.7%	41.2%	0.0%
2. 知っているが、支援を受けていない	21.4%	38.2%	27.8%
3. 知らない	10.7%	17.6%	68.4%
無回答	7.1%	2.9%	3.8%



問15 で5, 6と答えたい方におたねします。

問 15-4 仕事をしたい理由は次のどれですか。(いくつでも○)

	知的	精神	難病
知的(n=29) 精神(n=80) 難病(n=100)			
1. 就学のため	6.9%	1.3%	3.0%
2. 高齢のため	3.4%	12.5%	56.0%
3. 重い障害のため	34.5%	16.3%	11.0%
4. 病気のため(入院を含む)	6.9%	60.0%	32.0%
5. 希望する職種・条件の仕事が得られないため	10.3%	15.0%	2.0%
6. 通勤が難しいため	10.3%	13.8%	2.0%
7. 就労に向けて準備中(訓練中)のため	10.3%	10.0%	0.0%
8. 働く必要がないため	3.4%	6.3%	21.0%
9. 現在仕事を探しているため	13.8%	13.8%	5.0%
10. その他(具体的に:)	10.3%	8.8%	13.0%
無回答	3.4%	2.5%	4.0%

すべての方におたねします。

問16 仕事をするために、あなたが必要だと思うことは何ですか。(いくつでも○)

	知的	精神	難病
知的(N=179) 精神(N=149) 難病(N=200)			
1. 就労に結びつく技術や知識の習得	24.0%	47.0%	28.5%
2. 心身の健康状態の維持・向上	54.7%	77.9%	55.5%
3. 自分自身の意欲	44.7%	58.4%	41.5%
4. 障害特性にあった多様な仕事、就労形態の整備	34.1%	43.0%	15.0%
5. 受け入れ先の施設面での整備	18.4%	20.8%	9.0%
6. 上司や同僚の理解と協力	38.0%	56.4%	23.0%
7. 通勤手段の確保	20.1%	22.1%	16.5%
8. 就労活動に必要な情報提供	10.6%	36.9%	10.0%
9. 就労(継続)のためのカウンセリングや相談	17.9%	38.9%	7.0%
10. 障害者支援者(ジョブコーチ)※1など就労を支援する支援者の配置	14.0%	26.2%	5.0%
11. 試行雇用(トライアル雇用)※2の実施	7.8%	23.5%	4.0%
12. 障害者雇用の定員の拡大	12.3%	35.6%	7.5%
13. 給与や働き方・雇用形態などの働く環境の改善	25.7%	45.0%	25.5%
14. その他(具体的に:)	4.5%	12.8%	2.5%
15. 特になし	4.5%	5.4%	16.0%
無回答	14.5%	1.3%	11.0%

※1「職場適応援助者(ジョブコーチ)」

障害のある方が職場に早く慣れ定着できるように、一定期間会社に出勤するなどして、障害のある方、会社のどちらにも助言・指導を行う専門の支援者。

※2「試行雇用(トライアル雇用)」

会社が障害のある方を短期間(3か月)試しに雇用した場合、会社に対し奨励金が支給される。試行期間中に会社と障害のある方がお互いに適性を判断し、合意すれば常用雇用(社員)に移行する。

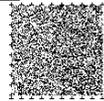
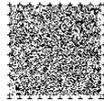
問17 あなたは、今後どのような仕事をしたいですか。現在働いている場合は、これらも同じ仕事を続けたい場合も含まれます。(1つに○)

	知的	精神	難病
知的(N=179) 精神(N=149) 難病(N=200)			
1. 正規の社員・職員として仕事をする	21.2%	32.9%	19.5%
2. 非正規の社員・職員(嘱託, パート, アルバイト, 契約, 派遣)として仕事をする	12.8%	16.8%	20.5%
3. 自営業(家業手伝いを含む)で仕事をする	0.6%	4.0%	6.0%
4. 障害者施設(作業所など)で仕事をする	44.7%	12.1%	1.5%
5. その他(具体的に:)	3.4%	12.8%	7.5%
6. 仕事をしたいと思わない	2.8%	14.1%	27.0%
無回答	14.5%	7.4%	18.0%

問18 仕事や普段通っている施設での活動以外に、あなたは普段の生活の中で以下のよな活動を行う、または活動に参加する機会がありますか。

(1)~(5)について、
それぞれ1つに○をつけてください。

	十分にある	あるが、十分ではない	はないが、ほしいと思う	必要を感じていない	無回答
知的(N=179) 精神(N=149) 難病(N=200)					
(1) 一人で、またはヘルパーを利用して好きなどころへ出かける	25.1%	21.8%	17.9%	19.0%	16.2%
(2) 家族と出かける(普段の通勤・通所・通院は除く)	32.2%	20.1%	11.4%	23.5%	12.8%
(3) 友人との交流	27.5%	10.0%	10.0%	35.0%	17.5%
知的	41.9%	26.3%	7.8%	11.2%	12.8%
精神	18.8%	24.2%	17.4%	24.2%	15.4%
難病	37.5%	18.5%	11.0%	17.0%	16.0%
知的	19.0%	22.9%	25.7%	15.6%	16.8%
精神	21.5%	32.2%	24.2%	10.7%	11.4%
難病	35.0%	24.5%	11.0%	15.5%	14.0%



知的(N=179) 精神(N=149) 難病(N=200)		無回答				
(4) スポーツ活動・運動など体を動かすこと	知的	15.6%	機会はあるが、十分ではない	必要を感じていない	16.2%	
	精神	13.4%				24.2%
(5) スポーツ・運動以外の趣味・サークルなどの活動	知的	20.0%	21.0%	22.0%	20.5%	16.5%
	精神	14.5%	20.7%	30.7%	20.7%	13.4%
	知的	14.1%	20.8%	32.9%	18.8%	13.4%
	難病	17.0%	14.5%	26.0%	26.5%	16.0%

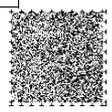
地域のつながりについておたずねします

問19 あなたは、白ごころのような近所づきあいをしていますか。(1つに○)

知的(N=179) 精神(N=149) 難病(N=200)	知的	精神	難病
1. 家を行き来するなど、親しく近所づきあいをしている	2.8%	2.7%	9.0%
2. 立ち話をするくらいづきあいをしている	6.7%	5.4%	24.0%
3. あいさつをするくらいづきあいをしている	56.4%	49.7%	47.0%
4. 近所づきあいをしていない	30.2%	38.3%	16.5%
無回答	3.9%	4.0%	3.5%

問19-1 「4. 近所づきあいをしていない」と答えた方におたずねします。近所づきあいをしない主な理由は何か。(いくつでも○)

知的(n=54) 精神(n=57) 難病(n=33)	知的	精神	難病
1. 仕事や学業、家事・育児などで忙しく時間がないから	13.0%	8.8%	24.2%
2. 引越してきて間もないから	5.6%	3.5%	9.1%
3. 普段づきあう機会がないから	35.2%	61.4%	75.8%
4. 同世代の人が近くにいないから	18.5%	15.8%	12.1%
5. 気の合う人・話の合う人が近くにいないから	16.7%	40.4%	15.2%
6. あまりかわりをもたないから	14.8%	52.6%	39.4%
7. その他〔具体的に：〕	40.7%	21.1%	15.2%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%



問20 次のような地域活動・ボランティア活動などについて、あなたがやっている活動はありますか。(いくつでも○)

知的(N=179) 精神(N=149) 難病(N=200)	知的	精神	難病
1. 子育て中の親を支援する活動	0.0%	0.0%	0.0%
2. 子ども会・PTA活動	0.0%	0.0%	4.0%
3. ひとり暮らし高齢者などの見守り支援活動	0.0%	0.7%	1.5%
4. 介護が必要な高齢者を支援する活動	0.6%	0.7%	1.5%
5. 障がいのある人や難病のある人を支援する活動	1.1%	2.0%	3.0%
6. 地域のおまつりや季節の行事などの活動	6.1%	3.4%	3.0%
7. スポーツやレクリエーションなどの活動	10.6%	5.4%	2.5%
8. 習い事・生涯学習などの活動	5.0%	3.4%	7.0%
9. 交通安全や犯罪防止などの活動	2.2%	0.0%	0.5%
10. 防災訓練などの活動	2.2%	1.3%	2.0%
11. 自治会・地区協議会・老人クラブなどの活動	2.2%	1.3%	6.5%
12. 環境保全・自然保護などの活動	0.6%	0.0%	0.5%
13. その他〔具体的に：〕	2.2%	6.7%	1.5%
14. どれちやっていない	65.4%	67.8%	68.5%
無回答	14.0%	10.7%	9.0%

災害時の対応についておたずねします

問21 あなたにとって、地震などの災害が発生したときに、災害発生から避難所に行くまでの間に必要と思われる支援は何ですか。(いくつでも○)

知的(N=179) 精神(N=149) 難病(N=200)	知的	精神	難病
1. 災害の詳しい情報や避難指示などを知らせてくれること	50.8%	63.1%	61.5%
2. 地域の人からの安否確認などの声かけ	40.2%	36.9%	26.0%
3. 避難所までの案内、誘導や移動の支援	63.7%	48.3%	46.0%
4. その他〔具体的に：〕	5.6%	7.4%	4.0%
5. 特にない	4.5%	11.4%	10.0%
6. 分からない	5.6%	11.4%	6.0%
無回答	6.7%	2.7%	5.0%

ふくし
福祉のまちづくり・地域社会に対する考え方について
おたずねします

問22 あなたにとって、地震などの災害が発生したときに、避難所において必要と思われる支援は何ですか。(いくつでも○)

知的(N=179) 精神(N=149) 難病(N=200)	知的	精神	難病
1. 段差がない、使いやすいトイレなどの施設のバリアフリー	26.3%	24.8%	43.5%
2. 文字や音声など複数の情報伝達手段があること	19.0%	23.5%	25.0%
3. 手話などのコミュニケーション手段の確保	4.5%	4.7%	2.5%
4. 個室、間仕切り(パーティション)などでの対応が可能であること	52.5%	54.4%	56.0%
5. 相談窓口や介助スタッフがいること	50.3%	47.0%	38.5%
6. アレルギー対応食や介護食、離乳食などの確保	7.8%	12.1%	9.5%
7. 医療や医薬品の確保	41.3%	67.1%	66.5%
8. 配給などに並ぶことができない場合の支援	48.0%	30.2%	40.5%
9. 他の避難者の障害への理解	50.3%	43.0%	24.5%
10. その他(具体的に:)	7.3%	6.7%	7.0%
11. 特になし	5.0%	2.0%	4.5%
12. 分からない	7.8%	8.7%	1.5%
無回答	3.9%	2.7%	4.0%

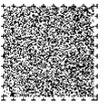
問23 現在、調布市の建築物や公共交通機関、情報案内、公園や道路などについて、障害のある人や妊婦、子どもづれ、高齢者、外国人等が利用しやすいように整備されていると思いませんか。

(1)~(11)について、それぞれ1つに○をつけてください。

知的(N=179) 精神(N=149) 難病(N=200)

知的	精神	難病	整備されている	整備されている	整備されていない	整備の必要を感じない	無回答	
知的	精神	難病	12.3%	36.2%	31.3%	3.9%	0.0%	17.3%
12.8%	37.6%	25.5%	12.8%	37.6%	25.5%	9.4%	2.7%	12.1%
3.0%	32.5%	38.0%	3.0%	32.5%	38.0%	11.0%	0.5%	15.0%
知的	精神	難病	22.9%	42.5%	14.0%	2.8%	0.6%	17.3%
24.8%	40.9%	16.1%	24.8%	40.9%	16.1%	6.0%	1.3%	10.7%
14.0%	48.0%	19.0%	14.0%	48.0%	19.0%	4.0%	1.5%	13.5%
知的	精神	難病	18.4%	35.8%	21.8%	4.5%	1.1%	18.4%
19.5%	34.2%	27.5%	19.5%	34.2%	27.5%	4.7%	1.3%	12.8%
難病	難病	難病	8.5%	41.5%	25.5%	7.0%	1.0%	16.5%
7.3%	22.9%	34.6%	7.3%	22.9%	34.6%	17.3%	1.1%	16.8%
7.4%	26.2%	38.3%	7.4%	26.2%	38.3%	16.8%	1.3%	10.1%
1.5%	20.5%	38.5%	1.5%	20.5%	38.5%	27.0%	0.0%	12.5%
知的	精神	難病	9.5%	35.2%	25.7%	6.7%	1.1%	21.8%
10.1%	34.9%	33.6%	10.1%	34.9%	33.6%	6.7%	1.3%	13.4%
難病	難病	難病	5.0%	31.0%	35.0%	10.5%	0.5%	18.0%
17.3%	36.3%	20.7%	17.3%	36.3%	20.7%	4.5%	0.6%	20.7%
11.4%	41.6%	22.1%	11.4%	41.6%	22.1%	9.4%	2.0%	13.4%
6.0%	40.0%	28.5%	6.0%	40.0%	28.5%	9.5%	1.0%	15.0%
知的	精神	難病	10.6%	32.4%	27.9%	6.7%	2.2%	20.1%
9.4%	33.6%	26.8%	9.4%	33.6%	26.8%	10.1%	2.7%	17.4%
難病	難病	難病	5.0%	34.0%	31.0%	7.0%	2.0%	21.0%
8.4%	22.9%	37.4%	8.4%	22.9%	37.4%	8.9%	0.0%	22.3%
9.4%	26.8%	35.3%	9.4%	26.8%	35.3%	10.1%	2.0%	13.4%
1.5%	23.0%	43.0%	1.5%	23.0%	43.0%	12.0%	2.0%	18.5%
知的	精神	難病	5.0%	18.4%	35.8%	11.7%	2.2%	26.8%
7.4%	16.8%	43.6%	7.4%	16.8%	43.6%	14.1%	2.7%	15.4%
難病	難病	難病	0.5%	16.0%	35.0%	20.5%	2.0%	26.0%
5.0%	10.6%	41.3%	5.0%	10.6%	41.3%	11.2%	3.9%	27.9%
4.7%	18.8%	38.3%	4.7%	18.8%	38.3%	20.1%	2.0%	16.1%
1.0%	12.0%	32.0%	1.0%	12.0%	32.0%	25.0%	2.5%	27.5%
8.4%	16.8%	35.5%	8.4%	16.8%	35.5%	13.4%	1.1%	24.6%
7.4%	24.2%	37.6%	7.4%	24.2%	37.6%	16.1%	2.7%	12.1%
1.5%	22.0%	38.5%	1.5%	22.0%	38.5%	17.5%	0.5%	20.0%

※ユニバーサルデザイン
道路・住宅・製品などを設計製造する場合に、障害のある人用という
区分けをなくし、だれでもか使えるものを作るという考え方



問24

平成28年4月から、「障害者差別解消法(障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律)」が施行されました。あなたは、「障害者差別解消法」について、どのくらい知っていますか。(1つに○)

知的(N=179)	精神(N=149)	難病(N=200)	知的	精神	難病
1. 内容も覚えて知っている	8.4%	8.1%	6.0%		
2. 法律名くらいは知っているが、内容は知らない	33.5%	37.6%	38.0%		
3. 全く知らない	49.7%	51.0%	50.0%		
無回答	8.4%	3.4%	6.0%		

※障害者差別解消法

この法律では、障害のある人に対して、正当な理由なく、障害のない人たちと違う扱いをすること(不当な差別的取扱い)を禁止しています。
また、障害のある人が困っている時、その人の障害にあった必要な工夫ややり方を伝えられた場合、負担が重すぎない範囲で対応すること(合理的配慮)が求められます。(役所は対応が義務づけられています)

問25

あなたは、障害を理由に差別を受けて嫌な思いをしたり、偏見を感じたりすることがありますか。(1つに○)

知的(N=179)	精神(N=149)	難病(N=200)	知的	精神	難病
1. よくある	3.9%	9.4%	0.0%		
2. とまどきある	19.0%	25.5%	5.5%		
3. あまりない	34.6%	30.9%	31.5%		
4. 全くない	10.6%	12.1%	38.0%		
5. 分からない	19.0%	16.1%	15.5%		
無回答	12.8%	6.0%	9.5%		

問26

あなたが、役所、会社、お店などで困っている時にしてほしい支援や配慮(合理的配慮)、またはこれまでに心に残っている支援や配慮があればお書きください。

問27

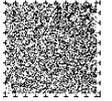
「すべての人々が年齢や障害の有無によって分け隔てられることなく、互いの人格と個性を尊重しあいながら共生する社会(共生社会)を目指す」という考え方について、調布市では市民に理解され、浸透していると思いますか。(1つに○)

知的(N=179)	精神(N=149)	難病(N=200)	知的	精神	難病
1. 理解され、浸透している	4.5%	6.0%	2.0%		
2. どちらかといえば、理解され、浸透している	22.9%	27.5%	15.5%		
3. どちらかといえば、理解されておらず、浸透していない	25.7%	24.2%	26.5%		
4. 理解されておらず、浸透していない	8.9%	16.8%	9.0%		
5. 分からない	28.5%	23.5%	39.5%		
無回答	9.5%	2.0%	7.5%		

調布市の障害者福祉サービスについておたずねします

あなたは、調布市の障害者福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。(いくつでも○)

知的(N=179)	精神(N=149)	難病(N=200)	知的	精神	難病
1. 市役所の窓口	29.1%	36.9%	32.5%		
2. 病院の職員・掲示板	2.2%	22.1%	16.5%		
3. 作業所、施設等の職員・掲示板	36.3%	17.4%	1.5%		
4. 相談機関(ちようふだぞう、ドルチェ、希望ヶ丘、このころの健康支援センター)の窓口	36.9%	26.8%	4.0%		
5. 社会福祉協議会の窓口	2.2%	2.0%	1.5%		
6. 学校	1.7%	0.0%	0.5%		
7. 友人から聞く	15.1%	5.4%	3.5%		
8. 市報ちようふ	38.0%	32.9%	45.0%		
9. 市のホームページ	6.1%	10.7%	17.0%		
10. 市の刊行物(暮らしの便利帳、障害者のしおりなど)	17.3%	10.1%	18.5%		
11. 障害当事者団体の会合・会報など	13.4%	1.3%	0.5%		
12. その他(具体的に:)	2.8%	8.1%	2.5%		
13. 特になし・情報は入手していない	8.4%	12.1%	17.0%		
無回答	6.7%	2.0%	6.0%		



問29 あなたは、調布市が配布しているヘルプカード※を持っていますか。(1つにO)

知的(N=179) 精神(N=149) 難病(N=200)	知的	精神	難病
1. 持っている、いつも持ち歩いている	19.0%	6.7%	5.5%
2. 持っているが、持ち歩いていない	38.0%	10.7%	9.0%
3. 持っていないが、ほしいと思う	15.6%	30.2%	23.0%
4. 持っていないし、必要ない	16.2%	49.7%	54.0%
無回答	11.2%	2.7%	8.5%

※「ヘルプカード」

ヘルプカードは、障害のある方が緊急連絡先、医療情報、手伝ってほしい内容などを記載し、普段から身に付けておくことで、緊急時や災害時、日常の困ったときに、周囲の配慮や手助けをお願いしやすくなるものです。

障害福祉課の窓口で配布しています。

これとは別に、障害のある方に限らず、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々のために東京都が作成した「ヘルプマーク」もあります。



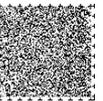
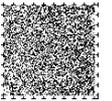
ヘルプマーク

問30 あなたは、次の調布市の相談窓口を知っていますか。(1)～(6)について、それぞれ1つにOをつけてください。

知的(N=179) 精神(N=149) 難病(N=200)	知的	精神	難病
(1) ドルチェ (小島町2-47-1) 電話:042-490-6675 FAX:042-444-6606 主に身体障害、高次脳機能障害のある方の相談窓口です。 調布市総合福祉センター内に設置されています。	21.8%	53.6%	24.6%
(2) ちようふだそう (布田2-29-1) 電話:042-487-4655 FAX:042-487-7899 主に知的障害のある方の相談窓口です。 移動支援事業や就労支援も行っていきます。	16.1%	72.5%	11.4%
(3) 希望ヶ丘 (菊野台1-24-41) 電話:042-443-9232 FAX:042-481-0766 主に精神障害のある方の相談窓口です。 夕食やオーブンスペースの提供なども行っています。	12.0%	75.5%	12.5%
(4) こころの健康支援センター (布田5-46-1) 電話:042-490-8166 FAX:042-490-8167 主に精神障害、発達障害のある方の相談窓口です。 デイ事業や就労支援も行っていきます。	83.8%	6.7%	9.5%
(5) 難病相談窓口 (市役所2階 障害福祉課) 電話:042-481-7089 FAX:042-481-4288 専門の相談員が難病にかかったことでの不安や悩み事全般に対する相談を受け、情報を提供する窓口です。 毎週木曜日に開設しています(予約制)。	26.8%	61.7%	11.4%
(6) 障害者虐待防止センター (市役所2階 障害福祉課) 電話:042-481-7094 FAX:042-481-4288 障害者の虐待に関する相談・通報を受けられる窓口です。 相談や通報を受けた場合の事実確認や一時保護、障害者や養護者の支援、虐待防止への取組などを行っていきます。	14.5%	71.0%	14.5%
	3.9%	72.1%	24.0%
	32.2%	57.0%	10.7%
	1.5%	83.5%	15.0%

知的(N=179) 精神(N=149) 難病(N=200)

知的(N=179) 精神(N=149) 難病(N=200)	知的	精神	難病
(4) こころの健康支援センター (布田5-46-1) 電話:042-490-8166 FAX:042-490-8167 主に精神障害、発達障害のある方の相談窓口です。 デイ事業や就労支援も行っていきます。	20.1%	56.4%	23.5%
(5) 難病相談窓口 (市役所2階 障害福祉課) 電話:042-481-7089 FAX:042-481-4288 専門の相談員が難病にかかったことでの不安や悩み事全般に対する相談を受け、情報を提供する窓口です。 毎週木曜日に開設しています(予約制)。	52.3%	41.6%	6.0%
(6) 障害者虐待防止センター (市役所2階 障害福祉課) 電話:042-481-7094 FAX:042-481-4288 障害者の虐待に関する相談・通報を受けられる窓口です。 相談や通報を受けた場合の事実確認や一時保護、障害者や養護者の支援、虐待防止への取組などを行っていきます。	7.0%	78.0%	15.0%
	6.1%	70.4%	23.5%
	2.0%	85.2%	12.8%
	42.5%	46.0%	11.5%
	11.2%	65.4%	23.5%
	2.7%	85.2%	12.1%
	7.0%	78.0%	15.0%



問31

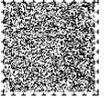
次にあげる障害者福祉に関する取組のうち、あなたが今後調布市で特に充実させたいものはどれですか。(5つまで)

知的(N=179) 精神(N=149) 難病(N=200)	知的	精神	難病
1. ホームヘルプなど在宅生活を支援するサービス	17.9%	21.5%	25.5%
2. 通所施設(作業所)など日中の活動場所の整備	24.6%	23.5%	4.5%
3. 企業などで働くための支援(就労支援)	19.0%	39.6%	15.0%
4. 仕事以外の趣味や余暇活動・スポーツ活動などの支援や場所の整備	30.7%	27.5%	12.5%
5. ガイドヘルパー、コミュニケーション支援など社会参加の支援	11.7%	10.1%	3.0%
6. グループホームなど地域における住まいの場の整備	40.8%	18.8%	7.0%
7. 介護者の病氣など、緊急時における一時預かり、シヨートステイ	33.5%	12.8%	23.0%
8. 福祉サービスの利用や手続きを支援するサービス	17.9%	23.5%	22.5%
9. 困ったことを気軽に相談できる窓口	33.0%	53.7%	34.0%
10. 訪問診療、訪問看護などの地域での医療サービス	4.5%	12.1%	18.0%
11. 障害に起因した多様な情報提供の充実	21.2%	32.2%	16.5%
12. 公共施設や道路、交通機関などのバリアフリー	9.5%	11.4%	25.5%
13. 災害時の支援体制の整備	29.6%	24.8%	34.0%
14. 障害のある当事者、家族同士の情報交換、交流の機会	8.9%	12.8%	5.0%
15. 障害理解の促進や差別の解消	20.1%	34.9%	6.0%
16. ボランティア活動などの地域活動の促進	5.6%	3.4%	6.0%
17. 福祉サービスに関わる専門的な人材の育成	17.9%	16.8%	11.0%
18. 手当や医療費の助成などの経済的な支援	26.3%	45.6%	42.0%
19. その他(具体的に:)	2.8%	5.4%	2.0%
無回答	9.5%	4.0%	12.5%

問32

調布市の障害者福祉サービスについて、あなたはどのように感じますか。(1つに)

知的(N=179) 精神(N=149) 難病(N=200)	知的	精神	難病
1. とても充実している	7.3%	7.4%	1.5%
2. 充実している	52.0%	53.0%	42.5%
3. あまり充実していない	23.5%	26.8%	28.0%
4. 充実していない	2.8%	5.4%	5.0%
無回答	14.5%	7.4%	23.0%



問33

調布市の医療をよりよくするために、あなたは何が重要だと思いますか。(いくつでも)

知的(N=179) 精神(N=149) 難病(N=200)	知的	精神	難病
1. 地域の中で完結できる医療体制	38.5%	42.3%	41.5%
2. 在宅医療の普及	17.9%	22.8%	30.5%
3. 救急医療の充実	32.4%	30.9%	41.0%
4. かかりつけ医の普及	33.5%	36.2%	30.0%
5. 専門医療の充実(具体的に:)	13.4%	16.8%	9.0%
6. 医療情報提供(具体的に:)	8.4%	18.1%	6.0%
7. 医療に関する市民教育(具体的に:)	2.8%	9.4%	2.5%
8. 健康に関する自己管理能力(自律性)の向上	16.2%	34.2%	22.0%
9. その他(具体的に:)	7.3%	10.7%	3.0%
10. 特になし	12.3%	10.1%	8.0%
無回答	10.6%	5.4%	11.0%

問34

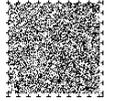
ご意見・ご要望がありましたら、なんでもご自由にご記入ください。

たくさんさんの質問にお答えいただき、誠にありがとうございました

ご案内:住民懇談会のお知らせ

平成28年11月14日(夜間) 会場:総合福祉センターほか
 平成28年12月10, 11日(昼間) 会場:総合福祉センターほか
 調布のこれからの地域福祉について、お話しませんか。
 詳しくは、下記HPをご覧ください。

<http://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1472715178107/index.html>



調布市民福祉ニーズ調査 障害のある方の地域生活に関する調査

調布市の障害者福祉を進めるうえでの大切なアンケートです。
あなたのご意見がこれからの調布の福祉施策に生かされます。

調査についてのお願ひ

市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

この調査は、今後の障害者福祉施策等のあり方を検討し、「調布市障害者総合計画」を改定するため、皆様のご意見やご要望を広くお聴きし、より身近な福祉施策を推進するために実施するものです。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

平成 28 年 10 月 調布市長 長 友 貴 樹

裏面の「記入についてのお願ひ」をよくお読みのうえ、ご記入をお願いします。

調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。

ご記入が終わりましたら、調査票を同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

10月24日(月)までに郵便ポストに投函してください。

調査についてご質問などがありましたら、下記までお問い合わせください。また、お一人で回答が難しい場合は、ご相談ください。

平成 28 年 9 月 1 日現在、調布市にお住まいの身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方や難病のある方で、18 歳未満（今年の 4 月 1 日以降に 18 歳になった方も含みます）の方の中から、200 人を無作為に抽出しました。

質問や相談はこちらまでどうぞ↓

調布市 福祉健康部 障害福祉課

電話：042-481-7094



記入についてのお願ひ

1. **保護者など、封筒のあて名（障害者手帳を持っている、または難病のあるお子さま）ご本人を主にサポートしている方に、ご記入をお願いいたします。**調査票の設問中の「お子さま」とは、封筒のあて名の方を指し、「あなた」とは、保護者などのお子さまを主にサポートしている方を指します。

2. 濃い鉛筆又は黒のボールペンで記入してください。

3. お答えをいただく際は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。

□ の場合は回答内容等を記入してください。

4. ○の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。

この調査の結果は、市の障害者福祉に関する計画や施策に反映されます。

過去の調査から施策の充実につながった例

- 相談支援や就労支援のニーズが大きいが明らかになり、相談支援事業所や就労支援センターの支援体制の充実につながった。
- グループホームでの生活を希望している障害者が多いことが明らかになり、市におけるグループホーム整備支援の拡大につながった。
- 就学以降の障害児の居場所づくりのニーズが明らかになり、放課後等デイサービス事業所の拡大につながった。
- 災害時支援の必要性が確認され、災害時要援護者の支援体制整備につながった。

お子さま(あて名のご本人)のことをおたずねします

※平成 28 年 10 月 1 日現在の状況をもとに回答してください。

問1 この調査に回答していただく方はどなたですか。(1つに〇)
(N=125)

1. 親 97.6% 2. 親以外の家族 0.8% 3. その他 1.6% 無回答 0.0%

問2 お子さまの性別をお答えください。(1つに〇)
また、平成 28 年 10 月 1 日現在の年齢をご記入ください。

(N=125)

1. 男性 64.0% 2. 女性 36.0% 満()歳 ※数字を記入
無回答 0.0% 平均 11.6 歳

問3 現在、お子さまがいつしよに暮らしているご家族は、お子さまからみて、どなたですか。
(いくつでも〇)

(N=125)

1. ひとり暮らし(グループホーム等で暮らしている場合を含む) 0.0%
2. 配偶者 0.0% 6. 孫(孫の配偶者を含む) 0.0%
3. 父親 83.2% 7. 兄弟姉妹 65.6%
4. 母親 94.4% 8. 祖父母 6.4%
5. 子ども(子どもの配偶者を含む) 0.8% 9. その他〔具体的に:] 0.8%
無回答 0.0%

問4 お子さまを主に介護や支援、養育をしている方はどなたですか。お子さまから見た続柄で回答してください(1つに〇)。また、〇をつけた方の性別にも〇をつけて、年齢をご記入ください。

(N=125)

1. 親 98.4% (平均 45.1 歳)
(n=123) 男性 11.4% 女性 82.1% 無回答 6.5%
2. 兄弟姉妹 0.0%
(n=0)
3. 祖父母 0.8% (平均 77.0 歳)
(n=1) 男性 0.0% 女性 100.0% 無回答 0.0%
4. その他の親族 0.0%
(n=0)
5. その他 0.8%
(n=1) 男性 0.0% 女性 0.0% 無回答 100.0%
無回答 0.0%

問5 お住まいの地域はどこですか。

記入例を参考に[町名]、[丁目]をご記入ください。

(N=125)

町名(例:小島町)〔	〕〔	〕丁目
第一小学校区	7.2%	染地小学校区
第二小学校区	2.4%	北ノ台小学校区
第三小学校区	5.6%	多摩川小学校区
八雲台小学校区	5.6%	杉森小学校区
富士見台小学校区	7.2%	飛田給小学校区
滝坂小学校区	3.2%	柏野小学校区
深大寺小学校区	2.4%	国領小学校区
上ノ原小学校区	9.6%	布田小学校区
石原小学校区	4.8%	調和小学校区
若葉小学校区	4.0%	無回答
緑ヶ丘小学校区	0.8%	1.6%

問 5-1 お住まいの近くにある、避難所などになっている公立小学校はどれですか。
(1つに〇)

(N=125)

1. 第一小学校	8.0%	12. 染地小学校	2.4%
2. 第二小学校	3.2%	13. 北ノ台小学校	6.4%
3. 第三小学校	4.0%	14. 多摩川小学校	4.0%
4. 八雲台小学校	7.2%	15. 杉森小学校	6.4%
5. 富士見台小学校	8.0%	16. 飛田給小学校	8.0%
6. 滝坂小学校	0.8%	17. 柏野小学校	3.2%
7. 深大寺小学校	2.4%	18. 国領小学校	4.0%
8. 上ノ原小学校	9.6%	19. 布田小学校	1.6%
9. 石原小学校	4.8%	20. 調和小学校	4.0%
10. 若葉小学校	5.6%	21. 分からない	5.6%
11. 緑ヶ丘小学校	0.8%	無回答	0.0%

問6 お子さまがお持ちの手帳または受けている診断名などについて、あてはまるものすべてに○をしてください。また、手帳の等級と診断名をご記入ください。

(N=125)

手帳の種類 または 診断名など	手帳の等級
1. 身体障害者手帳を持っている	() 級 21.6%
2. 愛の手帳を持っている	() 度 82.4%
3. 精神障害者保健福祉手帳を持っている	() 級 6.4%
4. 発達障害の診断を受けている	20.0%
5. 高次脳機能障害の診断を受けている	1.6%
6. 難病の診断を受けている	4.8%
7. 日常的に医療的ケア（医師や看護師の処置）*が必要である	2.4%
無回答	0.0%

*たん吸引、経管栄養（胃ろうなど）、導尿、人工呼吸器、酸素療法など、医師や看護師の管理・処置が必要な生活援助行為

身体障害者手帳 (n=27)

1級	25.9%	2級	11.1%	3級	14.8%	4級	29.6%	5級	7.4%	6級	0.0%	無回答	11.1%
----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	------	----	------	-----	-------

愛の手帳 (n=103)

1度	1.9%	2度	30.1%	3度	21.4%	4度	44.7%	無回答	1.9%
----	------	----	-------	----	-------	----	-------	-----	------

精神障害者保健福祉手帳 (n=8)

1級	0.0%	2級	25.0%	3級	62.5%	無回答	12.5%
----	------	----	-------	----	-------	-----	-------

問6-1 問6で「1. 身体障害者手帳を持っている」と答えた方におたずねします。障害の部位はどれですか。(いくつでも○)

また、○をしたものうち、主な障害を1つだけ選び◎をしてください。

(n=27)

	(障害の部位)	(主な障害)
1. 視覚	3.7%	0.0%
2. 聴覚	25.9%	14.8%
3. 平衡機能	7.4%	3.7%
4. 音声・言語・そしゃく	14.8%	11.1%
5. 肢体不自由	44.4%	33.3%
6. 内部（心臓、じん臓、肝臓、呼吸器機能、ぼうこう・直腸、小腸機能）	29.6%	22.2%
7. その他（具体的に：	3.7%	3.7%
無回答	3.7%	11.1%

お住まいや居住意向についておたずねします

問7 あなたのお住まいは、次のどれですか。(1つに○)

(N=125)

1. 持ち家の一戸建て	39.2%
2. 持ち家の集合住宅（マンション・アパートなど）	30.4%
3. 賃貸の一戸建て	0.8%
4. 賃貸の集合住宅（マンション・アパートなど）	17.6%
5. 公営住宅（市営・都営住宅など）	4.8%
6. 社宅・公務員住宅など	3.2%
7. その他（具体的に：	3.2%
無回答	0.8%

問8 あなたは、今後も調布市に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

(N=125)

1. 今後も住み続けたいと思う	65.6%
2. できるだけ住み続けたいと思う	28.6%
3. あまり住み続けたいと思わない	3.2%
4. 住み続けたいと思わない	0.8%
無回答	1.6%

問8-1 問8で答えた理由を下の欄にご記入ください。

お子さまの日常生活についておたずねします

問9 お子さまの学齢は、次のうちどれにあたりますか。(1つに○)
(N=125)

1. 小学校就学前	13.6%
2. 小学校就学後	84.0%
無回答	2.4%

問10 お子さまは、日中どのように過ごしていますか。
小学校就学前のお子さまは 問 10-1
小学校就学後のお子さまは 問 10-2, 問 10-3 にお答えください。

小学校就学前のお子さまについておたずねします。

問 10-1 お子さまは、日中どこに通園・通所していますか。(いくつでも○)
(n=17)

1. 保育園・保育所	35.3%
2. 幼稚園	5.9%
3. 子ども発達センター	58.8%
4. 児童発達支援事業所 (医療型含む)	29.4%
5. その他 (具体的に：)	0.0%
6. どこにも通園・通所していない	5.9%
無回答	0.0%

小学校就学後のお子さまについておたずねします。

問 10-2 お子さまが現在通学している学校・学級は、次のうちどれですか。(1つに○)
(n=105)

1. 普通学級のみ (小・中学校)	6.7%
2. 普通学級と特別支援教室・通級指導学級 (小・中学校)	4.8%
3. 特別支援学級 (小・中学校)	31.4%
4. 特別支援学校 (小・中・高等部)	46.7%
5. 高等学校・高等専門学校	8.6%
6. どこにも通学していない	1.0%
無回答	1.0%

問 10-3 お子さまは現在、学校以外の時間でどのようなサービス、施設等を利用して過ごしていますか。(いくつでも○)
(n=105)

1. 学童クラブ・ユーフオー	9.5%
2. 放課後等サービス事業所	65.7%
3. 日中一時支援事業所	13.3%
4. 児童館	1.0%
5. CAPS (青少年ステーション)	1.0%
6. 民間の相談機関・施設 (カウンセリング、フリースペースなど)	3.8%
7. 民間の習いごと・教室など	26.7%
8. その他 (具体的に：)	3.8%
9. 特に何も利用していない	21.9%
無回答	0.0%

問11 保育園・幼稚園、または学校以外に、お子さまは普段の生活の中で以下のような活動を行う、または活動に参加する機会がありますか。
(注)問 10-3 でお答えいただいた学校以外の時間で利用しているサービス、施設等での活動を含みます。

(1)~(5)について、
それぞれ1つに○をつけてください。

(N=125)

	十分にある	十分ではないが、 機会はあるが、 十分ではないが、	機会は少ないが、 ほしいと思う	必要を感じていない	無回答
(1) 一人で、またはヘルパーを利用して好きなどころへ出かける	24.0%	16.8%	28.8%	24.8%	5.6%
(2) 家族と出かける (普段の通学・通所・通院は除く)	68.8%	24.0%	5.6%	0.0%	1.6%
(3) 友人との交流	24.0%	32.8%	33.6%	5.6%	4.0%
(4) スポーツ活動・運動などを動かすこと	22.4%	36.8%	32.0%	5.6%	3.2%
(5) スポーツ・運動以外の趣味・習いごとなどの活動	15.2%	21.6%	48.0%	12.0%	3.2%

問12 お子さまの日常生活に関して、不安や課題と感じていることはありますか。
(いくつでも〇)

(N=125)

(保育園・幼稚園・学校でのこと)	
1. 子どもの障害について十分に理解されていない	13.6%
2. 子どもの障害に合った十分な支援を受けられていない	19.2%
3. 同級生や友人との人間関係	26.4%
4. 保育・教育のことについて、相談できる場所がない	9.6%
(保育園・幼稚園・学校以外での活動のこと)	
5. 障害の状況に応じた専門的な療育を受けられる場所・機会が少ない	35.2%
6. 障害児施設（子ども発達センター、児童発達支援事業所、放課後等デイサービスなど）で十分な支援を受けられていない	10.4%
7. 障害児施設以外に利用できる放課後、休日などの活動場所が少ない	33.6%
8. 余暇活動（外出、スポーツ、趣味、その他の習いごと・サークル活動など）の機会が少ない	46.4%
(家庭・子育てのこと)	
9. 子どもの養育・介護による負担が大きい	26.4%
10. 子どもの養育・介護のため、保護者が就労できない（就労が制限される）	40.8%
11. 養育・介護している家族が、子どもの養育・介護から離れて休息できる時間とれない	25.6%
12. 子どもの養育・介護について、他の家族の協力が十分でない	12.0%
13. さようだい児の子育てについて、不安がある	26.4%
14. 子育てや家庭での困りごとについて、相談できる場所がない	13.6%
(医療・福祉サービスのこと)	
15. 地域でかけられる医療機関が少ない	32.8%
16. 往診や訪問看護、訪問リハビリなどの在宅医療が十分でない	3.2%
17. 医療や病気のことについて、相談できる場所がない	12.0%
18. 子どもの養育・介護について、福祉サービスが十分でない	20.8%
19. 福祉サービスなどの利用について、相談できる場所がない	12.0%
(その他)	
20. その他〔具体的に： 〕	9.6%
21. 特になし	6.4%
無回答	2.4%

問13 あなたは、お子さまについて悩みや困ったことがある場合、主にどなたに相談しますか。(1)～(4)について、それぞれ下の欄から5つまで選び、に番号をご記入ください。

(N=125)

(1) 保育園・幼稚園・学校でのこと

↑

(2) 保育園・幼稚園・学校以外での活動のこと

↑

(3) 家庭・子育てのこと

↑

(4) 医療・福祉サービスのこと

↑

	(1)	(2)	(3)	(4)
1. (同居の) 家族・親族	73.6%	72.8%	72.8%	48.8%
2. (別居の) 家族・親族	33.6%	35.2%	51.2%	16.0%
3. 保育園・幼稚園の先生	4.0%	1.6%	2.4%	0.8%
4. 学校の先生	76.8%	22.4%	25.6%	20.8%
5. 友人・知人	28.8%	24.0%	34.4%	17.6%
6. 障害児をもつ親である友人・知人	56.0%	52.0%	48.8%	52.8%
7. 相談支援機関（ちようふだぞう、ドルチエ、希望ヶ丘、こころの健康支援センター）の職員	0.8%	1.6%	0.8%	2.4%
8. サービス等利用計画の作成、モニタリングなどを行う相談支援専門員	2.4%	4.8%	1.6%	4.8%
9. 子ども発達センター	11.2%	4.8%	6.4%	4.8%
10. 子ども家庭支援センターすこやか	0.8%	1.6%	1.6%	0.0%
11. 教育相談所	5.6%	3.2%	4.8%	0.8%
12. 教育支援コーディネーター室	3.2%	1.6%	1.6%	1.6%
13. 障害児施設（放課後等デイサービスなど）の職員、ヘルパー	20.0%	32.8%	12.0%	20.0%
14. 市役所の職員	4.8%	6.4%	2.4%	29.6%
15. 保健所の職員	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
16. 民生委員・児童委員	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
17. 医療機関（医師、看護師、ケースワーカー、訪問看護）の職員	21.6%	16.8%	13.6%	42.4%
18. その他〔具体的に： 〕	4.8%	4.8%	5.6%	5.6%
19. 相談する人がいない	0.0%	1.6%	3.2%	4.0%
20. 相談の必要はない	0.0%	0.8%	0.0%	2.4%
無回答	2.4%	3.2%	1.6%	2.4%

お子さまの将来のことについておたずねします

問14 あなたは、将来、お子さまにどこまで進学してほしいと考えていますか。(1つに○)
(N=125)

1. 中学校まで	0.0%
2. 高等学校まで	57.6%
3. 専門学校・高等専門学校・短期大学まで	12.8%
4. 大学・大学院まで	12.0%
5. その他〔具体的に：〕	5.6%
6. 分からない	11.2%
無回答	0.8%

問15 あなたは、将来、お子さまにどのようなところで働いてほしいと考えていますか。(1つに○)
(N=125)

1. 会社やお店などで働く（一般就労）	36.8%
2. 地域の障害者施設（作業所など）で働く	35.2%
3. その他〔具体的に：〕	10.4%
4. 分からない	14.4%
5. 働くことは困難だと思う	3.2%
無回答	0.0%

問16 あなたは将来、お子さまがどのような住まいで生活することを望みますか。(1つに○)
(N=125)

1. 親や兄弟などの家族と一緒に一戸建て、アパート、マンション	25.6%
2. 一人暮らし、または本人の配偶者と一緒に一戸建て、アパート、マンション	26.4%
3. グループホーム	27.2%
4. 入所施設	7.2%
5. その他〔具体的に：〕	1.6%
6. 分からない	10.4%
無回答	1.6%

ここからは、あて名のご本人を主にサポートしている方(保護者など)の状況をおたずねします

問17 あなたは、ご自分の健康状態をどのように感じていますか。(1つに○)
(N=125)

1. よい	22.4%
2. まあよい	23.2%
3. ふつう	28.8%
4. あまりよくない	21.6%
5. よくない	4.0%
無回答	0.0%

問18 あなたは、日ごろどのような近所つきあいをしていますか。(1つに○)
(N=125)

1. 家を行き来するなど、親しく近所つきあいをしている	8.0%
2. 立ち話をする程度のつきあいをしている	30.4%
3. あいさつをする程度のつきあいをしている	48.8%
4. 近所つきあいをしていない	11.2%
無回答	1.6%

→ 問 18-1 問 18 で「4. 近所つきあいをしていない」と答えた方におたずねします。
近所つきあいをしていない主な理由は何か。(いくつでも○)
(n=14)

1. 仕事や学業、家事・育児などで忙しく時間がないから	28.6%
2. 引越してきて間もないから	35.7%
3. 普段つきあう機会がないから	64.3%
4. 同世代の人が近くにいないから	14.3%
5. 気の合う人・話の合う人が近くにいないから	21.4%
6. あまりかわりをもちたくないから	21.4%
7. その他〔具体的に：〕	14.3%
無回答	0.0%

問19 次のような地域活動・ボランティア活動などについて、あなたがやっている活動はありますか。(いくつでも)

(N=125)

1. 子育て中の親を支援する活動	5.6%
2. 子ども会・PTA活動	41.6%
3. ひとり暮らし高齢者などの見守り支援活動	0.0%
4. 介護が必要な高齢者を支援する活動	1.6%
5. 障害のある人や難病のある人を支援する活動	4.8%
6. 地域のおまつりや季節の行事などの活動	10.4%
7. スポーツやレクリエーションなどの活動	4.0%
8. 習い事・生涯学習などの活動	4.0%
9. 交通安全や犯罪防止などの活動	1.6%
10. 防災訓練などの活動	1.6%
11. 自治会・地区協議会・老人クラブなどの活動	4.8%
12. 環境保全・自然保護などの活動	0.8%
13. その他〔具体的に：	〕 1.6%
14. どれもやっていない	32.8%
無回答	4.8%

問20 あなた自身が支援してほしいことは何ですか。(いくつでも)

(N=125)

1. 相談・情報提供	47.2%
2. 障害のある子どもをもつ家族同士の交流	18.4%
3. 心身のリフレッシュ・健康支援	42.4%
4. 就労支援	31.2%
5. 経済的支援	35.2%
6. その他〔具体的に：	〕 4.8%
7. 特にない	7.2%
8. 分からない	4.8%
無回答	0.8%

災害時の対応についておたずねします

問21 あなたやお子さまにとって、地震などの災害が発生したときに、災害発生から避難所に行くまでの間に必要と思われる支援は何ですか。(いくつでも)

(N=125)

1. 災害の詳しい情報や避難指示などを知らせてくれること	72.8%
2. 地域の人からの安否確認などの声かけ	36.8%
3. 避難所までの案内、誘導や移動の支援	47.2%
4. その他〔具体的に：	〕 8.0%
5. 特にない	6.4%
6. 分からない	8.0%
無回答	0.8%

問22 あなたやお子さまにとって、地震などの災害が発生したときに、避難所において必要と思われる支援は何ですか。(いくつでも)

(N=125)

1. 段差がない、使いやすいトイレなどの施設のバリアフリー	16.0%
2. 文字や音声など複数の情報伝達手段があること	33.6%
3. 手話などのコミュニケーション手段の確保	0.0%
4. 個室、間仕切り（パーティション）などでの対応が可能であること	68.0%
5. 相談窓口や介助スタッフがいること	48.8%
6. アレルギー対応食や介護食、離乳食などの確保	8.8%
7. 医療や医薬品の確保	41.6%
8. 配給などに並ぶことができない場合の支援	55.2%
9. 他の避難者の障害への理解	67.2%
10. その他〔具体的に：	〕 12.0%
11. 特にない	3.2%
12. 分からない	4.0%
無回答	0.0%

福祉のまちづくり・地域社会に対する考え方について おたずねします

問23 あなたは、現在、調布市の建築物や公共交通機関、情報案内、公園や道路などについて、障害のある人や妊婦、子どもづれ、高齢者、外国人等が利用しやすいように整備されていると思いますか。

(1)~(11)について、
それぞれ1つに○をつけてください。

(N=125)

	整備されている	やや整備されている	あまり整備されてい	整備されていない	整備の必要を感じない	無回答
建築物						
(1) 車いすの方やだれもが安全に通れる建物の出入口や通路（段差をなくす、幅を広げる）	4.8%	59.2%	25.6%	8.0%	0.0%	2.4%
(2) 公共施設や病院等のスロープ、エレベーターやエスカレーター	19.2%	63.2%	14.4%	1.6%	0.0%	1.6%
(3) 車いすの方や乳幼児を連れられた方などだれもが使いやすいトイレ	12.8%	62.4%	22.4%	1.6%	0.0%	0.8%
(4) 歩きやすいように、障害物（商品や看板、放置自転車、電柱等）が取り除かれ、段差や凹凸が少なく十分に幅のある歩道や道路	1.6%	27.2%	48.0%	21.6%	0.0%	1.6%
(5) 点字ブロックや視覚障害者の信号機	3.2%	42.4%	41.6%	6.4%	0.8%	5.6%
(6) 車いすやベビーカーで乗降しやすい超低床バスやリフト付バス	7.2%	54.4%	27.2%	5.6%	0.8%	4.8%
(7) 障害者の駐車場	11.2%	46.4%	34.4%	4.0%	0.0%	4.0%
情報案内等						
(8) 大きな文字、絵、複数の言語を用いた誰もがわかりやすい案内標示	1.6%	36.0%	48.0%	9.6%	0.0%	4.8%
(9) 手話のできる職員が配置されていたり、音声ガイドがある施設	2.4%	24.0%	51.2%	13.6%	1.6%	7.2%
(10) 補助犬と同伴での入室が配慮された店・レストランなど	1.6%	17.6%	52.0%	18.4%	1.6%	8.8%
全体	0.8%	27.2%	52.0%	14.4%	0.8%	4.8%

※ユニバーサルデザイン

道路・住宅・製品などを設計製造する場合に、障害のある人用という区分けをなくし、だれでも使えるものを作るという考え方

問24 平成 28 年4月から、「障害者差別解消法(障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律)」が施行されました。

あなたは、「障害者差別解消法」について、どの程度知っていましたか。(1つに○)
(N=125)

1. 内容も含めて知っている 31.2%
2. 法律名程度は知っているが、内容は知らない 48.0%
3. 全く知らない 20.8%
- 無回答 0.0%

※障害者差別解消法

この法律では、障害のある人に対して、正当な理由なく、障害のない人たちと違う扱いをすること（不当な差別的取扱い）を禁止しています。

また、障害のある人が困っている時、その人の障害にあった必要な工夫ややり方を伝えられた場合、負担が重すぎない範囲で対応すること（合理的配慮）が求められます。（役所は対応が義務づけられています）

問25 お子さまやあなたは、障害を理由に差別を受けて嫌な思いをしたり、偏見を感じたりすることがありますか。(1つに○)
(N=125)

1. よくある 8.8%
 2. ときどきある 25.6%
 3. あまりない 48.0%
 4. 全くない 9.6%
 5. 分からない 4.8%
 - 無回答 3.2%
- 具体的に：

問26 あなたが、役所、会社、お店などで困っている時にしてほしい支援や配慮(合理的配慮)、またはこれまでに心に残っている支援や配慮があればお書きください。

問27 「すべての人々が年齢や障害の有無によって分け隔てられことなく、互いの人格と個性を尊重しあいながら共生する社会(共生社会)を目指す」という考え方について、調布市では市民に理解され、浸透していると思いませんか。(1つに○)

(N=125)

- | | |
|------------------------------|-------|
| 1. 理解され、浸透している | 0.0% |
| 2. どちらかといえば、理解され、浸透している | 27.2% |
| 3. どちらかといえば、理解されておらず、浸透していない | 39.2% |
| 4. 理解されておらず、浸透していない | 19.2% |
| 5. 分からない | 12.8% |
| 無回答 | 1.6% |

調布市の障害者福祉施策についておたずねします

問28 あなたは、調布市の障害者福祉施策(サービス)に関する情報をどこから入手していますか。(いくつでも○)

(N=125)

- | | |
|--|-------|
| 1. 市役所の窓口 | 40.0% |
| 2. 病院の職員・掲示板 | 6.4% |
| 3. 障害児施設(放課後デイサービスなど)等の職員・掲示板 | 29.6% |
| 4. 相談機関(ちようふだぞう、ドルチェ、希望ヶ丘、こころの健康支援センター)の窓口 | 6.4% |
| 5. 子ども発達センター | 12.0% |
| 6. 子ども家庭支援センターすこやか | 1.6% |
| 7. 教育相談所 | 5.6% |
| 8. 保育園、幼稚園 | 2.4% |
| 9. 学校 | 39.2% |
| 10. 友人から聞く | 43.2% |
| 11. 市報ちようふ | 47.2% |
| 12. 市のホームページ | 16.0% |
| 13. 調布市の刊行物(暮らしの便利帳、障害者福祉のしおり、元気に育て調布っ子など) | 32.0% |
| 14. 障害当事者団体の会合・会報など | 18.4% |
| 15. その他(具体的に: | 5.6% |
| 16. 特に関心・情報は入手していない | 4.0% |
| 無回答 | 0.0% |

問29 あなたは、お子さまに調布市が配布しているヘルプカード※を持たせていますか。(1つに○)

(N=125)

- | | |
|----------------------|-------|
| 1. 持っていて、いつも持ち歩かせている | 19.2% |
| 2. 持っているが、持ち歩かせていない | 51.2% |
| 3. 持っていないが、欲しいと思う | 12.8% |
| 4. 持っていないし、必要ない | 16.8% |
| 無回答 | 0.0% |

※「ヘルプカード」

ヘルプカードは、障害のある方が緊急連絡先、医療情報、手伝ってほしい内容などを記載し、普段から身に付けておくことで、緊急時や災害時、日常の困ったときに、周囲の配慮や手助けをお願いしやすくなるものです。

障害福祉課の窓口で配布しています。

これとは別に、障害のある方に限らず、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々のために東京都が作成した「ヘルプマーク」もあります。



ヘルプマーク

問30 あなたは、調布市が個別配布している、「^{アイ}ーファイル」※を知っていますか。(1つに○)

(N=125)

- | | |
|------------------|-------|
| 1. 知っていて、使っている | 32.0% |
| 2. 知っているが、使っていない | 34.4% |
| 3. 知らない | 33.6% |
| 無回答 | 0.0% |

※「^{アイ}ーファイル」

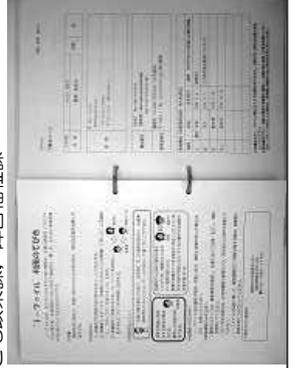
調布市では、子どもの成長を応援する、すべての人々の共通理解のもとで、一貫した支援ができるよう、「^{アイ}ーファイル」を配布しています。

「^{アイ}ーファイル」は、子どもたちが健やかに成長するために、保護者と様々な機関が連携・協力して支援できるよう、子どもの様子や、これまでに受けてきた支援の内容を書き込めるようにしたものです。

(配布場所)

子ども発達センター、子ども家庭支援センターすこやか、健康推進課、教育相談所、

子ども政策課、障害福祉課



問31 次の調布市の相談窓口を知っていますか。

(1)～(11)について、それぞれ1つに○をつけてください。

(N=125)

	知っている	知らない	無回答
(1) 子ども発達センター (西町 290-49) TEL:042-486-1190 FAX:042-486-3147 お子さんの発達に心配や不安を抱える保護者からの相談に応じ、発達に遅れやかたよりのあるお子さんに専門的支援を行います。	80.8%	19.2%	0.0%
(2) 子ども家庭支援センターすこやか (国領町 3-1-38 ココスクエア 2 階) TEL:042-481-7734 FAX: 042-481-7734 子どもに関する総合相談 (子育て・児童虐待) のほか、情報や遊びの場の提供、子ども一時預かりを行う施設です。	88.8%	11.2%	0.0%
(3) 教育相談所 (小島町 2-36-1 調布市教育会館 6 階) TEL:042-481-7633 FAX: 042-499-1616 お子さんの教育に関する心配ごとについての相談をお受けしています。	82.4%	17.6%	0.0%
(4) 教育支援コーディネーター室 (小島町 2-36-1 調布市教育会館 5 階) TEL:042-481-7718 FAX:042-481-7785 教育全般及び福祉的な観点から、家庭や学校に関する相談をお受けしています。	45.6%	54.4%	0.0%
(5) 保健センター (健康推進課) (小島町 2-33-1 文化館(たづの西館)) TEL:042-441-6100 FAX: 042-441-6101 乳幼児の健康診査や成人のがん検診等の健診事業を提供し、保健師、栄養士、歯科衛生士等が育児相談や健康相談に応じています。	78.4%	21.6%	0.0%
(6) ドルチェ (小島町 2-47-1) TEL:042-490-6675 FAX:042-444-6606 主に身体障害、高次脳機能障害のある方の相談窓口です。 調布市総合福祉センター内に設置されています。	40.0%	60.0%	0.0%
(7) ちようふだぞう (布田 2-29-1) TEL:042-487-4655 FAX:042-487-7899 主に知的障害のある方の相談窓口です。 移動支援事業や就労支援も行っていきます。	56.0%	43.2%	0.8%
(8) 希望ヶ丘 (菊野台 1-24-41) TEL:042-443-9232 FAX:042-481-0766 主に精神障害のある方の相談窓口です。 夕食会やオープンスペースの提供なども行っています。	11.2%	88.8%	0.0%
(9) こころの健康支援センター (布田 5-46-1) TEL:042-490-8166 FAX:042-490-8167 主に精神障害、発達障害のある方の相談窓口です。 デイ事業や就労支援も行っていきます。	37.6%	62.4%	0.0%
(10) 難病相談窓口 (市役所 2 階 障害福祉課) TEL:042-481-7089 FAX:042-481-4288 専門の相談員が難病にかかったことでの不安や悩み事全般に対する相談を受け、情報を提供する窓口です。毎週木曜日に開設、予約制です。	10.4%	89.6%	0.0%

	知っている	知らない	無回答
(11) 障害者虐待防止センター (市役所 2 階 障害福祉課) TEL:042-481-7094 FAX:042-481-4288 障害者の虐待に関する相談・通報を受けける窓口です。 相談や通報を受けた場合の事実確認や一時保護、障害者や養護者の支援、虐待防止への取り組みなどを行っています。	12.0%	88.0%	0.0%

問32 次にあげる障害者福祉に関する取組のうち、あなたが今後調布市で特に充実させてほしいものはどれですか。(5つまで○)

(N=125)

1. 早期からの専門的な療育	28.8%
2. 保育園 (保育所)、幼稚園、学校での支援	31.2%
3. 保育園 (保育所)、幼稚園、学校以外での活動の場の整備	24.0%
4. ホームヘルプなど在宅生活を支援するサービス	7.2%
5. 成人後の通所施設 (作業所) など日中の活動場所の整備	56.0%
6. 障害者が企業などで働くための支援 (就労支援)	52.8%
7. ガイドヘルパー、コミュニケーション支援など社会参加の支援	16.8%
8. グループホームなど障害者の地域における住まいの場の整備	40.8%
9. 保護者の病気など、緊急時における一時預かり、ショートステイ	37.6%
10. 福祉サービスの利用や手続きを支援するサービス	21.6%
11. 困ったことを気軽に相談できる窓口	24.0%
12. 訪問診療、訪問看護などの地域での医療サービス	4.0%
13. 障害に応じた多様な情報提供の充実	24.0%
14. 公共施設や道路、交通機関などのバリアフリー	6.4%
15. 災害時の支援体制の整備	25.6%
16. 障害のある当事者、家族同士の情報交換、交流の機会	11.2%
17. 障害理解の促進や差別的解消	26.4%
18. ボランティア活動などの地域活動の促進	6.4%
19. 福祉サービスに関わる専門的な人材の育成	21.6%
20. 手当や医療費の助成などの経済的な支援	48.8%
21. その他 (具体的に： 無回答	4.0% 0.0%

問33 調布市の障害者福祉施策(サービス)全般について、あなたはどのように感じますか。(1つに〇)

(N=125)

1. とても充実している	3.2%
2. 充実している	64.8%
3. あまり充実していない	28.8%
4. 充実していない	0.8%
無回答	2.4%

問34 調布市の医療をよりよくするために何が必要だと思いますか。(いくつでも〇)

(N=125)

1. 地域の中で完結できる医療体制	52.8%
2. 在宅医療の普及	16.8%
3. 救急医療の充実	35.2%
4. かかりつけ医の普及	25.6%
5. 専門医療の充実〔具体的に：〕	16.8%
6. 医療情報の提供〔具体的に：〕	4.0%
7. 医療に関する市民教育〔具体的に：〕	3.2%
8. 健康に関する自己管理能力(自律性)の向上	12.0%
9. その他〔具体的に：〕	9.6%
10. 特になし	11.2%
無回答	2.4%

問35 ご意見・ご要望がありましたら、なんでも自由にご記入ください。

たくさんの方の質問にお答えいただき、誠にありがとうございました

ご案内：住民懇談会のお知らせ

平成28年11月14日～17日(夜間) 会場：総合福祉センターほか

平成28年12月10, 11日(昼間)

調布のこれからの地域福祉について、お話しませんか。

詳しくは、下記HPをご覧ください。

<http://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1472715178107/index.html>